



# Biz Box ルータ N800

WEB設定マニュアル

---

本装置の外観・仕様は、予告なしに変更することがあります。

本装置は日本国内用に設計されています。海外ではご使用できません。

This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申しつけください。

2011 NTTEAST・NTTWEST

---

## はじめに

本装置の設定は、RS-232C シリアル接続のローカルコンソール、またはネットワーク接続のリモートコンソールから行うことができます。ネットワーク接続では、Telnet などに代表される通信ソフトによるコマンドライン設定と、Web ブラウザによる Web 設定が可能です。

このマニュアルでは、ネットワーク接続による Web 設定について説明しています。対話形式による簡単な操作で、インターネット接続と VPN 接続の基本的な接続設定、IPv4 スタティックフィルタや静的 NAT の設定が可能です。また、一部のコマンド入力も Web ブラウザから可能です。

+

Web 設定では、簡単な操作をおもな目的としているため、本装置の機能の一部の限られた設定のみが可能です。すべての機能、または詳細な設定を行うには、ローカルコンソールまたはリモートコンソールからのコマンドラインによる設定が必要です。コマンドライン設定については、『取扱説明書』、『コマンドリファレンスマニュアル』をご覧ください。

注意

- (1) ご使用になる前に、『取扱説明書』の「本製品について」および「安全にお使い頂くために」をご覧ください。正しくお使い頂けるようお願い致します。
- (2) 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- (3) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (4) 本装置のソフトウェアバージョン、ご使用になっている OS や Web ブラウザによって、本書の説明と実際に表示される内容が異なることがあります。本書での説明には Windows XP、Internet Explorer Version6 を使用しています。
- (5) 本書は内容について万全を期しておりますが、万一ご不審の点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがありましたら、ご一報くださいますようお願い致します。
- (6) 運用した結果については、(5)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

## 商標の表記について

Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。その他、記載されている会社名・製品名は、各社の登録商標または商標です。

---

## Web 設定でできること

Web 設定には「かんたん設定」と「個別設定」の対話形式による 2 つの方法があります。

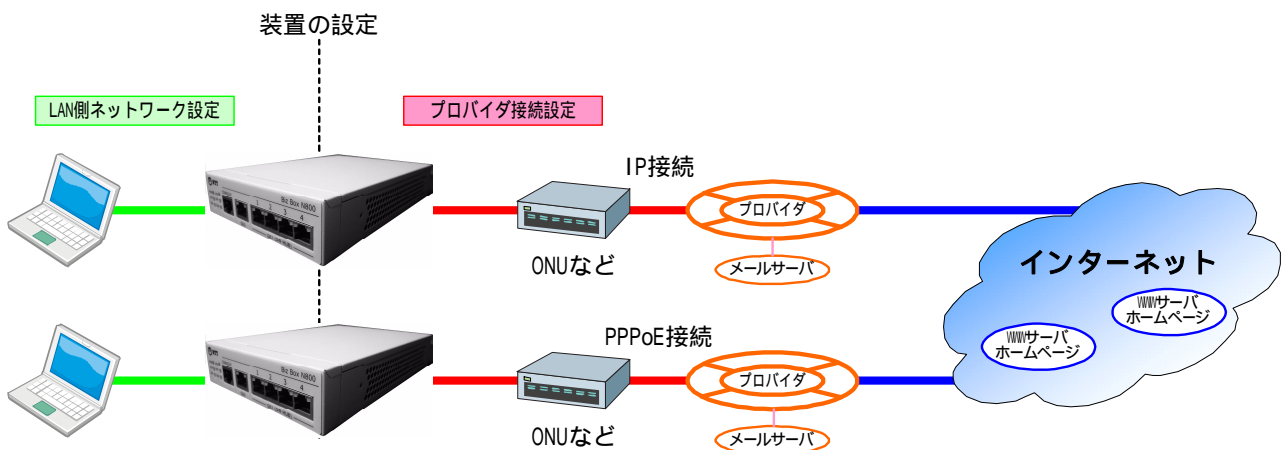
かんたん設定	ウィザードの一連の流れに従って行うことで、インターネット接続と VPN(仮想プライベート・ネットワーク)接続の一通りの設定を簡単に行うことができます。 設定はインターネット接続と VPN 接続の 2 段階に分かれています。
個別設定	かんたん設定で設定したすべての内容を変更したり、新しく設定を追加したりすることができます。 また IPv4 スタティックフィルタの設定、サーバをインターネットに公開するための静的 NATP の設定を行うことができます。

なお、対話形式以外の設定方法として、Web ブラウザからのコマンド入力があります。Telnet 接続などのコマンドライン設定のうち、一部のコマンドを入力することができます。

## インターネット接続

かんたん設定のインターネット接続では、以下の設定を行います。ウィザードに従って設定するだけでインターネットへの接続の設定が終了し、インターネット上のホームページの閲覧ができるようになります。

本装置の設定	本装置の基本的な設定(装置名とログインパスワードの設定)を行います。
LAN 側ネットワーク	LAN 側のネットワークの設定を行います。
プロバイダ接続	インターネットに接続するための WAN 側の設定を行います。プロバイダの接続方法によって、PPPoE 接続または IP 接続のどちらかで設定します。



+

インターネット接続の設定を行うと、自動的に WAN 側インタフェースに「NAPT(ネットワークアドレス・ポート変換)」の設定が登録されます。NAPT とは、1 つのグローバル IP アドレスを複数のローカルネットワークの IP アドレスおよびポート番号に変換する技術です。これにより本装置を介して、複数のローカルネットワーク端末からインターネットへのアクセスが可能となっています。

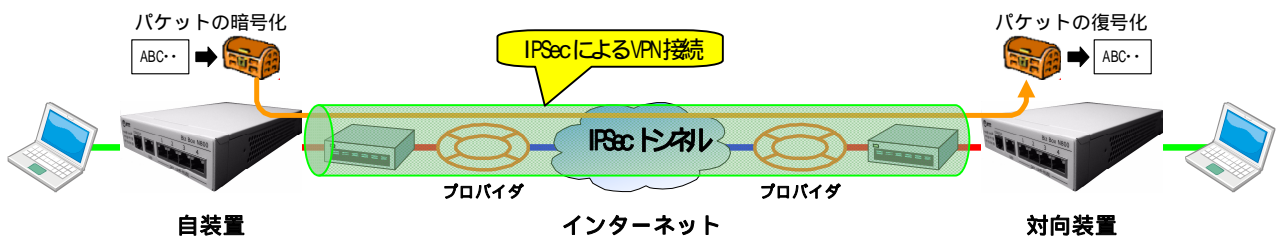
## VPN 接続

かんたん設定のインターネット接続では、以下の設定を行います。ウィザードに従って設定するだけでインターネットへの接続の設定が終了し、インターネット上のホームページの閲覧ができるようになります。

対向装置の数	かんたん設定では1つの対向装置に対するVPN接続を設定することができますが、個別設定では、複数の対向装置に対するVPN接続を設定することができます。
IPSec のセッション	IPSec による VPN 接続については、かんたん設定では1つのセッションのIPSecの設定になりますが、個別設定では第2セッションのIPSecの設定も可能です。

### IPSec による VPN 接続

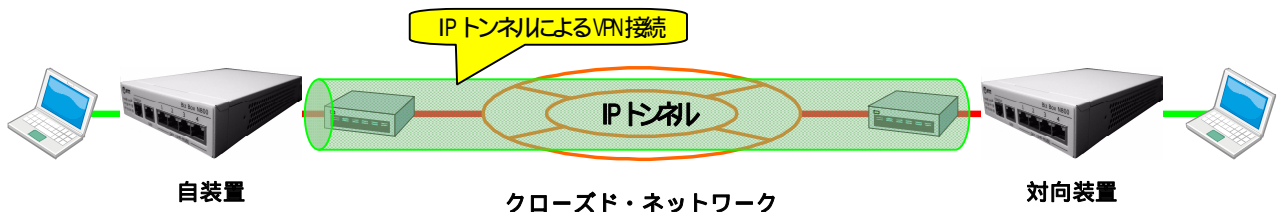
インターネット上に仮想的なトンネルを構成し、物理的に離れた拠点間を接続します。一般に使われるインターネットを使用するため、IPSec 機能を利用して通信の暗号化などを行い、セキュリティを確保します。



### IP トンネルによる VPN 接続

内部に閉じたネットワーク（クローズド・ネットワーク）を利用して、物理的に離れた拠点間を接続します。

このクローズド・ネットワークはインターネットに接続されていないので、盗聴などの危険性が無いことから、通信の暗号化などを行わない IP トンネルを使用して拠点間を接続します。



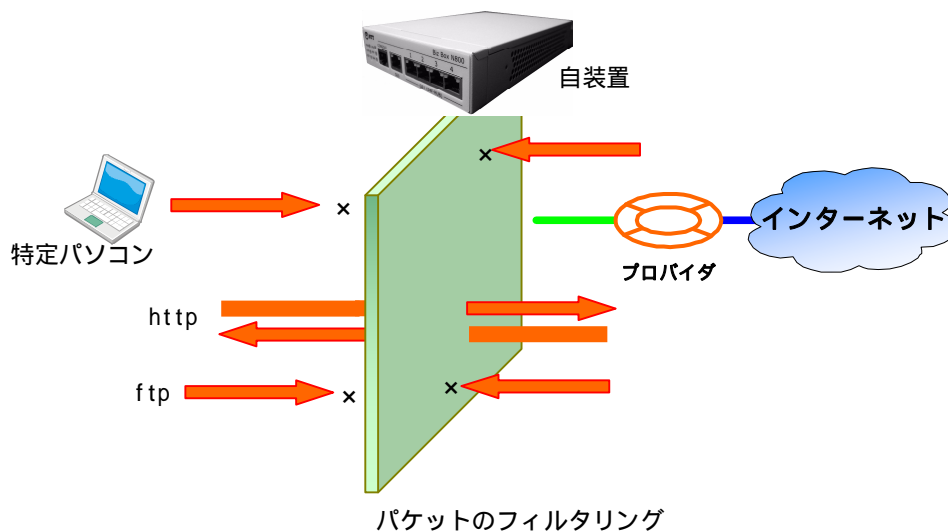
## IPv4 スタティックフィルタと静的 NAPT

本装置では、セキュリティを強化する「IPv4 スタティックフィルタ」、内部サーバをインターネットに公開するときに使用する「静的 NAPT」を個別設定により容易に登録することができます。

### IPv4 スタティックフィルタ

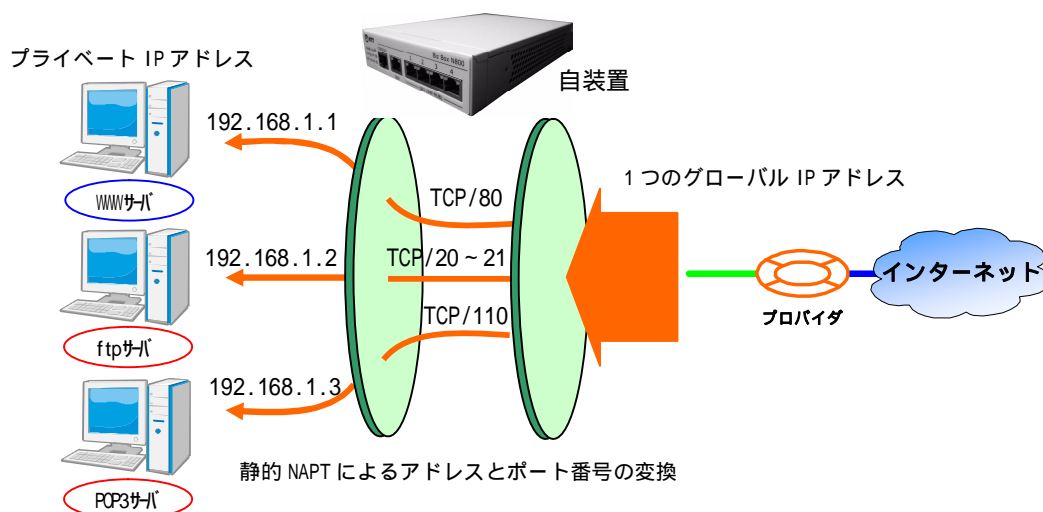
本装置を通過するパケットを IP アドレスやポート番号などの条件に基づいて分類し、特定のパケットは廃棄するようにフィルタ設定することができます。

不要なパケットのインターネットへの送出を防止したり、インターネット側からの不正アクセスを制限したりすることができるので、LAN のセキュリティが高まります。



### 静的 NAPT

プライベートアドレスにある WWW サーバやメールサーバ、ftp サーバなどをインターネットに公開することができます。



## マニュアルの表記について

記号	意味
<b>注意</b>	間違えるとエラーとなる内容や、設定の制限事項など、注意して頂きたい内容について説明しています。
<b>解説</b>	本装置の内部動作など、操作をするうえで知っておくとより理解が深まる内容を説明しています。
<b>+</b>	一般的なネットワークの知識や、本装置に関する補足情報、知っておくと便利な内容について説明しています。
[     ]	マウスで選択する項目は[     ]で括って記載しています。
「     」	画面に表示されるメッセージや項目は「     」で括って記載しています。

## WEB 設定で利用可能な文字について

Web ブラウザでは以下で示す半角文字の入力が可能です。

コード番号																
	+0	+1	+2	+3	+4	+5	+6	+7	+8	+9	+A	+B	+C	+D	+E	+F
20	空白 (注)	!	" (注)	#	\$	% (注)	& (注)	'	( )	*	+	,	-	.	/	
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	; (注)	< (注)	=	> (注)	? (注)
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	

<b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>上の表に存在しない文字(漢字やひらがななどの全角文字や制御文字)は入力できません。これらの文字を入力したときは、Web ブラウザで入力エラーが表示されます。</li><li>Web ブラウザの対話形式(かんたん設定、個別設定)による設定時に、文字入力フォームに空白文字(スペース)、「<sub>Ⓜ</sub>」「&lt;<sub>Ⓜ</sub>」「&gt;<sub>Ⓜ</sub>」「&amp;<sub>Ⓜ</sub>」「%<sub>Ⓜ</sub>」「?»の文字を入力しないでください。Web ブラウザで入力エラーが表示されます。</li><li>コマンドライン設定で、「&lt;<sub>Ⓜ</sub>」「&gt;<sub>Ⓜ</sub>」「&amp;<sub>Ⓜ</sub>」「%<sub>Ⓜ</sub>」の文字が入力してあるとき、Web ブラウザの対話形式による設定はできなくなります。Web ブラウザの対話形式による設定を行うときは、コマンドライン設定でこれらの文字を使用しないようにしてください。</li><li>各設定項目によっては、「半角英数字のみ」のように入力可能な文字を更に制限しているものもあります。</li></ul>
-----------	--

## ・本機の設定について

設定に際し、本マニュアル記載以外の操作を行った場合の動作に関しては保証いたしません。本マニュアル以外の操作をして動作異常が発生した場合は、「5.メンテナンス」(P88~)を参照し対処をしてください。

---

## 目次

<b>1. WEB 接続の準備</b> .....	<b>1</b>
1.1. ケーブル類の接続 .....	1
1.2. 本装置の電源を入れる .....	3
1.3. パソコンにネットワークの設定をする .....	3
1.4. パソコンにネットワークの設定をする .....	5
<b>2. WEB 接続とログイン/ログアウト</b> .....	<b>7</b>
2.1. 本装置のトップページを開く .....	7
2.2. ログインする .....	9
2.3. ログアウトする .....	10
<b>3. かんたん設定</b> .....	<b>11</b>
3.1. PPPoE によるインターネット接続 .....	11
3.1.1. かんたん設定を開始する .....	11
3.1.2. 装置名とログインパスワードを設定する .....	11
3.1.3. LAN 側ネットワークを設定する .....	13
3.1.4. 接続方法(PPPoE 接続)を選択する .....	14
3.1.5. PPPoE 接続のプロバイダ情報を設定する .....	15
3.1.6. 設定を保存する .....	16
3.1.7. 接続状態を確認する .....	17
3.2. IP 接続によるインターネット接続 .....	18
3.2.1. かんたん設定を開始する .....	18
3.2.2. 装置名とログインパスワードを設定する .....	18
3.2.3. LAN 側ネットワークを設定する .....	20
3.2.4. 接続方法(IP 接続)を選択する .....	21
3.2.5. IP 接続のプロバイダ情報を設定する .....	22
3.2.6. 設定を保存する .....	23
3.2.7. 接続状態を確認する .....	24
3.3. IPSEC による VPN 接続 .....	25
3.3.1. インターネット接続の設定をする .....	25
3.3.2. VPN 接続方法(IPSec)を選択する .....	25
3.3.3. IPSec による VPN 接続を設定する .....	26
3.3.4. 設定を保存する .....	28
3.3.5. 接続状態を確認する .....	28
3.4. IP トンネルによる VPN 接続 .....	30
3.4.1. インターネット接続の設定をする .....	30
3.4.2. VPN 接続方法(IP トンネル)を選択する .....	30
3.4.3. IP トンネルによる VPN 接続を設定する .....	30
3.4.4. 設定を保存する .....	31
3.4.5. 接続状態を確認する .....	32
<b>4. 個別設定</b> .....	<b>33</b>
4.1. 装置名/ログインパスワード/TELNET サーバ機能の設定 .....	33
4.2. 時刻の設定 .....	35
4.3. LAN 側ネットワーク .....	37
4.3.1. ネットワークの状態表示 .....	37
4.3.2. LAN 側ネットワークの設定/変更 .....	39

---



---

4.4. プロバイダ接続 < PPPoE 接続 > .....	41
4.4.1. PPPoE 基本接続の新規設定 .....	41
4.4.2. PPPoE 追加接続(第 2 セッション接続)の追加設定 .....	44
4.4.3. PPPoE 基本接続の新規設定/追加接続の設定編集 .....	47
4.4.4. PPPoE 基本接続 / 追加接続の設定削除 .....	49
4.5. プロバイダ接続 < IP 接続 > .....	51
4.5.1. IP 接続の設定 .....	51
4.5.2. IP 接続の設定編集 .....	54
4.5.3. IP 接続の設定削除 .....	56
4.6. VPN 接続 < IPSEC > .....	57
4.6.1. IPSec による VPN 接続の設定 .....	57
4.6.2. IPSec による VPN 接続の設定編集 .....	60
4.6.3. IPSec による VPN 接続の設定削除 .....	63
4.7. VPN 接続 < IP トンネル > .....	65
4.7.1. IP トンネルによる VPN 接続の設定 .....	65
4.7.2. IP トンネルによる VPN 接続の設定編集 .....	68
4.7.3. IP トンネルによる VPN 接続の設定削除 .....	70
4.8. VPN 接続 < IPv4 スタティックフィルタ > .....	71
4.8.1. IPv4 スタティックフィルタの設定 .....	71
4.8.2. IPv4 スタティックフィルタの設定編集 .....	75
4.8.3. IPv4 スタティックフィルタの設定削除 .....	78
4.9. VPN 接続 < 静的 NAPT > .....	80
4.9.1. 静的 NAPT の設定 .....	80
4.9.2. 静的 NAPT の設定編集 .....	83
4.9.3. 静的 NAPT の設定削除 .....	86
<b>5. メンテナンス .....</b>	<b>88</b>
5.1. 装置稼動状態の表示 .....	88
5.1.1. トップページを表示内容 .....	88
5.1.2. 装置稼動状態表示 .....	90
5.2. ログの表示と保存 .....	91
5.3. ソフトウェアのアップデート .....	92
5.4. 設定データの揮発メモリへの保存 .....	95
5.5. 設定データの確認とバックアップ .....	96
5.6. 設定データの本装置へのアップロード .....	97
5.7. 設定データの初期化 .....	99
5.8. WEB ブラウザでの PING コマンドによる接続確認 .....	100
5.9. WEB ブラウザでのコマンド入力 .....	101
5.10. 装置の再起動 .....	103
<b>6. トラブルシューティング .....</b>	<b>104</b>
6.1. メッセージエリアの警告メッセージ .....	104
6.2. 入力エラーメッセージ .....	105
6.3. 状態表示メッセージ .....	106

---

# 1. Web 接続の準備

## 1.1. ケーブル類の接続

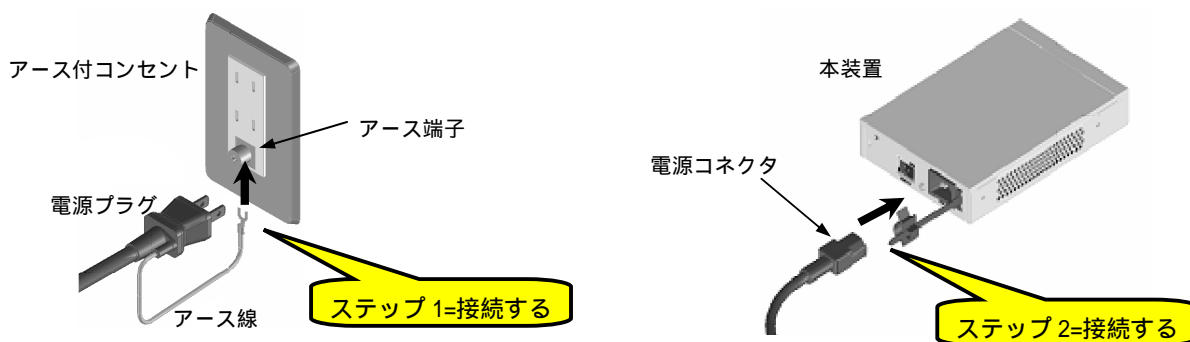
### 【ステップ1】 アース線をコンセントのアース端子に接続する。

<b>注意</b>	アース線はねじで確実に固定します。 Step1 では、アース線だけを接続します。電源プラグは、Step6 で接続しますので、ここでは絶対に接続しないでください。
-----------	---

<b>解説</b>	アースを接続することで、落雷時に本装置へのダメージの軽減効果や、感電防止やノイズ防止の効果が期待できます。
-----------	---

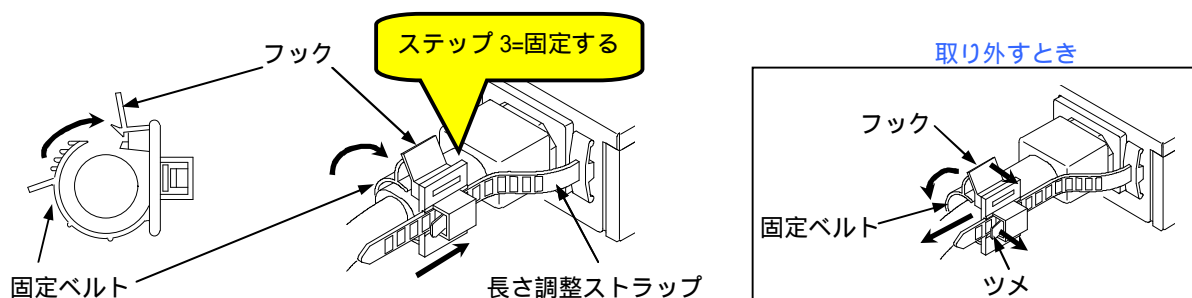
### 【ステップ2】 電源コネクタを本装置に接続します。

<b>注意</b>	緩みのないように確実に差し込みます。
-----------	--------------------



### 【ステップ3】 固定ベルトで電源コネクタを固定します。

電源コネクタに押し付けるまで、固定ベルトを長さ調整ストラップに沿って移動させたあと、フックに差し込み、電源コネクタを締め付けて固定します。取り外すときは、フックを持ち上げ、固定ベルトを緩めます。ツメを緩め、ストラップをずらします。



#### 【ステップ4】 GE1ポートにLANケーブルを接続します。

本装置のLAN側ポート（GE1）とパソコンのLANポートを接続します。

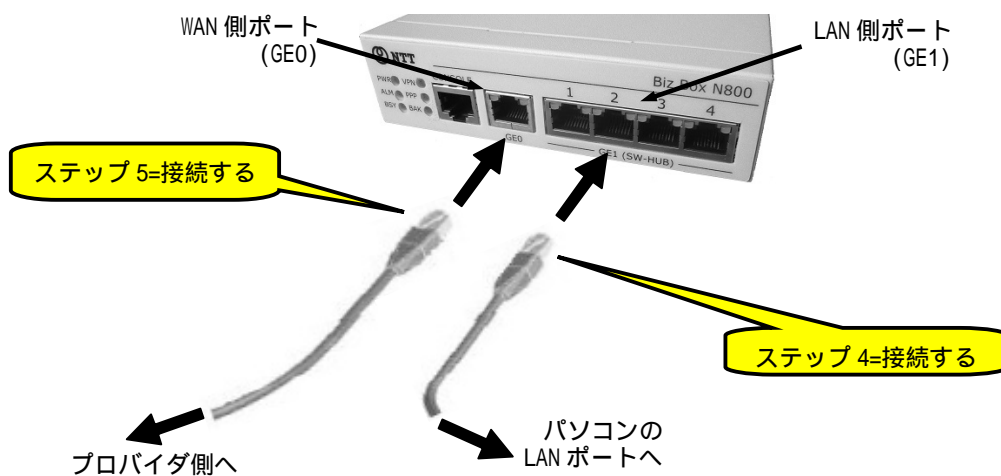
**注意** カテゴリ5以上のストレート結線またはクロス結線のUTPまたはSTPケーブルを使用してください。

**+** 本装置は、ストレート結線、クロス結線を自動認識します。

#### 【ステップ5】 GE0ポートにLANケーブルを接続します。

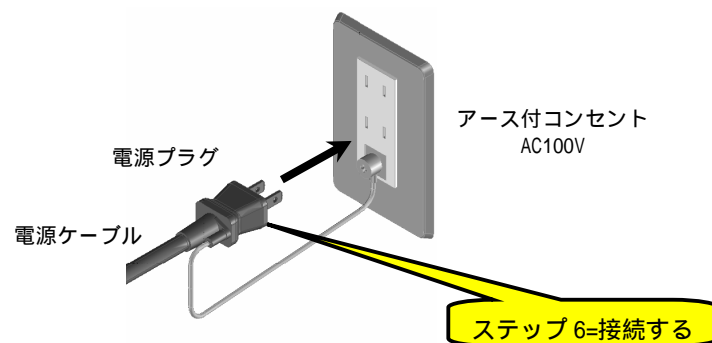
本装置のWAN側ポート（GE0）とフレッツ光ネクストやBフレッツのONUのLAN側ポートとを接続します。

**注意** カテゴリ5以上のストレート結線またはクロス結線のUTPまたはSTPケーブルを使用してください。



#### 【ステップ6】 電源ケーブルのプラグをAC100Vのコンセントに確実に差し込みます。

**注意** 電源スイッチがOFFになっていることを確認してください。  
AC100V(50Hz/60Hz)のコンセントに接続してください。  
プラグの緩みがないように確実に差し込みます。



## 1.2. 本装置の電源を入れる

電源スイッチの[ 1 ]を押して ON にします。

起動には 10 秒程度かかります。起動後、前面の「PWR ランプ」が緑色に点灯、「ALM ランプ」が消灯していることを確認します。

注意

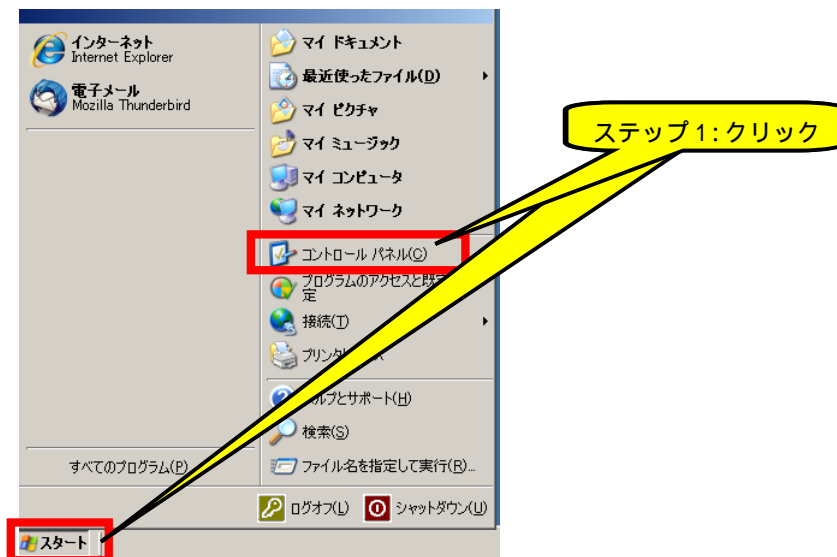
電源を OFF にするときは、本装置前面の「BSY」(BUSY) ランプが点灯していないことを確認して[ 0 ]を押します。

## 1.3. パソコンにネットワークの設定をする

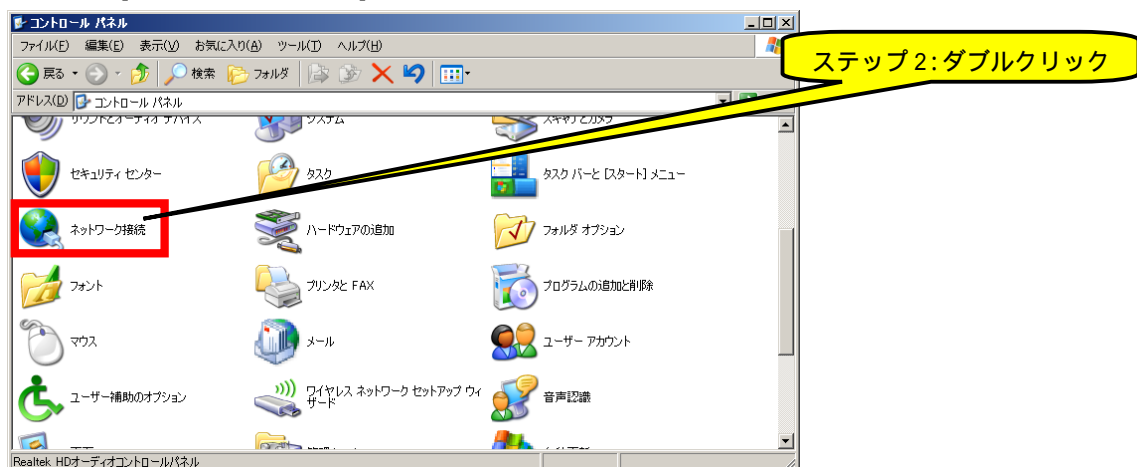
注意

Windows XP のメニュー表示を「クラシック[スタート]メニュー」表示にしているときは、表示されるメニュー、項目が異なります。このときは Step1 から Step4 までの手順を読み替え、【ローカルエリア接続のプロパティ】画面を表示してください。

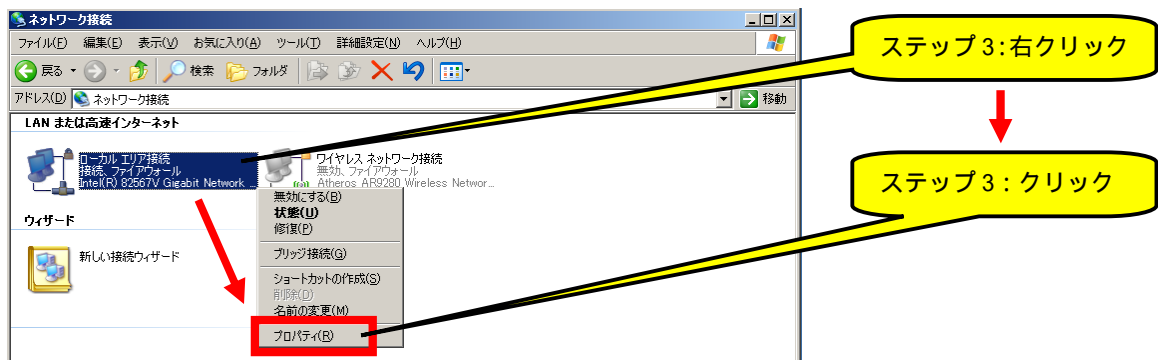
【ステップ 1】 Windows の[スタート]をクリックし、メニューの[コントロールパネル]をクリックします。



【ステップ 2】 [ネットワーク接続]をクリックします。

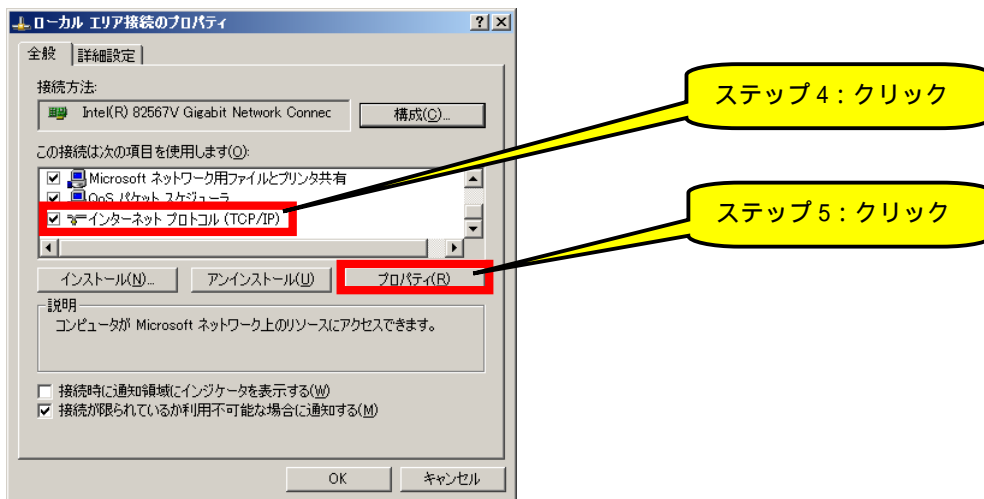


【ステップ3】 [ローカルエリア接続]を右クリックし、メニューの[プロパティ(R)]をクリックします。



【ステップ4】 「インターネットプロトコル(TCP/IP)」を選択します。

【ステップ5】 [プロパティ(R)]をクリックします。

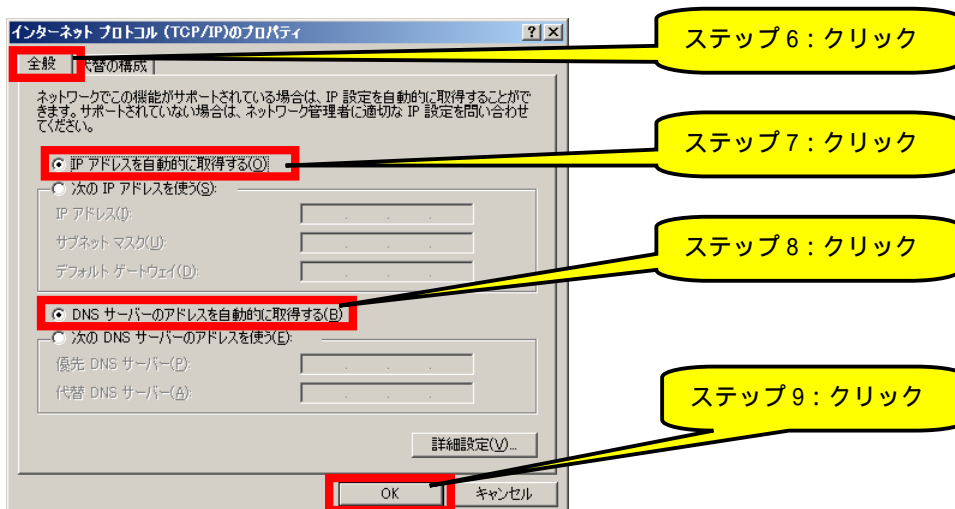


【ステップ6】 [全般]タブをクリックします。

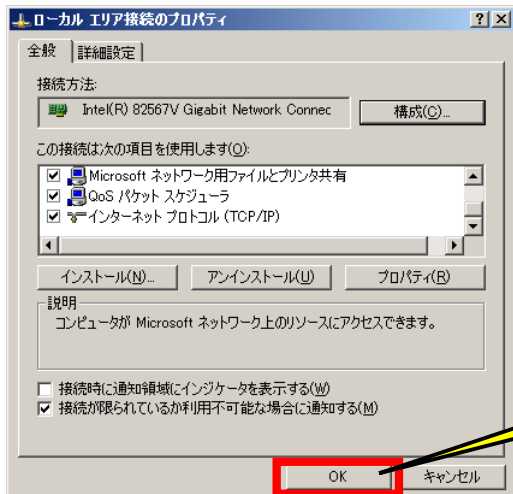
【ステップ7】 [IPアドレスを自動的に取得する(O)] のラジオボタンをチェックします。

【ステップ8】 [DNS サーバのアドレスを自動的に取得する(B)]のラジオボタンをチェックします。

【ステップ9】 [OK]をクリックします。



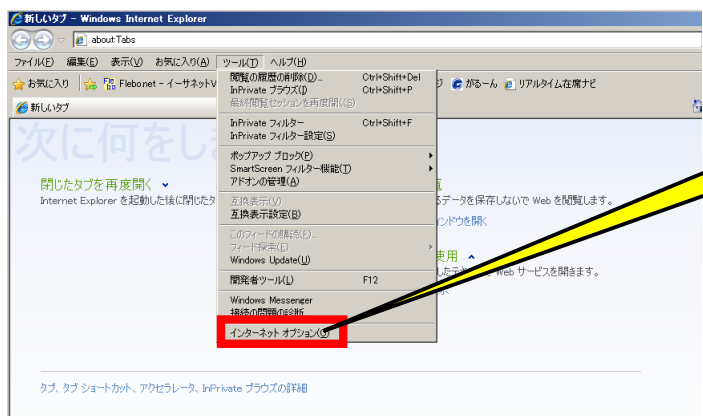
【ステップ10】 【ローカルエリア接続のプロパティ】画面の[OK]をクリックします。



ステップ10: クリック

### 1.4. パソコンにネットワークの設定をする

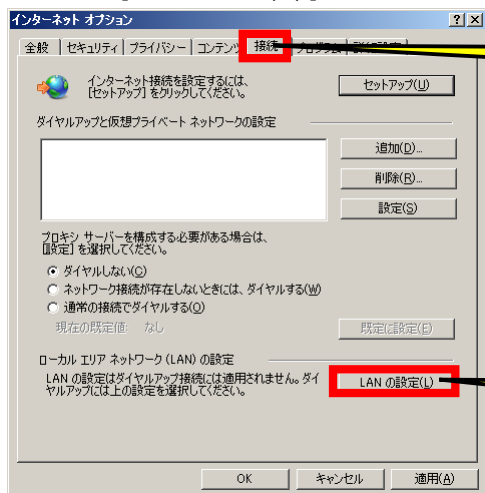
【ステップ1】 ブラウザ(Internet Explorer)のメニュー[ツール(T)]をクリックし、[インターネットオプション(O)]をクリックします。



ステップ1: クリック

【ステップ2】 [接続]タブをクリックします。

【ステップ3】 [LAN の設定(L)]をクリックします。



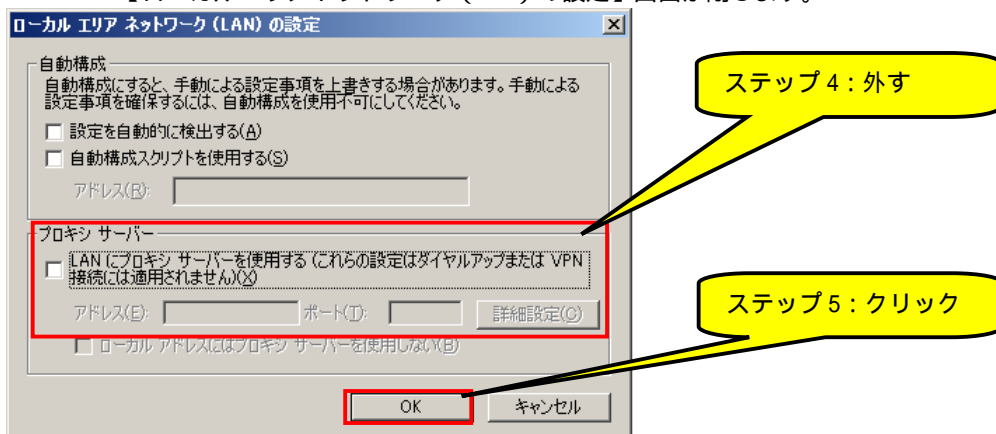
ステップ2: クリック

ステップ3: クリック

【ステップ4】 [LANにプロキシサーバーを使用する]のチェックを外します。

【ステップ5】 [OK]をクリックします。

【ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定】画面が閉じます。



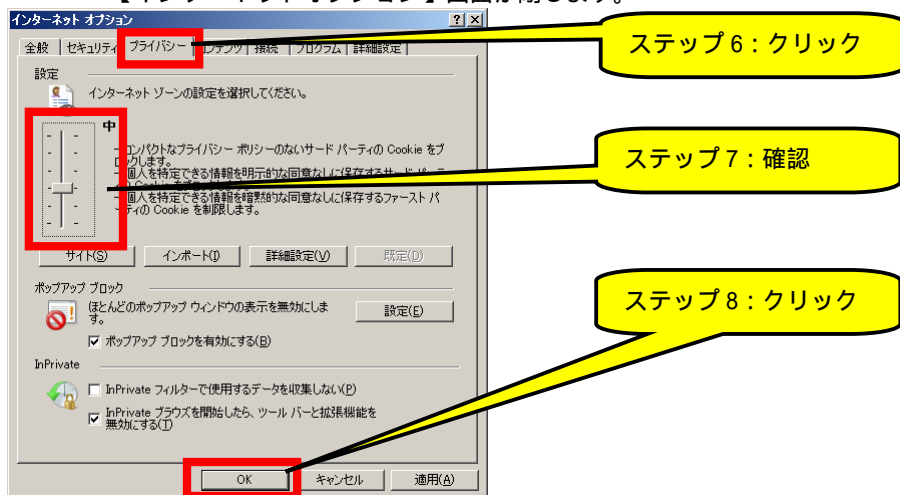
【ステップ6】 [プライバシー]タブをクリックします。

【ステップ7】 「スライダー」の位置が「中-高」以下であることを確認します。

**注意** 本装置は Cookie を使用しています。「すべての Cookie をブロック」または「高」にすると、本装置で使用する Cookie がブロックされ、設定を行うことができません。

【ステップ8】 【インターネットオプション】画面の[OK]をクリックします。

【インターネットオプション】画面が閉じます。

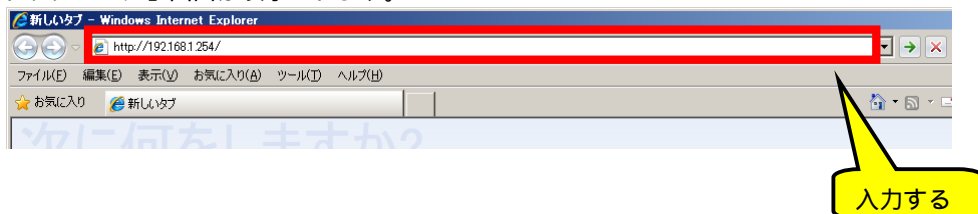


## 2.Web 接続とログイン/ログアウト

### 2.1. 本装置のトップページを開く

ブラウザのアドレスバーに半角英数字で「http://192.168.1.254/」と入力し、[Enter]キーを押します。

【トップページ】画面が表示されます。



#### 【トップページ】画面について

トップページには次の2つのエリアがあります。

**メッセージエリア**  
操作の状況が表示されます。

**本装置情報エリア**  
本装置および接続の状況が表示されます。

トップページ - 装置 ネットワーク プロバイダ接続 VPN接続

### トップページ

ログインしていません。  
各種状態の確認や設定などを行うにはログインする必要があります。

• ログイン  
ログイン実行

#### 装置

装置	バージョン	稼働時間	稼働率	メモリ	内部温度	内部電圧	NTP
Router	8.5.21	2 時間 20 分	13%	22%	+40.0°C	+3.250V	未設定

#### ネットワーク

デバイス	接続状態	送信量	受信量
WAN側(GE0)	接続されていません	0%	0%
LAN側(GE1)	Port1: 全二重 100Mbpsで接続 Port2: 接続されていません Port3: 接続されていません Port4: 全二重 1Gbpsで接続	0%	0%

#### プロバイダ 接続

プロバイダ接続	接続名	状態
未接続		接続されていません

#### VPN接続

現在トップページにいます

詳しい説明は、「5.メンテナンス」の「5.1 装置稼働状態の表示」を参照して下さい。



## 本装置のネットワークアドレス変更後にトップページが開けないときは

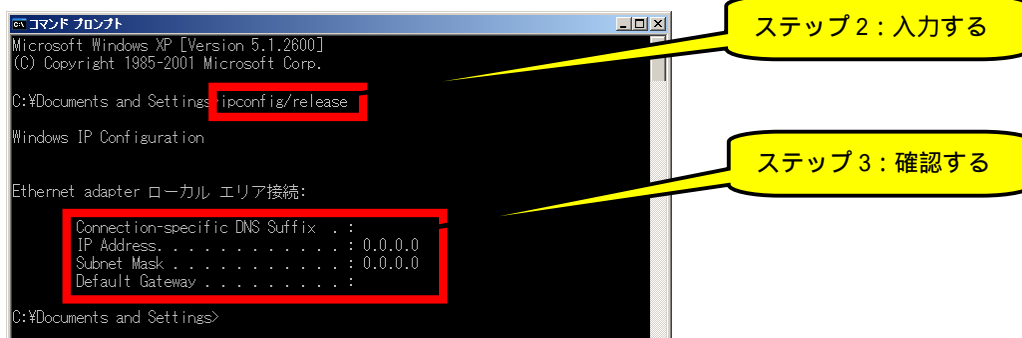
本装置の初期設定の IP アドレスは 192.168.1.254、プレフィックス長(サブネットマスク)は 24 です。設定中に、本装置の IP アドレスを変更すると、アクセス中のパソコンは本装置と通信することができなくなります。このときは、パソコン側の IP アドレスの解放と再取得が必要となります。次の手順で IP アドレスの解放 / 再取得を行ってから、Web ブラウザで再接続してください。

【ステップ 1】 Windows の[スタート]をクリックし、メニューの[すべてのプログラム]をクリックし、アクセサリから[コマンドプロンプト]をクリックします。

【コマンドプロンプト】画面が表示されます。

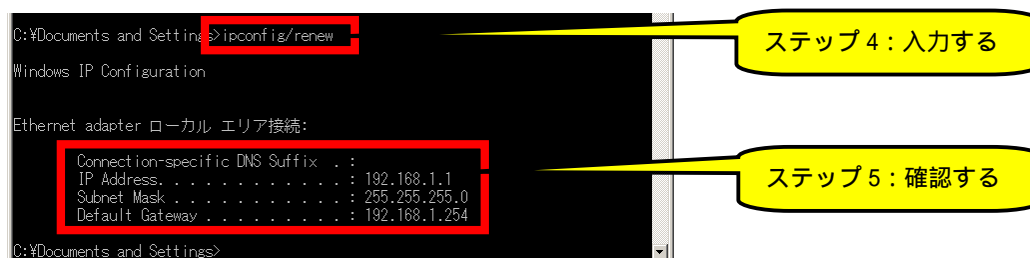
【ステップ 2】 コマンドプロンプト(>)に続けて半角英数字で「ipconfig/release」と入力し[Enter]キーを押します。

【ステップ 3】 IP アドレスが開放されたことを確認します。



【ステップ 4】 コマンドプロンプト(>)に続けて半角英数字で「ipconfig/renew」と入力し[Enter]キーを押します。

【ステップ 5】 新しい IP アドレスが取得できたことを確認します。



## 2.2. ログインする

【ステップ1】 [ログイン実行]ボタンをクリックします。

【192.168.1.254 に接続】ダイアログ画面が表示されます。



トップページ - 装置 ネットワーク プロバイダ接続 VPN接続

トップページ

ログインしていません。  
各種状態の確認や設定などを行うにはログインする必要があります。

- ログイン

**ログイン実行**

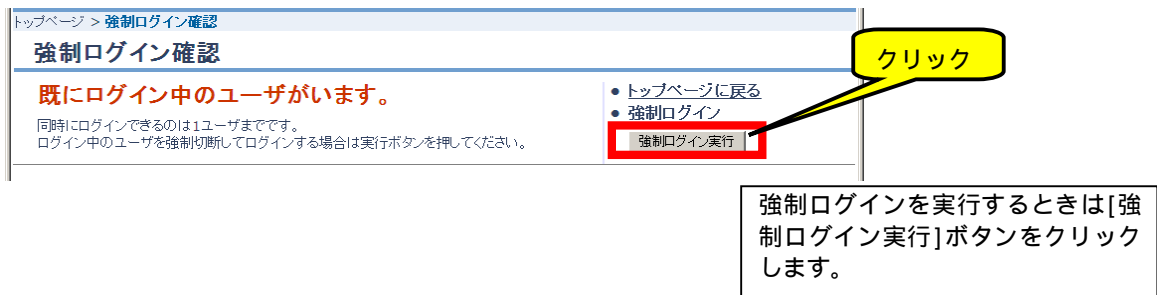
装置

装置	バージョン	稼働時間	稼働率	メモリ	内部温度	内部電圧	NTP
Router	8.5.21	2 時間 20 分	13%	22%	+40.0°C	+3.250V	未設定

ステップ1: クリック

### 【強制ログイン確認】画面について

<b>注 意</b>	本装置に同時にログインできるのは1ユーザです。既に本装置にログインしているユーザがいるときは、 <b>【強制ログイン確認】</b> 画面が表示されます。 強制ログインは、既にログインしているユーザを強制的にログアウトさせ、後からのユーザがログインする操作です。
------------	---



トップページ > 強制ログイン確認

強制ログイン確認

**既にログイン中のユーザがいます。**

同時にログインできるのは1ユーザまでです。  
ログイン中のユーザを強制切断してログインする場合は実行ボタンを押してください。

- トップページに戻る
- 強制ログイン

**強制ログイン実行**

クリック

強制ログインを実行するときは[強制ログイン実行]ボタンをクリックします。

### 【強制ログアウト】画面について

強制ログアウトされたユーザのブラウザは、アクセス時に【強制ログアウト】画面に切り替わり、「強制ログアウトしました。」のメッセージが表示されます。



トップページ > 強制ログアウト

強制ログアウト

**強制ログアウトしました。**

他のユーザがログインしたか、またはタイムアウトしました。  
トップページからログインしなおしてください。

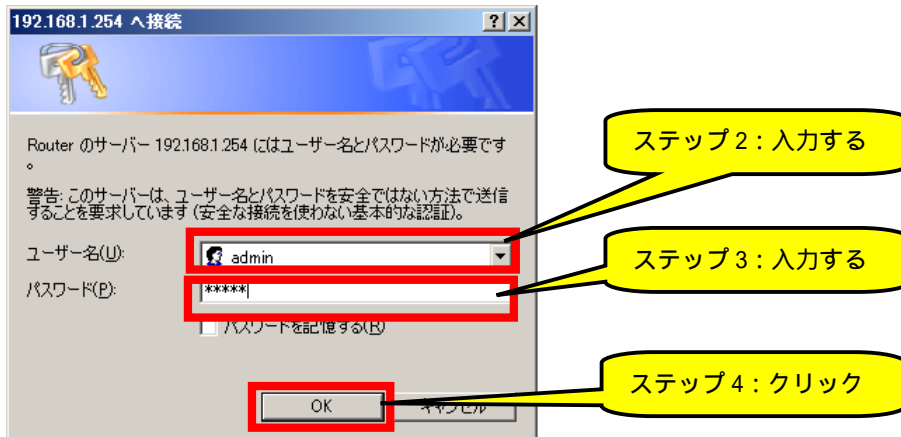
- トップページに戻る

【ステップ2】 [ユーザ名(U)]に半角英数字で「admin」と入力します。  
半角の小文字で入力します。

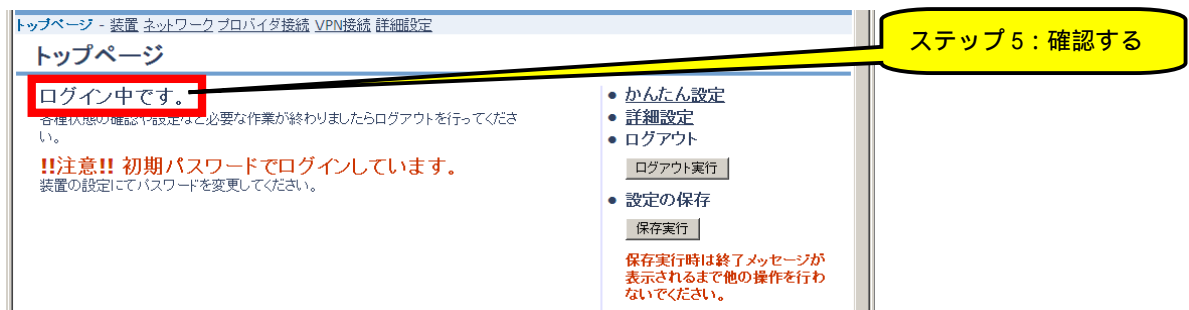
【ステップ3】 [パスワード(P)]に半角英数字で「admin」と入力します。  
半角の小文字で入力します。

【ステップ4】 [OK]ボタンをクリックします。

【トップページ】画面のメッセージが「ログイン中です。」に切り替わります。

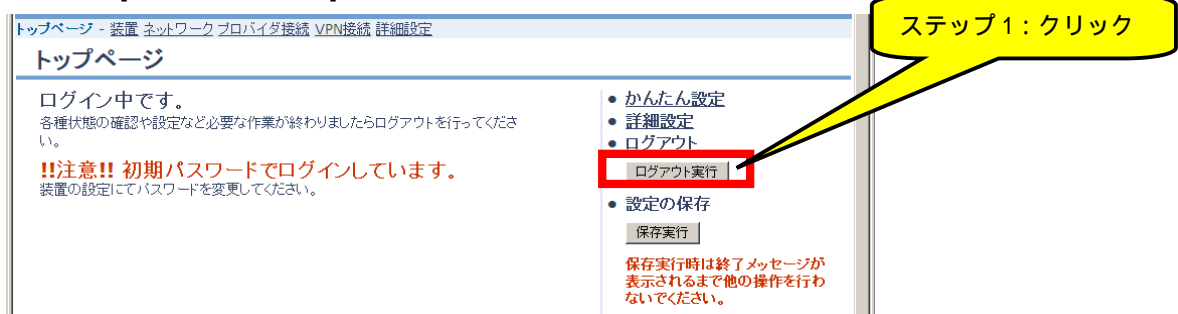


【ステップ 5】 メッセージエリアの「ログイン中です。」により、ログインが正常に完了したことを確認します。

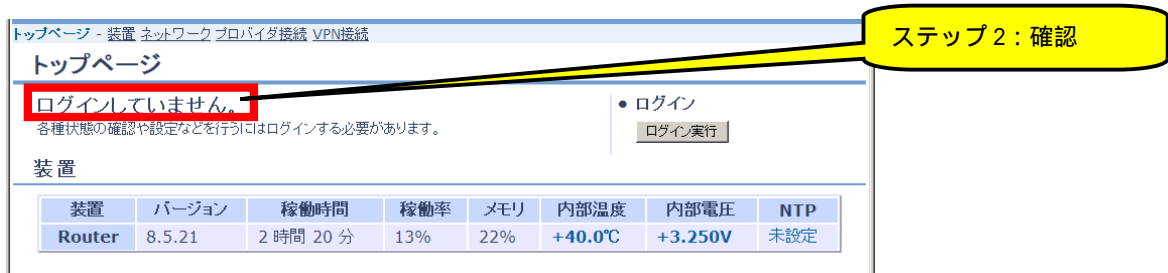


## 2.3. ログアウトする

【ステップ 1】 [ログアウト実行]ボタンをクリックします。



【ステップ 2】 メッセージエリアの「ログインしていません。」により、ログアウトが正常に完了したことを確認します。



## 3. かんたん設定

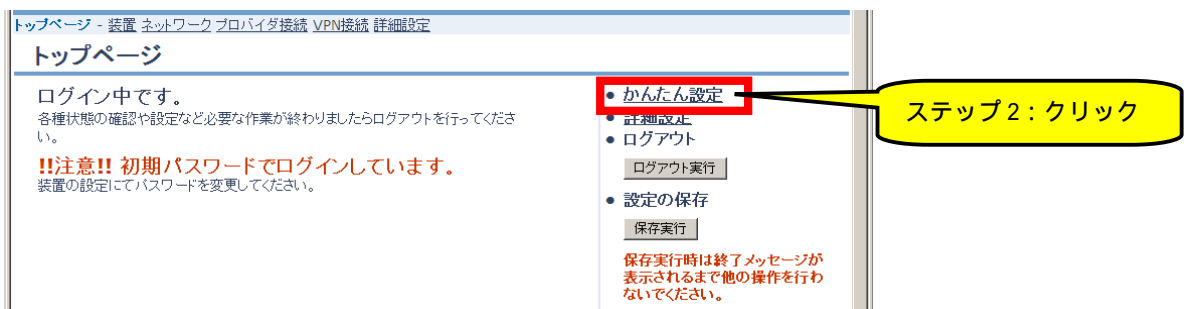
### 3.1. PPPoE によるインターネット接続

#### 3.1.1. かんたん設定を開始する

【ステップ1】 ログインします。

【ステップ2】 トップページ of 「かんたん設定」をクリックします。

【装置名とログインの設定】画面が表示されます。



#### 3.1.2. 装置名とログインパスワードを設定する

【ステップ1】 装置名を入力します。

本装置をネットワークで識別するための名称です。任意の装置名を付けることができます。半角英数字で 1~79 文字まで入力できます。

**解説** 装置名の初期設定は、「Router」です。

【ステップ2】 トップページ of 「かんたん設定」をクリックします。

【装置名とログインの設定】画面が表示されます。

**解説** 「かんたん設定」ではログイン ID を変更することはできません。変更するときは『取扱説明書』を参照して、コマンド入力により行ってください。

【ステップ3】 ログインパスワードを変更するときは、新しいログインパスワードを入力します。

トップページの「かんたん設定」をクリックします。

半角文字で 1~249 文字まで入力できます。

**注意**

- ・ 大文字 / 小文字も区別されます。
- ・ パスワードの入力文字は表示されません。 の伏せ文字が表示されます。
- ・ パスワードは第三者に推測されにくく、忘れないような文字列を入力します。

**+** セキュリティ性を向上させるため、パスワードの変更を強く推奨します。パスワードは、「4.個別設定」の「4.1.装置名 / ログインパスワード / Telnet サーバ機能の設定」で変更することもできます。

【ステップ4】 「Telnet サーバ機能」のプルダウンメニューから[有効] / [無効]を選択します。  
Web 設定以外に、リモートコンソールから Telnet 接続によるコマンドライン設定を行う場合は、[有効]を選択します。Telnet 接続を行わない場合は[無効]を選択します。

【ステップ5】 [設定する]ボタンをクリックします。  
【LAN 側ネットワークの設定】画面に切り替わります。

**注意** 「ログインパスワードを変更する」にチェックを付けたときは、ログインのダイアログ画面が表示されま  
す。新しく設定したパスワードを入力して[OK]をクリックしてください。

**解説** [設定する]ボタンをクリックしたときに、設定データが有効になります。

トップページ > かんたん設定 > 装置名とログインの設定

### かんたん設定

以下の設定フォームに必要事項を入力または編集し、設定ボタンを押してください。

#### 装置名とログインの設定

	現在の状態・設定	設定の変更
装置名	Router	[Router] <small>半角英数字で入力してください</small>
ログインID	admin	<small>変更できません</small>
ログインパスワード	(表示しません)	<input type="checkbox"/> ログインパスワードを変更する 確認のためもう一度入力してください
Telnetサーバ機能	無効	[無効]

[設定する]

ステップ1: 入力する  
ステップ2: チェック  
ステップ3: 入力する  
ステップ4: クリック  
ステップ5: クリック

---

### 3.1.3. LAN 側ネットワークを設定する

【ステップ 1】 本装置の LAN 側 IP アドレス、サブネットマスクを入力します。装置名を入力します。

サブネットマスクは CIDR(クラスレス・インタードメイン・ルーティング)表記となっています。

注意

本装置の初期設定の IP アドレスは 192.168.1.254、サブネットマスクは 24 です。IP アドレスを変更して[設定する]ボタンをクリックすると、Web 接続が切断されます。このときは、変更した IP アドレスで再接続してください。

+

サブネットマスクは、サブネットワークの範囲を 32 ビット(2 進数)で指定します。CIDR 表記では、マスクビット数で表記します。先頭 24 ビットがマスクされたとき、32 ビットを 4 ビットずつ 4 部分に分けて 10 進表記にすると 255.255.255.0 となります。

【ステップ 2】 「DHCP サーバ機能」のプルダウンメニューから [有効] / [無効] を選択します。

注意

「DHCP サーバ機能」の [無効] を選択したときは、ネットワーク内のパソコン等の IP アドレスを個別に設定する必要があります。

+

「セカンダリ IP アドレス」については、「4.個別設定」の「4.3.LAN 側ネットワーク」を参照してください。

【ステップ 3】 「DHCP サーバ機能」で [有効] を選択したときは、「割り当て範囲」の IP アドレスを入力します。

注意

DHCP の割り当て範囲は、LAN 側 IP アドレスと同一のサブネットワークの範囲内である必要があります。

【ステップ4】 [設定する]ボタンをクリックします。

このスクリーンショットは「かんたん設定」の「LAN側ネットワークの設定」画面を示しています。画面には以下の要素があります：

- 警告メッセージ：「!!注意!! IPアドレスを変更して[設定する]ボタンを押すと、現在の接続は切断されます。新しいIPアドレスに接続しなおして、また最初から設定してください。」
- 現在の状態・設定表：
 

項目	現在の状態・設定	設定の変更
デバイス	GigaEthernet1	-
接続状態	Port1: 接続されていません Port2: 接続されていません Port3: 接続されていません Port4: 全二重 1Gbpsで接続	-
送信量	0%	-
受信量	0%	-
IPアドレス	192.168.1.254/24	192.168.1.254 / 24 アドレスを変更した場合、現在の接続は切断され、新しいアドレスに接続しなおしてください。 <input type="checkbox"/> セカンダリIPアドレスを使用する
DHCPサーバ機能	有効	有効
割り当て範囲	192.168.1.1 ~ 192.168.1.253	192.168.1.1 ~ 192.168.1.253
- 「設定する」ボタン

黄色い吹き出しで示されたステップは以下の通りです：

- ステップ1：入力する（IPアドレスフィールド）
- ステップ2：選択する（サブネットマスクドロップダウン）
- ステップ3：入力する（セカンダリIPアドレスフィールド）
- ステップ4：クリック（設定するボタン）

【ステップ5】 プロバイダ接続方法を選択する画面が表示されることを確認します。

**注意** 本装置のLAN側IPアドレスを変更したときは、[設定する]ボタンのクリックでデータが変更されるため、Web画面の接続が切れ、「接続できませんでした」が表示されます。「2.Web接続とログイン/ログアウト」の「2.1.本装置のトップページを開く」を参照して再度Web接続してトップページを開き、ログインしてください。

このスクリーンショットは「かんたん設定」の「プロバイダ接続の設定」画面を示しています。画面には以下の要素があります：

- メッセージ：「プロバイダ接続の設定方法を選択してください。」
- 選択可能なオプション：
  - PPPoE接続の設定を行う
  - IP接続の設定を行う

黄色い吹き出しで示されたステップ5は「確認する」です。

3.1.4. 接続方法(PPPoE接続)を選択する

このスクリーンショットは「かんたん設定」の「プロバイダ接続の設定」画面を示しています。画面には以下の要素があります：

- メッセージ：「プロバイダ接続の設定方法を選択してください。」
- 選択可能なオプション：
  - PPPoE接続の設定を行う
  - IP接続の設定を行う

黄色い吹き出しで示されたステップ5は「確認する」です。

### 3.1.5. PPPoE 接続のプロバイダ情報を設定する

- 【ステップ 1】 「接続名」にプロバイダ接続の名称を入力します。  
プロバイダの接続名称は、接続先が分かるような任意の名称を付けることができます。  
半角文字で 1~79 文字まで入力できます。
- 【ステップ 2】 プロバイダから与えられた PPPoE 接続の「ユーザ ID」を入力します。「接続名」に  
プロバイダ接続の名称を入力します。  
半角文字で 1~59 文字まで入力できます。
- 【ステップ 3】 プロバイダから与えられた PPPoE 接続に使用する「パスワード」を入力します。  
大文字、小文字も区別されます。  
半角文字で 1~79 文字まで入力できます。
- 【ステップ 4】 PPPoE 接続の「IP アドレス」を設定します。  
プロバイダから WAN 側の固定 IP アドレスが与えられているときは、「手動設定」ラジオボタ  
ンをチェックし、与えられた IP アドレスを入力し、サブネットマスクをプルダウンメニュー  
から選択します。  
固定 IP アドレスが与えられていないときは、「自動取得」のラジオボタンをチェックします。

注意

他のインタフェースで使用されている IP アドレスを使用することはできません。

+

ネットワークのアドレスは IPv4 の場合、半角数字で「xxx.xxx.xxx.xxx」のように 4 つの半角数字(0~255)をピリオド(ドット)で区切って入力します。

- 【ステップ 5】 「DNS アドレス」を設定します。  
プロバイダから DNS アドレスが与えられているとき、または独自に DNS を指定するときは、「手  
動設定」ラジオボタンをチェックし、上段にプライマリ DNS サーバ、下段にセカンダリ DNS サ  
ーバのアドレスを入力します。  
DNS アドレスが与えられていないときは、「自動取得」のラジオボタンをチェックします。

注意

他のインタフェースで使用されている IP アドレスを使用することはできません。

+

DNS(ドメイン・ネーム・システム)とは、ドメイン名を IP アドレスに変換するシステムのことで  
す。DNS アドレスは、この機能を行っているサーバのアドレスです。



【ステップ6】 [設定する]ボタンをクリックします。

トップページ > かんたん設定 > プロバイダ接続の設定(PPPoE接続)

かんたん設定

以下の設定フォームに必要事項を入力または編集し、設定ボタンを押してください。

プロバイダ 接続 の 設定(PPPoE 接続)

	現在の状態・設定	設定の変更
接続名		<input type="text"/>
接続状態		<input type="text"/>
ユーザID		<input type="text"/>
パスワード		<input type="password"/>
IPアドレス		<input type="radio"/> 自動取得 <input type="radio"/> 手動設定 <input type="text"/> / <input type="text"/>
DNSアドレス		<input type="radio"/> 自動取得 <input type="radio"/> 手動設定 <input type="text"/>

ステップ1: 入力する

ステップ2: 入力する

ステップ3: 入力する

ステップ4: 設定する

ステップ5: 設定する

ステップ6: クリック

3.1.6. 設定を保存する

【ステップ1】 「インターネットの設定が完了しました。」のメッセージを確認します。

【ステップ2】 [保存実行]ボタンをクリックします。

トップページ > かんたん設定 > インターネット 接続 の 設定(完了)

かんたん設定

**インターネット接続の設定が完了しました。**

インターネット接続の設定のみの場合は、設定の保存を実行してください。  
続けてインターネットVPN接続の設定を行う場合は、VPN接続の設定へ進んでください。

- 設定の保存
- 
- VPN接続の設定へ

ステップ1: 確認する

ステップ2: クリック

【ステップ3】 「全ての設定が完了しました。」のメッセージを確認します。

【ステップ4】 [トップページに戻る]をクリックします。

【トップページ】画面が表示されます。

トップページ > かんたん設定 > 設定の保存(完了)

かんたん設定

**全ての設定が完了しました。**

トップページに戻って接続状態を確認してください。

- 

ステップ3: 確認する

ステップ4: クリック

### 3.1.7. 接続状態を確認する

【ステップ1】 「PPPoE 基本接続」の「状態」欄が「接続」になっていることを確認します。

【ステップ2】 [プロバイダ接続の設定]をクリックします。

ネットワーク

- 装置の設定
- 装置のメンテナンス

デバイス	接続状態	送信量	受信量
WAN側(GE0)	接続されていません	0%	0%
LAN側(GE1)	Port1: 接続されていません Port2: 接続されていません Port3: 接続されていません Port4: 全二重 1Gbpsで接続	0%	0%

プロバイダ 接続

- ネットワークの設定

プロバイダ接続	接続名	状態
PPPoE基本接続	PPPoE	接続

- プロバイダ接続の設定

VPN 接続

- VPN接続の設定

詳細設定

- 詳細設定

現在トップページにいます

【ステップ3】 設定した内容が正しいか【プロバイダ接続の設定】画面の「プロバイダ接続詳細」で確認します。

【ステップ4】 [トップページに戻る]をクリックします。

【トップページ】画面が表示されます。

トップページ > プロバイダ接続の設定 - プロバイダ接続 PPPoE基本接続

#### プロバイダ接続の設定

プロバイダ接続の状態確認と設定を行うことができます。

- トップページに戻る

プロバイダ 接続

プロバイダ接続	接続名	状態
PPPoE基本接続	PPPoE	接続
PPPoE追加接続	設定されていません 基本接続と異なる接続先はPPPoE追加接続の設定追加で設定してください。	
IP接続	利用できません IP接続を利用するにはPPPoE接続の設定を全て削除してください。	

- PPPoE追加接続の設定追加

プロバイダ 接続詳細

#### PPPoE 基本接続

現在の状態・設定	
接続名	PPPoE
接続状態	接続
ユーザID	test01@test.com
パスワード	(表示しません)
IPアドレス	自動取得 203.0.113.10/32
DNSアドレス	自動取得 -

- PPPoE基本接続の設定編集
- PPPoE基本接続の設定削除
- トップページに戻る

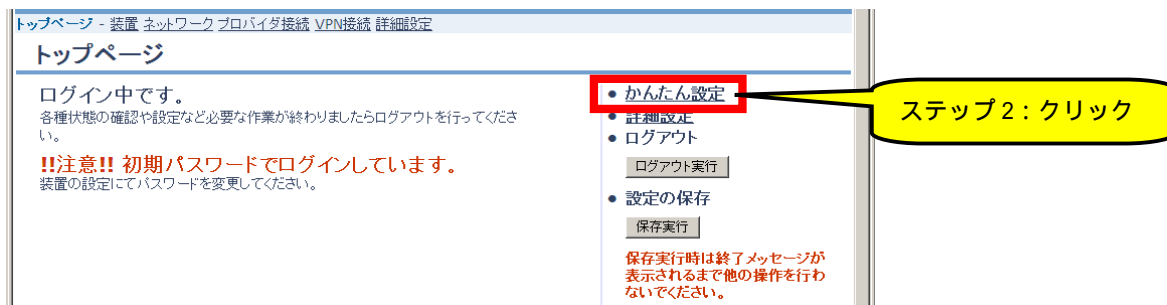
## 3.2. IP 接続によるインターネット接続

### 3.2.1. かんたん設定を開始する

【ステップ1】 ログインします。

【ステップ2】 トップページ上の「かんたん設定」をクリックします。

【装置名とログインの設定】画面が表示されます。



### 3.2.2. 装置名とログインパスワードを設定する

【ステップ1】 装置名を入力します。

本装置をネットワークで識別するための名称です。任意の装置名を付けることができます。半角英数字で 1~79 文字まで入力できます。

**解説** 装置名の初期設定は、「Router」です。

【ステップ2】 ログインパスワードを変更するときは、「ログインパスワードを変更する」のチェックボックスにチェックを付けます。

**解説** 「かんたん設定」ではログイン ID を変更することはできません。変更するときは『取扱説明書』を参照して、コマンド入力により行ってください。

【ステップ3】 ログインパスワードを変更するときは、新しいログインパスワードを入力します。半角文字で 1~249 文字まで入力できます。

**注意**

- ・ 大文字 / 小文字も区別されます。
- ・ パスワードの入力文字は表示されません。 の伏せ文字が表示されます。
- ・ パスワードは第三者に推測されにくく、忘れないような文字列を入力します。

**+** セキュリティ性を向上させるため、パスワードの変更を強く推奨します。パスワードは、「4.個別設定」の「4.1.装置名 / ログインパスワード / Telnet サーバ機能の設定」で変更することもできます。

【ステップ4】 「Telnet サーバ機能」のプルダウンメニューから[有効] / [無効]を選択します。

Web 設定以外に、リモートコンソールから Telnet 接続によるコマンドライン設定を行う場合は、[有効]を選択します。Telnet 接続を行わない場合は[無効]を選択します。

【ステップ5】 [設定する]ボタンをクリックします。

【LAN 側ネットワークの設定】画面に切り替わります。

注意

「ログインパスワードを変更する」にチェックを付けたときは、ログインのダイアログ画面が表示されません。新しく設定したパスワードを入力して[OK]をクリックしてください。

解説

[設定する]ボタンをクリックしたときに、設定データが有効になります。

トップページ > かんたん設定 > 装置名とログインの設定

### かんたん設定

以下の設定フォームに必要事項を入力または編集し、設定ボタンを押してください。

#### 装置名とログインの設定

	現在の状態・設定	設定の変更
装置名	Router	Router 半角英数字で入力してください
ログインID	admin	変更できません
ログインパスワード	(表示しません)	<input type="checkbox"/> ログインパスワードを変更する 確認のためもう一度入力してください
Telnetサーバ機能	無効	[無効] ▼

設定する

ステップ1: 入力する

ステップ2: チェック

ステップ3: 入力する

ステップ4: クリック

ステップ5: クリック

---

### 3.2.3. LAN 側ネットワークを設定する

【ステップ 1】 本装置の LAN 側 IP アドレス、サブネットマスクを入力します。

サブネットマスクは CIDR(クラスレス・インタードメイン・ルーティング)表記となっています。

注意	本装置の初期設定の IP アドレスは 192.168.1.254、サブネットマスクは 24 です。IP アドレスを変更して[設定する]ボタンをクリックすると、Web 接続が切断されます。このときは、変更した IP アドレスで再接続してください。
----	--

+	サブネットマスクは、サブネットワークの範囲を 32 ビット(2 進数)で指定します。CIDR 表記では、マスクビット数で表記します。先頭 24 ビットがマスクされたとき、32 ビットを 4 ビットずつ 4 部分に分けて 10 進表記にすると 255.255.255.0 となります。
---	---

【ステップ 2】 「DHCP サーバ機能」のプルダウンメニューから [有効] / [無効] を選択します。

注意	「DHCP サーバ機能」の [無効] を選択したときは、ネットワーク内のパソコン等の IP アドレスを個別に設定する必要があります。
----	--

+	「セカンダリ IP アドレス」については、「4.個別設定」の「4.3.LAN 側ネットワーク」を参照してください。
---	---

【ステップ 3】 「DHCP サーバ機能」で [有効] を選択したときは、「割り当て範囲」の IP アドレスを入力します。

注意	DHCP の割り当て範囲は、LAN 側 IP アドレスと同一のサブネットワークの範囲内である必要があります。
----	--

+	「DHCP サーバ機能」は、LAN 側インタフェースに接続され、かつ IP アドレス自動取得に設定されている機器に対して、IP アドレスを自動的に割り当てる機能です。
---	---

#### 【ステップ4】 [設定する]ボタンをクリックします。

このスクリーンショットは「かんたん設定」の「LAN側ネットワークの設定」画面を示しています。右側の黄色い吹き出しは、以下の手順を説明しています：

- ステップ1: 入力する (IPアドレスフィールド)
- ステップ2: 選択する (サブネットマスクドロップダウン)
- ステップ3: 入力する (DHCPサーバ機能の「有効」)
- ステップ4: クリック (設定するボタン)

	現在の状態・設定	設定の変更
デバイス	GigaEthernet1	-
接続状態	Port1: 接続されていません Port2: 接続されていません Port3: 接続されていません Port4: 全二重 1Gbpsで接続	-
送信量	0%	-
受信量	0%	-
IPアドレス	192.168.1.254/24	192.168.1.254 / 24 アドレスを変更した場合、現在の接続は切断され、新しいアドレスに接続しなおしてください。 <input type="checkbox"/> セカンダリIPアドレスを使用する
DHCPサーバ機能	有効	有効
割り当て範囲	192.168.1.1 ~ 192.168.1.253	192.168.1.1 ~ 192.168.1.253

#### 【ステップ5】 プロバイダ接続方法を選択する画面が表示されることを確認します。

<b>注意</b>	本装置のLAN側IPアドレスを変更したときは、[設定する]ボタンのクリックでデータが変更されるため、Web画面の接続が切れ、「接続できませんでした」が表示されます。「2.Web 接続とログイン/ログアウト」の「2.1.本装置のトップページを開く」を参照して再度 Web 接続してトップページを開き、ログインしてください。
-----------	--

このスクリーンショットは「かんたん設定」の「プロバイダ接続の設定」画面を示しています。右側の黄色い吹き出しは「ステップ5: 確認する」を指しています。

- PPPoE接続の設定を行う
- IP接続の設定を行う

#### 3.2.4. 接続方法(IP 接続)を選択する

【プロバイダ接続の設定(IP 接続)】画面が表示されます。

このスクリーンショットは「かんたん設定」の「プロバイダ接続の設定」画面を示しています。右側の黄色い吹き出しは「クリック」を指しています。

- PPPoE接続の設定を行う
- IP接続の設定を行う

### 3.2.5. IP 接続のプロバイダ情報を設定する

【ステップ 1】 「接続名」にプロバイダ接続の名称を入力します。

プロバイダの接続名称は、接続先が分かるような任意の名称を付けることができます。  
半角文字で 1~79 文字まで入力できます。

【ステップ 2】 「DHCP クライアント機能」のプルダウンメニューから[有効] / [無効]を選択します。

注意	<ul style="list-style-type: none"><li>・「DHCP クライアント機能」の[無効]を選択したときは、以下の IP アドレス、デフォルトルート、DNS アドレスを設定する必要があります。</li><li>・[有効]を選択したときは、IP アドレス、デフォルトルート、DNS アドレスに入力しても、[設定する]ボタンがクリックされたときに削除されます。</li></ul>
----	--

+	「DHCP クライアント機能」は、IP アドレスを自動的に割り当ててもらう機能です。
---	--

+	ネットワークのアドレスは IPv4 の場合、半角数字で「xxx.xxx.xxx.xxx」のように 4 つの半角数字(0~255)をピリオド(ドット)で区切って入力します。
---	---

【ステップ 3】 「DHCP クライアント機能」の[無効]を選択したときは、「IP アドレス」を設定します。

WAN 側(GEO)ポートの IP アドレスを入力し、サブネットマスクをプルダウンメニューから選択します。

注意	他のインタフェースで使用されている IP アドレスを使用することはできません。
----	---

【ステップ 4】 「DHCP クライアント機能」の [無効]を選択したときは、「デフォルトルート」を入力します。

+	デフォルトルートとは、受信したパケットの宛先アドレスに一致する経路がルーティングテーブルに存在しないときに用いる経路です。
---	---

【ステップ 5】 「DHCP クライアント機能」の [無効]を選択したときは、「DNS アドレス」を設定します。

上段にプライマリ DNS サーバ、下段にセカンダリ DNS サーバのアドレスを入力します。  
DNS アドレスが与えられているときは、そのアドレスを入力します。

注意	他のインタフェースで使用されている IP アドレスを使用することはできません。
----	---

【ステップ6】 [設定する]ボタンをクリックします。

かんたん設定

以下の設定フォームに必要事項を入力または編集し、設定ボタンを押してください。

プロバイダ 接続の設定(IP接続)

	現在の状態・設定	設定の変更
接続名		<input type="text"/>
接続状態		<input type="text"/>
DHCPクライアント機能		<input type="text" value="使用する"/>
IPアドレス		<input type="text"/> / 24
デフォルトルート		<input type="text"/>
DNSアドレス		<input type="text"/>

設定する

ステップ1: 入力する

ステップ2: 選択する

ステップ3: 設定する

ステップ4: 入力する

ステップ5: 入力する

ステップ6: クリック

3.2.6. 設定を保存する

【ステップ1】 「インターネットの設定が完了しました。」のメッセージを確認します。

【ステップ2】 [保存実行]ボタンをクリックします。

かんたん設定

インターネット接続の設定が完了しました。

インターネット接続の設定のみの場合は、設定の保存を実行してください。  
続けてインターネットVPN接続の設定を行う場合は、VPN接続の設定へ進んでください。

設定の保存  
保存実行  
VPN接続の設定へ

ステップ1: 確認する

ステップ2: クリック

【ステップ3】 「全ての設定が完了しました。」のメッセージを確認します。

【ステップ4】 [トップページに戻る]をクリックします。

【トップページ】画面が表示されます。

かんたん設定

全ての設定が完了しました。

トップページに戻って接続状態を確認してください。

トップページに戻る

ステップ3: 確認する

ステップ4: クリック



### 3.2.7. 接続状態を確認する

【ステップ1】 「WAN側(GE0)」の「接続状態」、「IP接続」の「状態」欄が「接続」になっていることを確認します。

【ステップ2】 [プロバイダ接続の設定]をクリックします。

ネットワーク

デバイス	接続状態	送信量	受信量
WAN側(GE0)	全二重 1Gbpsで接続	0%	0%
LAN側(GE1)	Port1: 接続されていません Port2: 接続されていません Port3: 接続されていません Port4: 全二重 1Gbpsで接続	0%	0%

• ネットワークの設定

プロバイダ接続

プロバイダ接続	接続名	状態
IP接続	IP	接続

• プロバイダ接続の設定

ステップ1: 確認する

ステップ2: クリック

【ステップ3】 設定した内容が正しいか【プロバイダ接続の設定】画面の「プロバイダ接続詳細」で確認します。

【ステップ4】 [トップページに戻る]をクリックします。  
【トップページ】画面が表示されます。

トップページ > プロバイダ接続の設定 - プロバイダ接続 IP接続

### プロバイダ接続の設定

プロバイダ接続の状態確認と設定を行うことができます。 [• トップページに戻る](#)

プロバイダ接続

	接続名	状態
PPPoE基本接続	利用できません	
PPPoE追加接続	PPPoE接続を利用するにはIP接続の設定を削除してください。	
IP接続	IP	接続

これ以上追加できません

プロバイダ接続詳細

### IP接続

	現在の状態・設定
接続名	IP
接続状態	接続
DHCPクライアント機能	使用する
IPアドレス	自動取得 10.10.10.29/24
デフォルトルート	自動取得 10.10.10.1
DNSアドレス	自動取得 203.0.113.100 203.0.113.101

• IP接続の設定編集  
• IP接続の設定削除  
• トップページに戻る

ステップ3: 確認する

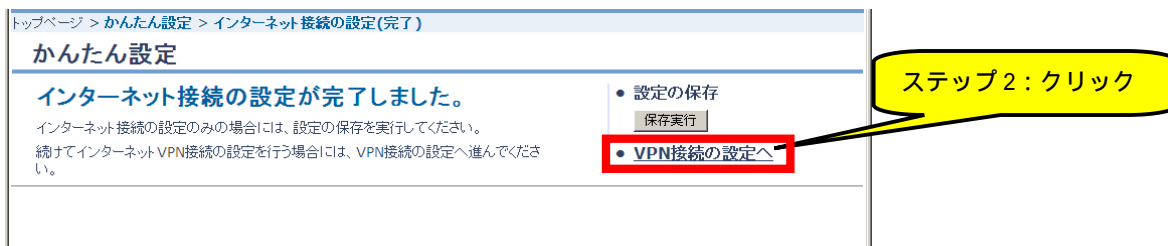
ステップ4: クリック

### 3.3. IPsec による VPN 接続

#### 3.3.1. インターネット接続の設定をする

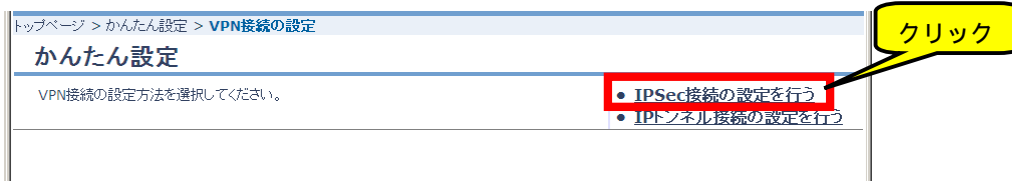
【ステップ1】 「3.1.PPPoE によるインターネット接続」または「3.2.IP 接続によるインターネット接続」の「3.1.1 項～3.1.5 項」または「3.2.1 項～3.2.5 項」の手順に従い、PPPoE または IP 接続のインターネット設定をします。

【ステップ2】 [VPN 接続の設定へ]をクリックします。



#### 3.3.2. VPN 接続方法(IPsec)を選択する

[IPsec 接続の設定を行う]をクリックします。



### 3.3.3. IPSec による VPN 接続を設定する

- 【ステップ 1】 「接続名」に IPSec の名称を入力します。  
 プロバイダの接続名称は、接続先が分かるような任意の名称を付けることができます。  
 半角文字で 1~79 文字まで入力できます。
- 【ステップ 2】 本装置の「WAN 側 IP アドレス」の割り当て方式を選択します。  
 インターネット接続の設定で、PPPoE の IP アドレスを「自動取得」に設定したとき、または IP 接続の DHCP クライアント機能を「使用する」に設定したときは、[動的 IP アドレス]を選択します。上記以外で、WAN 側 IP アドレスを指定し、常に固定されているときは、[固定 IP アドレス]を選択します。
- 【ステップ 3】 接続先(IPSec 相手装置)の「WAN 側 IP アドレス」を設定します。  
 接続先(IPSec 相手装置)の IP アドレスが IPCP や DHCP などによる自動取得に設定されているときは[動的 IP アドレス]を選択します。常に固定した IP アドレスを使用しているときは[固定 IP アドレス]を選択し、その IP アドレスを入力します。
- 【ステップ 4】 接続先(IPSec 相手装置)の「LAN 側ネットワーク」のネットワークアドレス、サブネットワークマスクを設定します。
- 【ステップ 5】 「ルーティング」を設定します。  
 接続先(IPSec 相手装置)の LAN 側に、ネットワークが 1 つだけでなく、ステップ 4 で設定した以外に複数あるときは、そのネットワークアドレス(プレフィックス)を入力し、サブネットワークマスクを設定します。

**+** プレフィックスとは、サブネットワークマスクで指定されるプレフィックス長のネットワークアドレスです。接続ポートの IP アドレスではありません。たとえばサブネットワークマスクが 24(255.255.255.0)のときのプレフィックスは、「xxx.xxx.xxx.0」の「x」の部分で、最後のアドレス表記は「0」となります。

かんたん設定

以下の設定フォームに必要事項を入力または編集し、設定ボタンを押してください。

**VPN 接続#1 の設定**

		現在の状態・設定	設定の変更
接続名			<input type="text"/>
接続種別			IPSec
接続状態			
接続元 (自装置)	WAN側 IPアドレス		[固定IPアドレス]
	LAN側 ネットワーク		
接続先 (相手装置)	WAN側 IPアドレス		[固定IPアドレス]
	LAN側 ネットワーク		<input type="text"/> / [24]
ルーティング			<input type="text"/> / [24] <input type="text"/> / [24] <input type="text"/> / [24] <input type="text"/> / [24]
IKE	事前共有鍵		
	アルゴリズム		暗号 [AES(128 bits)] / 認証 [SHA1]
	モード		メインモードとアグレッシブモードの設定は自動選択します。
IPSec	ID		
	アルゴリズム		暗号 [AES(128 bits)] / 認証 [SHA1]

設定する

【ステップ6】 IKE で使用される「事前共有鍵」の文字列を入力します。  
半角文字で 1~128 文字まで入力できます。

**注意** 接続先(IPSec 相手装置)と同じ設定の事前共有鍵の文字列を入力します。

**+** IKE(インターネット・キー・エクスチェンジ)は、IPSec で使う秘密共有鍵の生成を行う鍵交換プロトコルです。

【ステップ7】 IKE で使用される暗号と認証の「アルゴリズム」を選択します。  
暗号アルゴリズムは、DES、3DES、AES(128 bit)、AES(192 bit)、AES(256 bit)から選択します。  
認証アルゴリズムは、MD5、SHA1 から選択します。

**注意** 接続先(IPSec 相手装置)と同じ設定の暗号アルゴリズムと認証アルゴリズムを選択します。

【ステップ8】 IKE モードがアグレッシブモードのとき、「ID」を入力します。  
IKE モードがアグレッシブモードのとき、接続を識別するための ID 入力が必要です。  
半角文字で 1~255 文字を入力します。 . (ドット)間の文字数は 63 文字まで。

**注意** 接続先(IPSec 相手装置)と同じ設定の ID の文字列を入力します。

**解説** 動的アドレス」のときに IKE モードは自動的にアグレッシブモードになります。  
両方が「固定アドレス」のときは、メインモードになります。

【ステップ9】 IPSec の「アルゴリズム」を選択します。  
暗号アルゴリズムは、DES、3DES、AES(128 bit)、AES(192 bit)、AES(256 bit)から選択します。  
認証アルゴリズムは、MD5、SHA1 から選択します。

**注意** 接続先(IPSec 相手装置)と同じ設定の IPSec アルゴリズムを選択します。

【ステップ10】 [設定する]をクリックします。

The screenshot shows the IKE configuration page with the following elements highlighted by red boxes and callouts:

- 事前共有鍵** (Pre-shared key) input field: Step 6: 入力する (Input)
- アルゴリズム** (Algorithm) dropdown menu: Step 7: 選択する (Select)
- ID** input field: Step 8: 入力する (Input)
- 暗号** (Cipher) dropdown menu: Step 9: 選択する (Select)
- 認証** (Authentication) dropdown menu: Step 9: 選択する (Select)
- 設定する** (Apply) button: Step 10: クリック (Click)

### 3.3.4. 設定を保存する

【ステップ1】 「VPN 接続の設定が完了しました。」のメッセージを確認します。

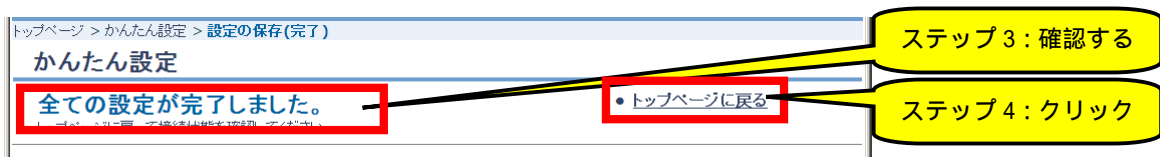
【ステップ2】 [保存実行]ボタンをクリックします。



【ステップ3】 「全ての設定が完了しました。」のメッセージを確認します。

【ステップ4】 [トップページに戻る]をクリックします。

【トップページ】画面が表示されます。



### 3.3.5. 接続状態を確認する

【ステップ1】 「VPN 接続」の接続番号「#1」が「接続」になっていることを確認します。

【ステップ2】 [VPN 接続の設定]をクリックします。



注意

表示例はプロバイダ接続を PPPoE で接続した例です。

【ステップ3】 設定した内容が正しいか【VPN 接続の設定】画面の「VPN 接続詳細」で確認します。

【ステップ4】 [トップページに戻る]をクリックします。

【トップページ】画面が表示されます。

VPN接続

接続番号	接続名	接続種別	状態
#1	PPPoE_IPSec	IPSec	接続

- IPSec接続の設定追加
- IPトンネル接続の設定追加

VPN接続詳細

VPN接続#1 - PPPoE\_IPSec(IPSec接続)

		現在の状態・設定
接続名		PPPoE_IPSec
接続種別		IPSec
接続状態		接続
接続元 (自装置)	WAN側 IPアドレス	固定IPアドレス 10.10.10.10
	LAN側 ネットワーク	192.168.1.0/24
接続先 (相手装置)	WAN側 IPアドレス	固定IPアドレス 10.10.10.100
	LAN側 ネットワーク	192.168.2.0/24
ルーティング		-
IKE	事前共有鍵	(表示しません)
	アルゴリズム	AES(128 bits) / SHA1
	モード	メインモード
IPSec	ID	-
	アルゴリズム	AES(128 bits) / SHA1

- VPN接続#1の設定編集
- VPN接続#1の設定削除
- トップページに戻る

ステップ3：確認する

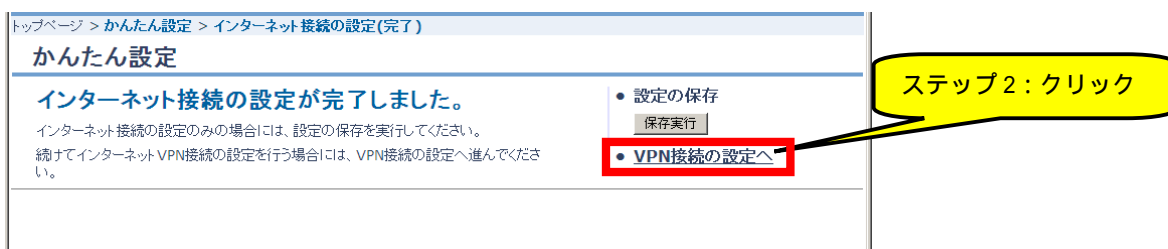
ステップ4：クリック

## 3.4. IP トンネルによる VPN 接続

### 3.4.1. インターネット接続の設定をする

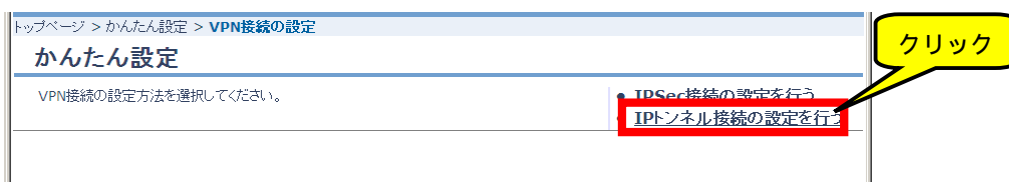
【ステップ 1】 「3.1.PPPoE によるインターネット接続」または「3.2.IP 接続によるインターネット接続」の「3.1.1 項～3.1.5 項」または「3.2.1 項～3.2.5 項」の手順に従い、PPPoE または IP 接続のインターネット設定をします。

【ステップ 2】 [VPN 接続の設定へ]をクリックします。



### 3.4.2. VPN 接続方法(IP トンネル)を選択する

[IP トンネル接続の設定を行う]をクリックします。



### 3.4.3. IP トンネルによる VPN 接続を設定する

【ステップ 1】 「接続名」に IP トンネル接続の名称を入力します。

接続名称は、IP トンネルの接続先が分かるような任意の名称を付けることができます。  
半角文字で 1～79 文字まで入力できます。

【ステップ 2】 本装置の「WAN 側 IP アドレス」の割り当て方式を選択します。

プロバイダ接続の設定で選択した接続方法(PPPoE 基本接続または IP 接続)を選択します。

#### 注意

個別設定で PPPoE 追加接続を設定しているときは、[PPPoE 追加接続]を選択します。かんたん設定のプロバイダ接続では、PPPoE 追加接続を設定することはできません。

【ステップ 3】 接続先(相手装置)の「WAN 側 IP アドレス」を設定します。

【ステップ 4】 接続先(相手装置)の「LAN 側ネットワーク」のネットワークアドレス、サブネットマスクを設定します。

【ステップ 5】 「ルーティング」を設定します。

接続先(相手装置)の LAN 側に、ネットワークが 1 つだけでなく、ステップ 4 で設定した以外に複数あるときは、そのネットワークアドレス(プレフィックス)を入力し、サブネットマスクを設定します。

+

プレフィックスとは、サブネットマスクで指定されるプレフィックス長のネットワークアドレスです。接続ポートの IP ドレスではありません。たとえばサブネットマスクが 24(255.255.255.0)のときのプレフィックスは、「xxx.xxx.xxx.0」の「x」の部分で、最後のアドレス表記は「0」となります。

【ステップ6】 [設定する]をクリックします。

このスクリーンショットは、VPN接続#1の設定画面（IPトンネル接続）を示しています。画面には「かんたん設定」のセクションがあり、以下の項目が設定されています：

接続名	現在の状態・設定	設定の変更
接続名		<input type="text"/>
接続種別		IPトンネル
接続状態		-
接続元 (自装置)	WAN側 IPアドレス	[PPPoE基本接続]
	LAN側 ネットワーク	LAN側ネットワークの設定を利用します。
接続先 (相手装置)	WAN側 IPアドレス	<input type="text"/>
	LAN側 ネットワーク	<input type="text"/> / <input type="text"/>
ルーティング		<input type="text"/> / <input type="text"/>
		<input type="text"/> / <input type="text"/>
		<input type="text"/> / <input type="text"/>

右側の黄色い吹き出しには、以下のステップが示されています：

- ステップ1：入力する
- ステップ2：選択する
- ステップ3：入力する
- ステップ4：設定する
- ステップ5：設定する
- ステップ6：クリック

### 3.4.4. 設定を保存する

【ステップ1】 「VPN 接続の設定が完了しました。」のメッセージを確認します。

【ステップ2】 [保存実行]ボタンをクリックします。

このスクリーンショットは、VPN接続の設定が完了した後の画面を示しています。画面には「かんたん設定」のセクションがあり、以下のメッセージが表示されています：

VPN接続の設定が完了しました。

設定の保存を実行してください。

右側の黄色い吹き出しには、以下のステップが示されています：

- ステップ1：確認する
- ステップ2：クリック

【ステップ3】 「全ての設定が完了しました。」のメッセージを確認します。

【ステップ4】 [トップページに戻る]をクリックします。

【トップページ】画面が表示されます。

このスクリーンショットは、設定の保存が完了した後の画面を示しています。画面には「かんたん設定」のセクションがあり、以下のメッセージが表示されています：

全ての設定が完了しました。

右側の黄色い吹き出しには、以下のステップが示されています：

- ステップ3：確認する
- ステップ4：クリック



### 3.4.5. 接続状態を確認する

【ステップ1】 「VPN 接続」の接続番号「#1」が「接続」になっていることを確認します。

【ステップ2】 [VPN 接続の設定]をクリックします。

プロバイダ接続	接続名	状態
PPPoE基本接続	PPPoE	接続

• プロバイダ接続の設定

**VPN接続**

接続番号	接続名	接続種別	状態
#1	IP_IP	IPトンネル	接続

• VPN接続の設定

詳細設定

• 詳細設定

現在トップページにいます

**注意**

表示例はプロバイダ接続を IP で接続した例です。

【ステップ3】 設定した内容が正しいか【VPN 接続の設定】画面の「VPN 接続詳細」で確認します。

【ステップ4】 [トップページに戻る]をクリックします。

【トップページ】画面が表示されます。

トップページ > VPN接続の設定 - VPN接続 VPN接続#1

**VPN接続の設定**

VPNの状態確認と設定を行うことができます。

• トップページに戻る

**VPN接続**

接続番号	接続名	接続種別	状態
#1	IP_IP	IPトンネル	接続

• IPSec接続の設定追加  
• IPトンネル接続の設定追加

**VPN接続詳細**

**VPN接続#1 - IP\_IP(IPトンネル 接続)**

		現在の状態・設定
接続名		IP_IP
接続種別		IPトンネル
接続状態		接続
接続元 (自装置)	WAN側 IPアドレス	IP接続 10.10.10.29
	LAN側 ネットワーク	192.168.1.0/24
接続先 (相手装置)	WAN側 IPアドレス	10.10.10.1
	LAN側 ネットワーク	192.168.2.0/24
ルーティング		-

• VPN接続#1の設定編集  
• VPN接続#1の設定削除  
• トップページに戻る

## 4. 個別設定

### 4.1. 装置名 / ログインパスワード / Telnet サーバ機能の設定

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[装置の設定]をクリックします。

【ステップ2】 [装置名とログインの設定]をクリックします。

The screenshot shows the transition from the 'トップページ' (Top Page) to the '装置の設定' (Device Settings) page. In the 'トップページ', the '装置の設定' link is highlighted with a red box and a yellow callout bubble labeled 'ステップ1: クリック'. An arrow points to the '装置の設定' page, where the '装置名とログイン' link is highlighted with a red box and a yellow callout bubble labeled 'ステップ2: クリック'.

装置	バージョン	稼働時間	稼働率	メモリ	内部温度	内部電圧	NTP
Router	8.5.21	4 時間 16 分	12%	23%	+41.0℃	+3.250V	未設定

装置時刻	現在の状態・設定
装置時刻	2011/05/21 17:30:57 +09 00
NTPサーバ	アドレス: 未設定 階層: 未設定 バージョン: -

【ステップ3】 【装置名とログインの設定】画面の各項目を設定します。

【ステップ4】 [設定する]をクリックします。

The screenshot shows the '装置名とログインの設定' page with a red border around the form fields. A yellow callout bubble labeled 'ステップ3: 設定する' points to the form fields, and another yellow callout bubble labeled 'ステップ4: クリック' points to the '設定する' button.

	現在の状態・設定	設定の変更
装置名	Router	Router 半角英数字で入力してください
ログインID	admin	変更できません
ログインパスワード	(表示しません)	<input type="checkbox"/> ログインパスワードを変更する 確認のためもう一度入力してください
Telnetサーバ機能	無効	無効

番号	項目	内容				
	装置名	<p>本装置をネットワークで識別するための名称です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>任意の装置名を付けることができます。</li> <li>半角英数字で 1~79 文字まで入力できます。</li> </ul>				
	ログイン ID	<p>本装置にログインするときの ID です。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初期値は「admin」です。変更できません。</li> </ul>				
	ログインパスワード	<p>本装置にログインするときのパスワードです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初期値は「admin」です。</li> <li>変更するときは「ログインパスワードを変更する」チェックボックスをチェックし、新しいパスワードを入力します。半角文字 1~249 文字で入力します。</li> </ul> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="text-align: center;">注意</td> <td> <ul style="list-style-type: none"> <li>大文字 / 小文字も区別されます。</li> <li>パスワードの入力文字は表示されません。 の伏せ文字が表示されます。</li> <li>パスワードは、第三者に推測されにくく、忘れないような文字列を入力します。</li> </ul> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">+</td> <td> <p>セキュリティ性を向上させるため、パスワードの変更を強く推奨します。</p> </td> </tr> </table>	注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>大文字 / 小文字も区別されます。</li> <li>パスワードの入力文字は表示されません。 の伏せ文字が表示されます。</li> <li>パスワードは、第三者に推測されにくく、忘れないような文字列を入力します。</li> </ul>	+	<p>セキュリティ性を向上させるため、パスワードの変更を強く推奨します。</p>
注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>大文字 / 小文字も区別されます。</li> <li>パスワードの入力文字は表示されません。 の伏せ文字が表示されます。</li> <li>パスワードは、第三者に推測されにくく、忘れないような文字列を入力します。</li> </ul>					
+	<p>セキュリティ性を向上させるため、パスワードの変更を強く推奨します。</p>					
	Telnet サーバ機能	<p>Telnet サーバ機能の有効 / 無効を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>Web 設定以外に、リモートコンソールから Telnet 接続によるコマンドライン設定を行う場合は、[有効]を選択します。</li> <li>Telnet 接続を行わない場合は[無効]を選択します。</li> </ul>				

【ステップ5】 「設定を反映しました」のメッセージと、設定内容を確認します。

注意	<p>「ログインパスワードを変更する」にチェックを付けたときは、ログインのダイアログ画面が表示されます。新しく設定したパスワードを入力して[OK]をクリックしてください。</p>
----	---

トップページ > 装置の設定 > 装置名とログインの設定 (設定完了)

### 装置名とログインの設定

**設定を反映しました**

[装置の設定に戻る](#)  
[トップページに戻る](#)

**!!注意!! 設定が変更されています。**  
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。  
設定完了後は必ず保存を行ってください。

設定内容

	現在の状態・設定
装置名	Router
ログインID	admin
ログインパスワード	(表示しません)
Telnetサーバ機能	無効

[装置名とログインの設定](#)  
[装置の設定に戻る](#)  
[トップページに戻る](#)

ステップ5:確認する

## 4.2. 時刻の設定

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[装置の設定]をクリックします。

【ステップ2】 [装置時刻の設定]をクリックします。

The image shows two screenshots of a web interface. The left screenshot is the 'トップページ' (Top Page) with a table of device status. A red box highlights the '装置の設定' (Device Settings) link, with a yellow callout bubble saying 'ステップ1:クリック' (Step 1: Click). An arrow points to the right screenshot, which is the '装置の設定' (Device Settings) page. A red box highlights the '装置時刻の設定' (Device Clock Settings) link, with a yellow callout bubble saying 'ステップ2:クリック' (Step 2: Click).

装置	バージョン	稼働時間	稼働率	メモリ	内部温度	内部電圧	NTP
Router	8.5.21	4時間 16分	12%	23%	+41.0°C	+3.250V	未設定

装置時刻	現在の状態・設定
装置時刻	2011/05/21 17:30:57 +09 00
NTPサーバ	アドレス -
	状態 未設定
	階層 -
	バージョン -

【ステップ3】 【装置時刻の設定】画面の各項目を設定します。

【ステップ4】 手動で設定する時は、時報等にあわせて[設定する]ボタンをクリックします。

The image shows the '装置時刻の設定' (Device Clock Settings) page. A red box highlights the main configuration area, with a yellow callout bubble saying 'ステップ3:設定する' (Step 3: Set). Another red box highlights the '設定する' (Set) button, with a yellow callout bubble saying 'ステップ4:クリック' (Step 4: Click).

装置時刻		現在の状態・設定	設定の変更
		2011/05/21 17:35:34 +09 00	<input checked="" type="radio"/> 以下の日時に手動で設定する 2011年 5月 21日 17時 35分 34秒 JST
			<input type="radio"/> 以下のNTPサーバに同期させる
NTPサーバ	アドレス	-	-
	状態	未設定	-
	階層	-	-
	バージョン	-	-

番号	項目	内容
	装置時刻	<p>本装置の時刻を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手動で設定するときは、「以下の日時に手動で設定する」のラジオボタンをチェックし、時刻を設定します。</li> <li>・年：2001～2098、月：1～12、日：1～31、時：0～23、分：0～59、秒：0～59</li> <li>・タイムゾーンは、JST(日本標準時)、GMT(グリニッジ標準時)をプルダウンメニューから選択します。</li> </ul> <p><b>+</b> 画面を表示したときには、本装置の現在時刻が表示されています。</p>
	NTP サーバアドレス	<p>本装置の時刻を NTP サーバ(ネットワーク・タイム・プロトコル)の時刻に同期させることができます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NTP サーバに同期させるときは、「以下の NTP サーバに同期させる」のラジオボタンをチェックし、NTP サーバのアドレスを入力します。</li> </ul>
	NTP サーバ状態	NTP サーバとの接続状態を表示します。
	NTP サーバ階層	NTP サーバの階層を表示します。
	NTP サーババージョン	NTP サーバのバージョンを表示します。

【ステップ5】 「設定を反映しました」のメッセージと、設定内容を確認します。

<b>注意</b>	「ログインパスワードを変更する」にチェックを付けたときは、ログインのダイアログ画面が表示されま す。新しく設定したパスワードを入力して[OK]をクリックしてください。
-----------	--

トップページ > 装置の設定 > 装置時刻の設定(設定完了)

### 装置時刻の設定

**設定を反映しました**

- 装置の設定に戻る
- トップページに戻る

**!!注意!! 設定が変更されています。**  
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。  
設定完了後は必ず保存を行ってください。

装置時刻

装置時刻		現在の状態・設定	
	装置時刻	2011/05/21 17:36:35	+09 00
NTPサーバ	アドレス	-	
	状態	未設定	
	階層	-	
	バージョン	-	

- 装置時刻の設定
- 装置の設定に戻る
- トップページに戻る

ステップ5:確認する

## 4.3. LAN 側ネットワーク

### 4.3.1. ネットワークの状態表示

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[ネットワークの設定]をクリックします。

装置

装置	バージョン	稼働時間	稼働率	メモリ	内部温度	内部電圧	NTP
Router	8.5.21	4 時間 32 分	13%	23%	+40.0°C	+3.250V	未設定

ネットワーク

デバイス	接続状態	送信量	受信量
WAN側(GE0)	接続されていません	0%	0%
LAN側(GE1)	Port1: 接続されていません Port2: 接続されていません Port3: 接続されていません Port4: 全二重 1Gbpsで接続	0%	0%

プロバイダ 接続

- ネットワークの設定

ステップ1:クリック

【ステップ2】 ネットワークの状態を確認します。

トップページ > ネットワークの設定 - WAN側ネットワーク LAN側ネットワーク

### ネットワークの設定

ネットワークの状態確認と設定を行うことができます。 [• トップページに戻る](#)

#### WAN 側ネットワーク

現在の状態・設定	
デバイス	GigaEthernet0
接続状態	接続されていません
送信量	0%
受信量	0%

設定できる項目はありません

#### LAN 側ネットワーク

現在の状態・設定	
デバイス	GigaEthernet1
接続状態	Port1: 接続されていません Port2: 接続されていません Port3: 接続されていません Port4: 全二重 1Gbpsで接続
送信量	0%
受信量	0%
IPアドレス	192.168.1.254/24
DHCPサーバ機能	有効
割り当て範囲	192.168.1.1 ~ 192.168.1.253

- LAN側ネットワークの設定

ステップ2:確認する

番号	項目	内容
	WAN 側ネットワーク	<p>WAN 側ネットワークの下記の状態を表示しています。</p> <p>デバイス：WAN と接続している物理ポート(デバイス)の名前を表示しています。</p> <p>接続状態：WAN 側の接続状態(「接続」/「接続されていません」)を表示します。</p> <p>送信量：この物理ポート(デバイス)における送信方向の回線使用率を表示しています。</p> <p>受信量：この物理ポート(デバイス)における受信方向の回線使用率を表示しています。</p>
	LAN 側ネットワーク	<p>LAN 側ネットワークの下記の状態を表示しています。</p> <p>デバイス：LAN と接続している物理ポート(デバイス)の名前を表示しています。</p> <p>接続状態：各ポートの接続状態を表示します。</p> <p>送信量：この物理ポート(デバイス)における送信方向の回線使用率を表示しています。</p> <p>受信量：この物理ポート(デバイス)における受信方向の回線使用率を表示しています。</p> <p>IP アドレス：プライマリおよびセカンダリの IP アドレスを表示しています。</p> <p>DHCP サーバ機能：DHCP(ダイナミック・ホスト・コンフィギュレーション・プロトコル)サーバ機能の「有効」/「無効」を表示しています。</p> <p>割り当て範囲：DHCP サーバ機能により LAN 側の各機器へ割り当てる IP アドレスの範囲を表示しています。</p>

### 4.3.2. LAN 側ネットワークの設定 / 変更

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[ネットワークの設定]をクリックします。

【ステップ2】 [LAN 側ネットワークの設定]をクリックします。

装置

装置	バージョン	稼働時間	稼働率	メモリ	内部温度	内部電圧	NTP
Router	8.5.21	59 分	13%	23%	+39.0°C	+3.250V	未設定

ネットワーク

デバイス	接続状態	送信量	受信量
WAN側(GE0)	接続されていません	0%	0%
LAN側(GE1)	Port1: 接続されていません Port2: 接続されていません Port3: 接続されていません Port4: 全二重 1Gbpsで接続	0%	0%

プロバイダ接続

プロバイダ接続	接続名	状態
PPPoE基本接続	PPPoE	接続されていません
PPPoE追加接続	TEST-PPPoE	接続されていません

ネットワークの設定

WAN側ネットワーク

現在の状態・設定	
デバイス	GigaEthernet0
接続状態	接続されていません
送信量	0%
受信量	0%

LAN側ネットワーク

現在の状態・設定	
デバイス	GigaEthernet1
接続状態	Port1: 接続されていません Port2: 接続されていません Port3: 接続されていません Port4: 全二重 1Gbpsで接続
送信量	0%
受信量	0%
IPアドレス	プライマリ: 192.168.1.254/24 セカンダリ: 192.168.0.254/24
DHCPサーバ機能	有効
割り当て範囲	192.168.1.1 ~ 192.168.1.253

LAN側ネットワークの設定

トップページに戻る

【ステップ3】 【LAN 側ネットワークの設定】画面の各項目を設定します。

【ステップ4】 [設定する]ボタンをクリックします。

設定しないときは、[ネットワークの設定に戻る]をクリックします。

<b>注意</b>	<p>本装置の LAN 側 IP アドレスを変更して[設定する]ボタンをクリックすると、そのときに本装置のデータが変更されます。このため Web 画面の接続が切れ、「接続できませんでした」が表示されます。「2.Web 接続とログイン/ログアウト」の「2.1.本装置のトップページを開く」を参照して再度トップページを開き、ログインしてください。</p>
-----------	---

**LAN側ネットワークの設定**

以下のフォームに新しい設定を入力した後、設定ボタンを押して設定を反映してください。 [ネットワークの設定に戻る](#)

設定内容

	現在の状態・設定	設定の変更
デバイス	GigaEthernet1	-
接続状態	Port1: 接続されていません Port2: 接続されていません Port3: 接続されていません Port4: 全二重 1Gbpsで接続	-
送信量	0%	-
受信量	0%	-
IPアドレス	プライマリ: 192.168.1.254/24 セカンダリ: 192.168.0.254/24	<input type="text" value="192.168.1.254"/> / <input type="text" value="24"/> アドレスを変更した場合、現在の接続は切断されます。 新しいアドレスに接続しなおしてください。 <input checked="" type="checkbox"/> セカンダリIPアドレスを使用する <input type="text" value="192.168.0.254"/> / <input type="text" value="24"/>
DHCPサーバ機能	有効	<input type="text" value="有効"/>
割り当て範囲	192.168.1.1 ~ 192.168.1.253	<input type="text" value="192.168.1.1"/> ~ <input type="text" value="192.168.1.253"/>

[ネットワークの設定に戻る](#)

ステップ3: 設定する

ステップ4: クリック



番号	項目	内容
	IP アドレス	<p>IP アドレスとサブネットマスクを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上段がプライマリアドレス、下段がセカンダリアドレスです。</li> <li>・セカンダリ IP アドレスを設定するときは、「セカンダリ IP アドレスを使用する」チェックボックスをチェックし、セカンダリの IP アドレスとサブネットマスクを設定します。</li> <li>・サブネットマスクは、CIDR(クラスレス・インタードメイン・ルーティング)表記となっています。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>+</b> サブネットマスクは、サブネットワークの範囲を 32 ビット(2 進数)で指定します。マスク 1 ビットで 16 進数 1 桁分のアドレス(0 から F)がマスクされます。32 ビットのうち、先頭 24 ビットがマスクされたとき、アドレス表示は 255. 255. 255. 0 となります。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>+</b> セカンダリ IP アドレスは、1 つの物理ネットワーク(物理層)である LAN 側に、2 つの論理ネットワークを割り当てるときに使用します。</p> </div>
	DHCP サーバ機能	<p>DHCP(ダイナミック・ホスト・コンフィギュレーション・プロトコル)サーバ機能の「有効」/「無効」を設定します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>注意</b> 「DHCP サーバ機能」の[無効]を選択したときは、ネットワーク内のパソコン等の IP アドレスを個別に設定する必要があります。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>+</b> 「DHCP サーバ機能」の[無効]を選択したときは、ネットワーク内のパソコン等の IP アドレスを個別に設定する必要があります。</p> </div>
	割り当て範囲	<p>DHCP サーバ機能を使用するとき、LAN 側インタフェースのネットワーク機器に割り当てる IP アドレスの範囲を指定します。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>注意</b> DHCP の割り当て範囲は、LAN 側 IP アドレスと同一のサブネットワークの範囲内である必要があります。</p> </div>

【ステップ5】 「設定を反映しました」のメッセージと、設定内容が反映されたことを確認します。

トップページ > ネットワークの設定 > LAN側ネットワークの設定 (設定完了)

### LAN側ネットワークの設定

**設定を反映しました**

**!!注意!! 設定が変更されています。**  
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。  
設定完了後は必ず保存を行ってください。

- ネットワークの設定に戻る
- トップページに戻る

設定内容

	現在の状態・設定
デバイス	GigaEthernet1
接続状態	Port1: 接続されていません Port2: 接続されていません Port3: 接続されていません Port4: 全二重 1Gbpsで接続
送信量	0%
受信量	0%
IPアドレス	プライマリ: 192.168.1.254/24 セカンダリ: 192.168.0.254/24
DHCPサーバ機能	有効
割り当て範囲	192.168.1.1 ~ 192.168.1.253

- LAN側ネットワークの設定
- ネットワークの設定に戻る
- トップページに戻る

ステップ5: 確認する

## 4.4. プロバイダ接続 < PPPoE 接続 >

### 4.4.1. PPPoE 基本接続の新規設定

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[プロバイダ接続の設定]をクリックします。

【ステップ2】 [PPPoE 基本接続の設定追加]をクリックします。

The screenshot shows the 'ネットワーク' (Network) management page. On the left, there are sections for 'ネットワーク', 'プロバイダ接続', 'VPN接続', and '詳細設定'. A red box highlights the 'プロバイダ接続の設定' link in the 'プロバイダ接続' section. An arrow points to the right, where the 'プロバイダ接続の設定' page is shown. In this page, a red box highlights the 'PPPoE基本接続の設定追加' link. Two yellow callout boxes with arrows point to these links, labeled 'ステップ1:クリック' and 'ステップ2:クリック'.

【ステップ3】 【PPPoE 基本接続の設定】画面の各項目を設定します。

【ステップ4】 [設定する]ボタンをクリックします。

設定しないときは、[プロバイダ接続の設定に戻る]をクリックします。

The screenshot shows the 'PPPoE基本接続の設定' (PPPoE Basic Connection Settings) page. The page title is 'PPPoE基本接続の設定 (設定中)'. Below the title, there is a note: '以下のフォームに新しい設定を入力した後、設定ボタンを押して設定を反映してください。' and a link to 'プロバイダ接続の設定に戻る'. The '設定内容' (Setting Content) section contains a table with the following items:

	現在の状態・設定	設定の変更
接続名		<input type="text"/>
接続状態		-
ユーザID		<input type="text"/>
パスワード		<input type="password"/>
IPアドレス		<input type="radio"/> 自動取得 <input type="radio"/> 手動設定 <input type="text"/> / <input type="text"/>
DNSアドレス		<input type="radio"/> 自動取得 <input type="radio"/> 手動設定 <input type="text"/>

A red box highlights the entire '設定内容' table. A yellow callout box with an arrow points to the table, labeled 'ステップ3:確認する'. At the bottom right of the table, there is a '設定する' (Set) button, which is also highlighted with a red box. A yellow callout box with an arrow points to this button, labeled 'ステップ4:クリック'. At the bottom of the page, there is a link to 'プロバイダ接続の設定に戻る'.

番号	項目	内容
	接続名	<p>接続先が分かるようなプロバイダの接続名称を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・任意の接続名を付けることができます。</li> <li>・半角文字で 1～79 文字まで入力できます。</li> </ul>
	ユーザ ID	<p>プロバイダから与えられた PPPoE のユーザ ID を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半角文字で 1～59 文字まで入力できます。</li> </ul>
	パスワード	<p>プロバイダから与えられた PPPoE 接続に使用するパスワードを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・半角文字で 1～79 文字まで入力できます。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p><b>注意</b> 大文字、小文字も区別されます。</p> </div>
	IP アドレス	<p>PPPoE 接続の WAN 側の IP アドレスを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロバイダから WAN 側の IP アドレスが与えられていないときは「自動取得」を、固定 IP アドレスが与えられているときは「手動設定」のラジオボタンをチェックします。</li> <li>・「手動設定」のラジオボタンをチェックしたときは、プロバイダから与えられた IP アドレスを入力し、サブネットマスクをプルダウンメニューから選択します。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p><b>注意</b> 他のインターフェースで使用されている IP アドレスを使用することはできません。</p> </div>
	DNS アドレス	<p>PPPoE 接続の WAN 側の DNS サーバのアドレスを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロバイダから WAN 側の DNS サーバのアドレスが与えられていないときは「自動取得」を、与えられているとき、または独自に指定するときは「手動設定」のラジオボタンをチェックします。</li> <li>・「手動設定」のラジオボタンをチェックしたときは、プロバイダから与えられたプライマリ DNS サーバの IP アドレスを上段に、セカンダリ DNS サーバの IP アドレスを下段に入力します。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-top: 5px;"> <p><b>注意</b> 他のインターフェースで使用されている IP アドレスを使用することはできません。</p> </div>

【ステップ5】 [設定を反映しました]のメッセージと、設定内容が反映されたことを確認します。

【ステップ6】 [プロバイダ接続の設定に戻る]をクリックします。

トップページ > プロバイダ接続の設定 > PPPoE基本接続の設定(設定完了)

### PPPoE基本接続の設定

**設定を反映しました**

- プロバイダ接続の設定に戻る
- トップページに戻る

**!!注意!! 設定が変更されています。**  
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。  
設定完了後は必ず保存を行ってください。

設定内容

	現在の状態・設定
接続名	PPPoE
接続状態	接続
ユーザID	test01@test.com
パスワード	(表示しません)
IPアドレス	自動取得 203.0.113.10/32
DNSアドレス	自動取得 203.0.113.100 203.0.113.101

- PPPoE基本接続の設定編集
- PPPoE基本接続の設定削除
- プロバイダ接続の設定に戻る**
- トップページに戻る

ステップ5:確認する

ステップ6:クリック

【ステップ7】 PPPoE 基本接続が「接続」になっていることを確認します。

トップページ > プロバイダ接続の設定 - プロバイダ接続 PPPoE基本接続

### プロバイダ接続の設定

プロバイダ接続の状態確認と設定を行うことができます。

- トップページに戻る

プロバイダ 接続

	接続名	状態
PPPoE基本接続	PPPoE	接続
PPPoE追加接続	設定されていません。 基本接続と異なる接続先は PPPoE追加接続の設定追加で設定してください。	
IP接続	利用できません。 IP接続を利用するには PPPoE接続の設定を全て削除してください。	

- PPPoE追加接続の設定追加

プロバイダ 接続詳細

#### PPPoE 基本接続

	現在の状態・設定
接続名	PPPoE
接続状態	接続
ユーザID	test01@test.com
パスワード	(表示しません)
IPアドレス	自動取得 203.0.113.10/32
DNSアドレス	自動取得 203.0.113.100 203.0.113.101

- PPPoE基本接続の設定編集
- PPPoE基本接続の設定削除
- トップページに戻る

ステップ7:確認する

#### 4.4.2. PPPoE 追加接続(第 2 セッション接続)の追加設定

【ステップ 1】 ログインし、【トップページ】画面の[プロバイダ接続の設定]をクリックします。

【ステップ 2】 [PPPoE 追加接続の設定追加]をクリックします。

ネットワーク

デバイス	接続状態	送信量	受信量
WAN側(GE0)	接続されていません	0%	0%
LAN側(GE1)	Port1: 接続されていません Port2: 接続されていません Port3: 接続されていません Port4: 全二重 1Gbpsで接続	0%	0%

プロバイダ接続

プロバイダ接続	接続名	状態
PPPoE基本接続	PPPoE	接続されていません
PPPoE追加接続		接続されていません

VPN接続

接続番号	接続名	接続種別	状態
#1	IP_IP	IPトンネル	接続されていません

詳細設定

現在トップページにいます

ステップ 1: クリック

ステップ 2: クリック

トップページ > プロバイダ接続の設定 - プロバイダ接続 PPPoE基本接続

プロバイダ接続の設定

プロバイダ接続の状態確認と設定を行うことができます。

プロバイダ接続

接続名	状態
PPPoE基本接続	PPPoE 接続されていません
PPPoE追加接続	設定されていません 基本接続と異なる接続先はPPPoE追加接続の設定追加で設定してください。
IP接続	利用できません IP接続を利用するにはPPPoE接続の設定を全て削除してください。

プロバイダ接続詳細

PPPoE基本接続

接続名	現在の状態・設定
接続名	PPPoE
接続状態	接続されていません
ユーザID	test01@test.com (表示しません)
パスワード	手動設定
IPアドレス	203.0.113.10/32
DNSアドレス	手動設定 203.0.113.100 203.0.113.101

PPPoE基本接続の設定編集  
PPPoE基本接続の設定削除  
トップページに戻る

【ステップ 3】 【PPPoE 追加接続の設定】画面の各項目を設定します。

【ステップ 4】 [設定する]ボタンをクリックします。

設定しないときは、[プロバイダ接続の設定に戻る]をクリックします。

PPPoE追加接続の設定

以下のフォームに新しい設定を入力した後、設定ボタンを押して設定を反映してください。

設定内容

項目	現在の状態・設定	設定の変更
接続名		<input type="text"/>
接続状態	-	
ユーザID		<input type="text"/>
パスワード		<input type="password"/>
IPアドレス		<input type="radio"/> 自動取得 <input type="radio"/> 手動設定 <input type="text"/> / <input type="text"/>
DNSアドレス		<input type="radio"/> 自動取得 <input type="radio"/> 手動設定 <input type="text"/>
ルーティング		この接続先のネットワークアドレスを入力してください。 <input type="text"/> / <input type="text"/>

設定する

ステップ 3: 設定する

ステップ 4: クリック

番号	項目	内容
	接続名 ユーザ ID パスワード IP アドレス DNS アドレス	PPPoE 基本徹底と同様に設定します。 ・各設定項目の設定方法は、「4.個別設定」の「4.4.1.PPPoE 基本接続の新規設定」を参照してください。
	ルーティング	PPPoE 追加接続の接続先ネットワークアドレスを設定します。 ・ネットワークアドレス(プレフィックス)を入力し、サブネットマスクをプルダウンメニューから選択します。

【ステップ5】 「設定を反映しました」のメッセージと、設定内容が反映されたことを確認します。

【ステップ6】 [プロバイダ接続の設定に戻る]をクリックします。

トップページ > プロバイダ接続の設定 > PPPoE追加接続の設定 (設定完了)

### PPPoE追加接続の設定

**設定を反映しました**

- プロバイダ接続の設定に戻る
- トップページに戻る

**!!注意!! 設定が変更されています。**  
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。  
設定完了後は必ず保存を行ってください。

設定内容

	現在の状態・設定
接続名	TEST-PPPoE
接続状態	認証中
ユーザID	test02@test.com
パスワード	(表示しません)
IPアドレス	手動設定 30.30.30.1/30
DNSアドレス	自動取得 -
ルーティング	192.168.1.0/24

- PPPoE追加接続の設定編集
- PPPoE追加接続の設定削除
- プロバイダ接続の設定に戻る**
- トップページに戻る

ステップ5:設定する

ステップ6:クリック

【ステップ7】 「PPPoE 追加接続」が追加表示され、接続状態が「接続」になっていることを確認します。

現在の接続

接続名	接続状態	接続
PPPoE追加接続	TEST-PPPoE	接続
IP接続	利用できません IP接続を利用するにはPPPoE接続の設定を全て削除してください。	

これ以上追加できません

プロバイダ 接続詳細

**PPPoE 基本接続**

現在の状態・設定	
接続名	PPPoE
接続状態	接続
ユーザID	test01@test.com
パスワード	(表示しません)
IPアドレス	手動設定 10.10.10.1/32
DNSアドレス	自動取得 203.0.113.100 203.0.113.101

- PPPoE基本接続の設定編集  
PPPoE基本接続の設定削除  
基本接続を削除する場合には追加接続を先に削除してください

**PPPoE 追加接続**

現在の状態・設定	
接続名	TEST-PPPoE
接続状態	接続
ユーザID	test02@test.com
パスワード	(表示しません)
IPアドレス	手動設定 30.30.30.1/30
DNSアドレス	自動取得 203.0.113.100 203.0.113.101
ルーティング	192.168.1.0/24

- PPPoE追加接続の設定編集
- PPPoE追加接続の設定削除

ステップ7:設定する

### 4.4.3. PPPoE 基本接続の新規設定/追加接続の設定編集

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[プロバイダ接続の設定]をクリックします。

【ステップ2】 [PPPoE 基本接続の設定編集]または[PPPoE 追加接続の設定編集]をクリックします。

ネットワーク

デバイス	接続状態	送信量	受信量
WAN側(GE0)	接続されていません	0%	0%
LAN側(GE1)	Port1: 接続されていません Port2: 接続されていません Port3: 接続されていません Port4: 全二重 1Gbpsで接続	0%	0%

プロバイダ接続

プロバイダ接続	接続名	状態
PPPoE基本接続	PPPoE	接続
PPPoE追加接続	TEST-PPPoE	接続

VPN接続

詳細設定

プロバイダ接続詳細

PPPoE基本接続

接続名	現在の状態-設定
接続名	PPPoE
接続状態	接続
ユーザID	user01@cvnx1234flebo
パスワード	(表示しません)
IPアドレス	自動取得 192.168.111.1/32
DNSアドレス	-

PPPoE追加接続

接続名	現在の状態-設定
接続名	TEST-PPPoE
接続状態	接続
ユーザID	user02@cvnx1234flebo
パスワード	(表示しません)
IPアドレス	手動設定 192.168.111.10/30
DNSアドレス	手動設定 203.0.113.100 203.0.113.101
ルーティング	手動設定 192.168.1.0/24

ステップ1: クリック

ステップ2: クリック

【ステップ3】 【PPPoE 基本接続の設定】画面または【PPPoE 追加接続の設定】画面の各項目を設定します。

【ステップ4】 [設定する]ボタンをクリックします。

設定しないときは、[プロバイダ接続の設定に戻る]をクリックします。

以下のフォームに新しい設定を入力した後、設定ボタンを押して設定を反映してください。

設定内容

現在の状態-設定	設定の変更
接続名	TEST-PPPoE
接続状態	接続
ユーザID	user02@cvnx1234flebo
パスワード	(表示しません)
IPアドレス	手動設定 192.168.111.10/30
DNSアドレス	手動設定 203.0.113.100 203.0.113.101
ルーティング	192.168.1.0/24

この接続先のネットワークアドレスを入力してください。

192.168.1.0 / 24

設定する

ステップ3: 設定する

ステップ4: クリック



**注意**

表示例は「PPPoE 追加接続の設定編集」を選択したときの画面です。【PPPoE 基本接続の設定】画面には、「ルーティング」項目は表示されません。

番号	項目	内容
	現在の状態・設定	現在設定されている設定内容と状態が表示されています。
	設定の変更	設定内容を変更することができます。 ・各設定項目の設定方法は、「4. 個別設定」の「4.4.1.PPPoE 基本接続の新規設定」または「4.4.2.PPPoE 追加接続(第2セッション接続)の追加設定」を参照してください。

【ステップ5】 「設定を反映しました」のメッセージと、設定内容が反映されたことを確認します。

トップページ > プロバイダ接続の設定 > PPPoE追加接続の設定(設定完了)

### PPPoE追加接続の設定

**設定を反映しました**

!!注意!! 設定が変更されています。  
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。  
設定完了後は必ず保存を行ってください。

設定内容

現在の状態・設定	
接続名	TEST-PPPoE
接続状態	接続
ユーザID	user02@cvnx1234flebo
パスワード	(表示しません)
IPアドレス	手動設定 192.168.111.10/30
DNSアドレス	手動設定 203.0.113.100 203.0.113.101
ルーティング	192.168.1.0/24

- プロバイダ接続の設定に戻る
- トップページに戻る
- PPPoE追加接続の設定編集
- PPPoE追加接続の設定削除
- プロバイダ接続の設定に戻る
- トップページに戻る

ステップ5: 確認する

#### 4.4.4. PPPoE 基本接続 / 追加接続の設定削除

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[プロバイダ接続の設定]をクリックします。

【ステップ2】 [PPPoE 追加接続の設定削除] ]または[PPPoE 追加接続の設定削除]をクリックします。

ネットワーク

デバイス	接続状態	送信量	受信量
WAN側(GE0)	全二重 1Gbpsで接続	0%	0%
LAN側(GE1)	Port1: 接続されていません Port2: 接続されていません Port3: 接続されていません Port4: 全二重 1Gbpsで接続	0%	0%

ネットワークの設定

プロバイダ接続

プロバイダ接続	接続名	状態
PPPoE基本接続	PPPoE	接続
PPPoE追加接続	TEST-PPPoE	接続

プロバイダ接続の設定

VPN接続

VPN接続の設定

詳細設定

詳細設定

現在トップページにいます

ステップ1: クリック

#### 追加接続の設定削除

PPPoE基本接続

現在の状態・設定	
接続名	PPPoE
接続状態	接続
ユーザID	user01@cvmx1234flebo
パスワード	(表示しません)
IPアドレス	自動取得 192.168.111.1/32
DNSアドレス	-

PPPoE基本接続の設定編集

PPPoE基本接続の設定削除

基本接続を削除する場合には追加接続を先に削除してください。

PPPoE追加接続

現在の状態・設定	
接続名	TEST-PPPoE
接続状態	接続
ユーザID	user02@cvmx1234flebo
パスワード	(表示しません)
IPアドレス	手動設定 192.168.111.10/30
DNSアドレス	203.0.113.100 203.0.113.101
ルーティング	192.168.1.0/24

PPPoE追加接続の設定編集

PPPoE追加接続の設定削除

トップページに戻る

#### 基本接続の設定削除

プロバイダ接続の確認と設定を行うことができます。

!!注意!! 設定が変更されています。  
再接続の場合、保留している設定は元の状態に戻ります。  
設定完了後は必ず保存を行ってください。

プロバイダ接続

プロバイダ接続	接続名	状態
PPPoE基本接続	PPPoE	接続
PPPoE追加接続	設定されていません 基本接続と異なる接続名は PPPoE追加接続の設定追加で設定してください。	
IP接続	利用できません IP接続を利用するには PPPoE接続の設定を全て削除してください。	

PPPoE追加接続の設定追加

プロバイダ接続詳細

PPPoE基本接続

現在の状態・設定	
接続名	PPPoE
接続状態	接続
ユーザID	user01@cvmx1234flebo
パスワード	(表示しません)
IPアドレス	自動取得 192.168.111.1/32
DNSアドレス	-

PPPoE基本接続の設定削除

トップページに戻る

ステップ2: クリック

【ステップ3】 [削除する]ボタンをクリックします。

設定を削除しないときは、[プロバイダ接続の設定に戻る]をクリックします。

トップページ > プロバイダ接続の設定 > PPPoE基本接続の削除 (削除確認)

### PPPoE基本接続の削除

**PPPoE基本接続を削除します。** [プロバイダ接続の設定に戻る](#)

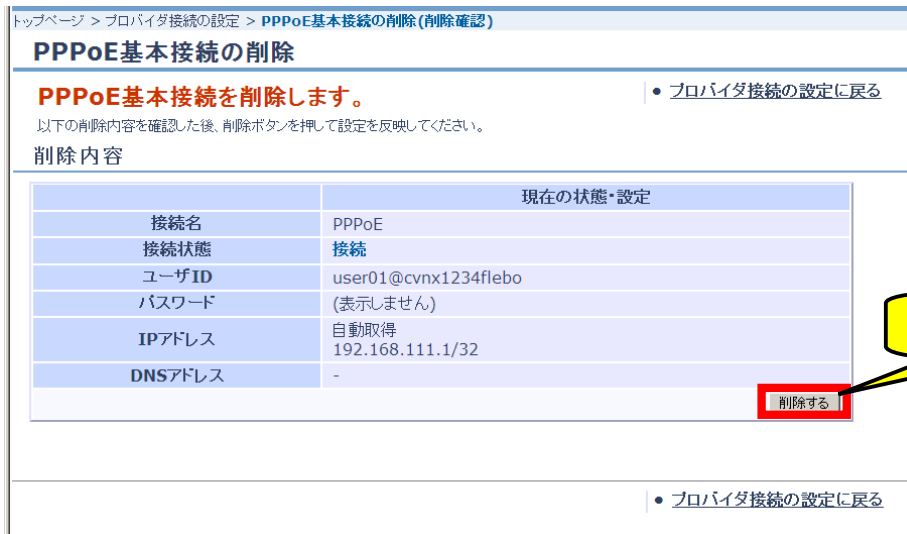
以下の削除内容を確認した後、削除ボタンを押して設定を反映してください。

削除内容

	現在の状態・設定
接続名	PPPoE
接続状態	接続
ユーザID	user01@cvnx1234flebo
パスワード	(表示しません)
IPアドレス	自動取得 192.168.111.1/32
DNSアドレス	-

[削除する](#)

[プロバイダ接続の設定に戻る](#)



ステップ3: クリック

【ステップ4】 「PPPoE 基本接続を削除しました。」または「PPPoE 追加接続を削除しました。」のメッセージを確認します。

トップページ > プロバイダ接続の設定 > PPPoE基本接続の削除 (削除完了)

### PPPoE基本接続の削除

**PPPoE基本接続を削除しました。** [プロバイダ接続の設定に戻る](#)  
[トップページに戻る](#)

**!!注意!! 設定が変更されています。**  
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。  
設定完了後は必ず保存を行ってください。



ステップ4: 確認する

## 4.5. プロバイダ接続 < IP 接続 >

### 4.5.1. IP 接続の設定

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[プロバイダ接続の設定]をクリックします。

【ステップ2】 [IP 接続の設定追加]をクリックします。

The screenshot shows the 'ネットワーク' (Network) settings page. On the left, there are sections for 'ネットワーク', 'プロバイダ接続', 'VPN接続', and '詳細設定'. In the 'プロバイダ接続' section, the 'プロバイダ接続の設定' link is highlighted with a red box. A yellow callout bubble labeled 'ステップ1: クリック' points to this link. An arrow points to the right, where the 'プロバイダ接続の設定' page is shown. In this page, the 'IP接続' link is highlighted with a red box, and a yellow callout bubble labeled 'ステップ2: クリック' points to it.

【ステップ3】 【IP 接続の設定】画面の各項目を設定します。

【ステップ4】 [設定する]ボタンをクリックします。

設定しないときは、[プロバイダ接続の設定に戻る]をクリックします。

The screenshot shows the 'IP接続の設定' (IP Connection Settings) page. The page title is 'IP接続の設定' and it indicates '設定中' (Setting in progress). Below the title, there is a table for '設定内容' (Setting Content) with columns for '現在の状態・設定' (Current Status/Setting) and '設定の変更' (Setting Change). The table has the following rows:

	現在の状態・設定	設定の変更
接続名		<input type="text"/>
接続状態	-	
DHCPクライアント機能		<input type="checkbox"/> 使用する
IPアドレス		<input type="text"/> / <input type="text"/>
デフォルトルート		<input type="text"/>
DNSアドレス		<input type="text"/>

A red box highlights the entire table area. A yellow callout bubble labeled 'ステップ3: 設定する' points to the table. At the bottom right of the table, there is a '設定する' (Set) button, which is also highlighted with a red box. A yellow callout bubble labeled 'ステップ4: クリック' points to this button. At the bottom of the page, there is a link 'プロバイダ接続の設定に戻る' (Return to Provider Connection Settings).

番号	項目	内容				
	接続名	<p>接続先が分かるようなプロバイダの接続名称を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・任意の接続名を付けることができます。</li> <li>・半角文字で 1～79 文字まで入力できます。</li> </ul>				
	DHCP クライアント機能	<p>DHCP クライアント機能の有効 / 無効を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プルダウンメニューから [有効] または [無効] を選択します。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="579 443 1442 506"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">注意</td> <td>[無効] を選択したときは、IP アドレス、デフォルトルート、DNS アドレスを設定する必要があります。</td> </tr> </table> <table border="1" data-bbox="579 539 1442 633"> <tr> <td style="background-color: #cccccc;">注意</td> <td>[有効] を選択したときは、IP アドレス、デフォルトルート、DNS アドレスに入力しても、[設定する] ボタンがクリックされたときに削除されます。</td> </tr> </table>	注意	[無効] を選択したときは、IP アドレス、デフォルトルート、DNS アドレスを設定する必要があります。	注意	[有効] を選択したときは、IP アドレス、デフォルトルート、DNS アドレスに入力しても、[設定する] ボタンがクリックされたときに削除されます。
注意	[無効] を選択したときは、IP アドレス、デフォルトルート、DNS アドレスを設定する必要があります。					
注意	[有効] を選択したときは、IP アドレス、デフォルトルート、DNS アドレスに入力しても、[設定する] ボタンがクリックされたときに削除されます。					
	IP アドレス	<p>DHCP クライアント機能の [無効] を選択したときは、WAN 側 (GEO) の IP アドレスを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IP アドレスを入力しサブネットマスクをプルダウンメニューから選択します。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="579 786 1442 848"> <tr> <td style="background-color: #00ffff;">+</td> <td>[無効] を選択したときは、IP アドレス、デフォルトルート、DNS アドレスを設定する必要があります。</td> </tr> </table>	+	[無効] を選択したときは、IP アドレス、デフォルトルート、DNS アドレスを設定する必要があります。		
+	[無効] を選択したときは、IP アドレス、デフォルトルート、DNS アドレスを設定する必要があります。					
	デフォルトルート	<p>DHCP クライアント機能の [無効] を選択したときは、デフォルトルートの IP アドレスを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IP アドレスを入力します。</li> </ul> <table border="1" data-bbox="579 994 1442 1057"> <tr> <td style="background-color: #00ffff;">+</td> <td>デフォルトルートとは、受信したパケットの宛先アドレスに一致する経路がルーティングテーブルに存在しないときに用いる経路です。</td> </tr> </table>	+	デフォルトルートとは、受信したパケットの宛先アドレスに一致する経路がルーティングテーブルに存在しないときに用いる経路です。		
+	デフォルトルートとは、受信したパケットの宛先アドレスに一致する経路がルーティングテーブルに存在しないときに用いる経路です。					
	DNS アドレス	<p>DHCP クライアント機能の [無効] を選択したときは、DNS アドレスを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・DNS サーバの IP アドレスを入力します。</li> </ul>				

【ステップ5】 [設定を反映しました]のメッセージと、設定内容が反映されたことを確認します。

【ステップ6】 [プロバイダ接続の設定に戻る]をクリックします。

トップページ > プロバイダ接続の設定 > IP接続の設定 (設定完了)

### IP接続の設定

**設定を反映しました**

!!注意!! 設定が変更されています。  
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。  
設定完了後は必ず保存を行ってください。

設定内容

	現在の状態・設定
接続名	IP
接続状態	接続されていません
DHCPクライアント機能	使用する
IPアドレス	自動取得
デフォルトルート	自動取得
DNSアドレス	自動取得

• プロバイダ接続の設定に戻る  
• トップページに戻る

• IP接続の設定編集  
• IP接続の設定削除  
• **プロバイダ接続の設定に戻る**  
• トップページに戻る

ステップ5: 確認する

ステップ6: クリック

【ステップ7】 IP接続の接続状態が「接続」になっていることを確認します。

プロバイダ接続の状態確認と設定を行うことができます。

!!注意!! 設定が変更されています。  
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。  
設定完了後は必ず保存を行ってください。

プロバイダ接続

	接続名	状態
PPPoE基本接続	利用できません	
PPPoE追加接続	PPPoE接続を利用するにはIP接続の設定を削除してください。	
<b>IP接続</b>	<b>IP</b>	<b>接続</b>

これ以上追加できません

プロバイダ接続詳細

### IP接続

	現在の状態・設定
接続名	IP
接続状態	接続
DHCPクライアント機能	使用する
IPアドレス	自動取得 10.10.10.29/24
デフォルトルート	自動取得 10.10.10.1
DNSアドレス	自動取得 10.10.10.1

• IP接続の設定編集  
• IP接続の設定削除  
• トップページに戻る

ステップ7: 確認する

## 4.5.2. IP 接続の設定編集

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[プロバイダ接続の設定]をクリックします。

【ステップ2】 [IP 接続の設定編集]をクリックします。

The screenshot shows the 'ネットワーク' (Network) settings page. A yellow callout points to the 'プロバイダ接続の設定' (Provider Connection Settings) link in the 'プロバイダ接続' (Provider Connection) section, labeled 'ステップ1: クリック' (Step 1: Click). An arrow points to the next page, 'プロバイダ接続' (Provider Connection), where a yellow callout points to the 'IP接続の設定編集' (Edit IP Connection Settings) link in the 'IP接続' (IP Connection) section, labeled 'ステップ2: クリック' (Step 2: Click).

【ステップ3】 【IP 接続の設定】画面の各項目を設定します。

【ステップ4】 [設定する]ボタンをクリックします。

設定を変更しないときは、[プロバイダ接続の設定に戻る]をクリックします。

The screenshot shows the 'IP接続の設定' (IP Connection Settings) page. A red box highlights the '現在の状態・設定' (Current Status/Settings) and '設定の変更' (Change Settings) columns. A yellow callout points to the '設定する' (Set) button, labeled 'ステップ3: 設定する' (Step 3: Set). Another yellow callout points to the '設定する' button, labeled 'ステップ4: クリック' (Step 4: Click). A link to 'プロバイダ接続の設定に戻る' (Return to Provider Connection Settings) is also visible.

番号	項目	内容
	現在の状態・設定	現在設定されている設定内容と状態が表示されています。
	設定の変更	設定内容を変更することができます。 ・各設定項目の設定方法は、「4.個別設定」の「4.5.1.IP 接続の設定」を参照してください。

【ステップ5】 「設定を反映しました」のメッセージと、設定内容が反映されたことを確認します。

トップページ > プロバイダ接続の設定 > IP接続の設定 (設定完了)

### IP接続の設定

**設定を反映しました**

**!!注意!! 設定が変更されています。**  
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。  
設定完了後は必ず保存を行ってください。

設定内容

	現在の状態・設定
接続名	IPconnect
接続状態	接続
DHCPクライアント機能	使用する
IPアドレス	自動取得 10.10.10.29/24
デフォルトルート	自動取得 10.10.10.1
DNSアドレス	自動取得 10.10.10.1

- プロバイダ接続の設定に戻る
- トップページに戻る

- IP接続の設定編集
- IP接続の設定削除
- プロバイダ接続の設定に戻る
- トップページに戻る

ステップ5：確認する



### 4.5.3. IP 接続の設定削除

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[プロバイダ接続の設定]をクリックします。

【ステップ2】 [IP 接続の設定削除]をクリックします。

The screenshot shows the 'ネットワーク' (Network) settings page. On the left, there are sections for 'ネットワーク', 'プロバイダ接続', and 'VPN接続'. In the 'プロバイダ接続' section, a table lists 'IP接続' with a status of '接続'. A red box highlights the 'プロバイダ接続の設定' link. A yellow callout bubble points to this link with the text 'ステップ1: クリック'. An arrow points to the right, where a detailed view of the 'IP接続' settings is shown. In this view, a red box highlights the 'IP接続の設定削除' link. A yellow callout bubble points to this link with the text 'ステップ2: クリック'.

【ステップ3】 [削除する]ボタンをクリックします。

設定を削除しないときは、[プロバイダ接続の設定に戻る]をクリックします。

The screenshot shows a confirmation dialog titled 'IP接続の削除'. It contains the text: 'IP接続を削除します。以下の削除内容を確認した後、削除ボタンを押して設定を反映してください。' Below this is a table with the following data:

接続名	現在の状態・設定
接続名	IPconnect
接続状態	接続
DHCPクライアント機能	使用する
IPアドレス	自動取得 10.10.10.29/24
デフォルトルート	自動取得 10.10.10.1
DNSアドレス	自動取得 10.10.10.1

At the bottom right of the table, a red box highlights the '削除する' button. A yellow callout bubble points to this button with the text 'ステップ3: クリック'. There are also links for 'プロバイダ接続の設定に戻る'.

【ステップ4】 「IP 接続を削除しました。」のメッセージを確認します。

The screenshot shows a completion message titled 'IP接続の削除'. It contains the text: 'IP接続を削除しました。!!注意!! 設定が変更されています。再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。設定完了後は必ず保存を行ってください。' A red box highlights the 'IP接続を削除しました。' message. A yellow callout bubble points to this message with the text 'ステップ4: 確認する'. There are also links for 'プロバイダ接続の設定に戻る' and 'トップページに戻る'.

## 4.6. VPN 接続 < IPSec >

### 4.6.1. IPSec による VPN 接続の設定

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[VPN 接続の設定]をクリックします。

【ステップ2】 [IPSec 接続の設定追加]をクリックします。

The screenshot shows the 'VPN 接続の設定' (VPN Connection Settings) page. On the left, a sidebar menu has 'VPN 接続の設定' (VPN Connection Settings) highlighted with a red box and a yellow callout bubble labeled 'ステップ1: クリック' (Step 1: Click). The main content area shows a 'VPN 接続' (VPN Connection) section with a red box around the 'IPSec 接続の設定追加' (Add IPSec Connection Setting) button and a yellow callout bubble labeled 'ステップ2: クリック' (Step 2: Click).

**注意** 表示例はプロバイダ接続を PPPoE で接続した画面です。

【ステップ3】 【VPN 接続 #1 の設定】画面の各項目を設定します。

【ステップ4】 [設定する]ボタンをクリックします。

設定しないときは、[VPN 接続の設定に戻る]をクリックします。

The screenshot shows the 'VPN 接続 #1 の設定' (VPN Connection #1 Settings) page. The entire settings form is enclosed in a red border. A yellow callout bubble labeled 'ステップ3: 設定する' (Step 3: Set) points to the '設定する' (Set) button at the bottom right of the form. Another yellow callout bubble labeled 'ステップ3: クリック' (Step 3: Click) points to the '設定する' button. The settings form includes fields for connection name, type (IPSec), status, WAN/LAN side IP addresses, routing, IKE settings, and IPSec algorithms.

番号	項目	内容
	接続名	<p>接続先が分かるような IPsec による VPN 接続の接続名称を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>任意の接続名を付けることができます。</li> <li>半角文字で 1～79 文字まで入力できます。</li> </ul>
	接続元 WAN 側 IP アドレス	<p>本装置の「WAN 側 IP アドレス」の割り当て方式を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット接続の設定で、PPPoE の IP アドレスを「自動取得」に設定したとき、または IP 接続の DHCP クライアント機能を「使用する」に設定したときは、[動的 IP アドレス]を選択します。</li> <li>上記以外で、WAN 側 IP アドレスを指定し、常に固定されているときは、[固定 IP アドレス]を選択します。</li> </ul>
	接続元 LAN 側ネットワーク	<p>「LAN 側ネットワークの設定」で設定した IP アドレスが、本装置の LAN 側 IP アドレスとして自動的に設定されます。</p>
	接続先 WAN 側 IP アドレス	<p>接続先(IPsec 相手装置)の WAN 側 IP アドレスの割り当て方式を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>接続先(IPsec 相手装置)の IP アドレスが IPCP や DHCP などによる自動取得に設定されているときは[動的 IP アドレス]を選択します。</li> <li>常に固定した IP アドレスを使用しているときは[固定 IP アドレス]を選択し、その IP アドレスを入力します。</li> </ul>
	接続先 LAN 側ネットワーク	<p>接続先(IPsec 相手装置)の LAN 側ネットワークのネットワークアドレス、サブネットマスクを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ネットワークアドレス(プレフィックス)を入力し、サブネットマスクをプルダウンメニューから選択します。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>プレフィックスとは、サブネットマスクで指定されるプレフィックス長のネットワークアドレスです。接続ポートの IP アドレスではありません。たとえばサブネットマスクが 24(255. 255. 255. 0)のときのプレフィックスは、「xxx. xxx. xxx. 0」の「x」の部分で、最後のアドレス表記は「0」となります。</p> </div>
	ルーティング	<p>ルーティングを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>接続先(IPsec 相手装置)の LAN 側のネットワークが 1 つだけでなく複数あるときは、そのネットワークアドレス(プレフィックス)を入力し、サブネットマスクを設定します。</li> </ul>
	IKE 事前共有鍵	<p>IKE で使用される事前共有鍵の文字列を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>半角文字で 1～128 文字を入力します。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p><b>注意</b> 接続先(IPsec 相手装置)と同じ設定の ID の文字列を入力します。</p> </div>
	IKE アルゴリズム	<p>IKE で使用される暗号と認証のアルゴリズムを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>暗号アルゴリズムは、DES、3DES、AES(128 bit)、AES(192 bit)、AES(256 bit)から選択します。</li> <li>認証アルゴリズムは、MD5、SHA1 から選択します。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p><b>注意</b> 接続先(IPsec 相手装置)と同じ設定の ID の文字列を入力します。</p> </div>
	IKE ID	<p>IKE モードがアグレッシブモードのときは ID を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>IKE モードがアグレッシブモードのとき、接続を識別するための ID 入力が必要です。</li> <li>半角文字で 1～255 文字を入力します。 (ドット)間の文字数は 63 文字まで。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p><b>注意</b> 接続先(IPsec 相手装置)と同じ設定の ID の文字列を入力します。</p> </div>
	IPsec アルゴリズム	<p>IPsec のアルゴリズムを選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>暗号アルゴリズムは、DES、3DES、AES(128 bit)、AES(192 bit)、AES(256 bit)から選択します。</li> <li>認証アルゴリズムは、MD5、SHA1 から選択します。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> <p><b>注意</b> 接続先(IPsec 相手装置)と同じ設定の IPsec アルゴリズムを選択します。</p> </div>

【ステップ5】 「設定を反映しました」のメッセージと、設定内容が反映されたことを確認します。

【ステップ6】 [VPN 接続の設定に戻る]をクリックします。

VPN接続#1の設定 (設定完了)

**設定を反映しました**

!!注意!! 設定が変更されています。  
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。  
設定完了後は必ず保存を行ってください。

設定内容

		現在の状態・設定
接続名		PPPoE_IPSec
接続種別		IPSec
接続状態		接続されていません
接続元 (自装置)	WAN側 IPアドレス	固定IPアドレス 10.10.10.10
	LAN側 ネットワーク	192.168.1.0/24
接続先 (相手装置)	WAN側 IPアドレス	固定IPアドレス 10.10.10.20
	LAN側 ネットワーク	192.168.2.0/24
ルーティング		-
IKE	事前共有鍵	(表示しません)
	アルゴリズム	AES(128 bits) / SHA1
	モード	メインモード
	ID	-
IPSec	アルゴリズム	AES(128 bits) / SHA1

• VPN接続#1の設定編集  
• VPN接続#1の設定削除  
• **VPN接続の設定に戻る**  
• トップページに戻る

【ステップ7】 IPSec 接続の接続状態が「接続」になっていることを確認します。

VPN接続の設定

VPNの状態確認と設定を行うことができます。

!!注意!! 設定が変更されています。  
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。  
設定完了後は必ず保存を行ってください。

VPN接続

接続番号	接続名	接続種別	状態
#1	PPPoE_IPSec	IPSec	接続

• IPSec接続の設定追加  
• IPトンネル接続の設定追加

VPN接続詳細

VPN接続#1 - PPPoE\_IPSec(IPSec接続)

		現在の状態・設定
接続名		PPPoE_IPSec
接続種別		IPSec
接続状態		接続
接続元 (自装置)	WAN側 IPアドレス	固定IPアドレス 10.10.10.10
	LAN側 ネットワーク	192.168.1.0/24
接続先 (相手装置)	WAN側 IPアドレス	固定IPアドレス 10.10.10.20
	LAN側 ネットワーク	192.168.2.0/24
ルーティング		-
IKE	事前共有鍵	(表示しません)
	アルゴリズム	AES(128 bits) / SHA1
	モード	メインモード
	ID	-
IPSec	アルゴリズム	AES(128 bits) / SHA1

• VPN接続#1の設定編集  
• VPN接続#1の設定削除  
• トップページに戻る

## 4.6.2. IPSec による VPN 接続の設定編集

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[VPN 接続の設定]をクリックします。

【ステップ2】 設定変更する # 番号の[VPN 接続 # の設定編集]をクリックします。

The image shows a two-step process in a web interface. On the left, the 'VPN 接続' (VPN Connections) table is visible, with a red box around the 'VPN接続の設定' (VPN Connection Settings) link. A yellow callout bubble labeled 'ステップ1: クリック' (Step 1: Click) points to this link. An arrow points to the right, where the detailed configuration page for 'VPN接続#1 - PPPoE\_IPSec(IPSec接続)' is shown. In this page, a red box highlights the 'VPN接続#1の設定編集' (Edit VPN Connection #1) link, with a yellow callout bubble labeled 'ステップ2: クリック' (Step 2: Click) pointing to it. The detailed configuration page includes sections for '現在の状態・設定' (Current Status/Settings) and 'IPSec' parameters.

接続番号	接続名	接続種別	状態
#1	PPPoE_IPSec	IPSec	接続
#2	PPPoE_IPSec02	IPSec	接続

		現在の状態・設定
接続名		PPPoE_IPSec
接続種別		IPSec
接続状態		接続
接続元 (自装置)	WAN側 IPアドレス	固定IPアドレス 10.10.10.10
	LAN側 ネットワーク	192.168.1.0/24
接続先 (相手装置)	WAN側 IPアドレス	固定IPアドレス 10.10.10.20
	LAN側 ネットワーク	192.168.2.0/24
ルーティング		-
IKE	事前共有鍵	(表示しません)
	アルゴリズム	AES(128 bits) / SHA1
	モード	メインモード
	ID	-
IPSec	アルゴリズム	AES(128 bits) / SHA1

		現在の状態・設定
接続名		PPPoE_IPSec02
接続種別		IPSec
接続状態		接続
接続元 (自装置)	WAN側 IPアドレス	固定IPアドレス 10.10.10.10
	LAN側 ネットワーク	192.168.1.0/24
接続先 (相手装置)	WAN側 IPアドレス	固定IPアドレス 20.20.20.200
	LAN側 ネットワーク	192.168.3.0/24
ルーティング		-
IKE	事前共有鍵	(表示しません)
	アルゴリズム	AES(128 bits) / SHA1
	モード	メインモード
	ID	-
IPSec	アルゴリズム	AES(128 bits) / SHA1

### 注意

表示例はプロバイダ接続を PPPoE で接続した画面です。

【ステップ3】 選択した # 番号【VPN 接続 # の設定】画面の各項目を設定します。

【ステップ4】 [設定する]ボタンをクリックします。

設定を変更しないときは、[VPN 接続の設定に戻る]をクリックします。

トップページ > VPN接続の設定 > VPN接続#1の設定(設定中)

## VPN接続#1の設定

以下のフォームに新しい設定を入力した後、設定ボタンを押して設定を反映してください。 [VPN接続の設定に戻る](#)

設定内容

		現在の状態・設定	設定の変更
接続名		PPPoE_IPSec	<input type="text" value="PPPoE_IPSec"/>
接続種別		IPSec	-
接続状態		接続	-
接続元 (自装置)	WAN側 IPアドレス	固定IPアドレス 10.10.10.10	<input type="text" value="固定IPアドレス"/> <small>IPアドレスはプロバイダ接続の設定から取得します。</small>
	LAN側 ネットワーク	192.168.1.0/24	<input type="text" value="LAN側ネットワーク"/> <small>LAN側ネットワークの設定を利用します。</small>
接続先 (相手装置)	WAN側 IPアドレス	固定IPアドレス 10.10.10.20	<input type="text" value="固定IPアドレス"/> <input type="text" value="10.10.10.20"/> <small>接続先が固定IPアドレスの場合はIPアドレスを入力してください。</small>
	LAN側 ネットワーク	192.168.2.0/24	<input type="text" value="192.168.2.0"/> / <input type="text" value="24"/>
ルーティング		-	<small>接続先のLAN側ネットワークアドレス以外にも接続するネットワークアドレスがある場合に入力してください。</small> <input type="text"/> / <input type="text" value="24"/> <input type="text"/> / <input type="text" value="24"/> <input type="text"/> / <input type="text" value="24"/>
IKE	事前共有鍵	(表示しません)	<input type="text" value="....."/>
	アルゴリズム	AES(128 bits) / SHA1	暗号 <input type="text" value="AES(128 bits)"/> / 認証 <input type="text" value="SHA1"/>
	モード	メインモード	<small>メインモードとアグレッシブモードの設定は自動選択します。</small> <input type="text"/>
IPSec	ID	-	<small>接続元・接続先のどちらか一方が動的IPアドレス(アグレッシブモード)の場合、接続を識別するためのIDを入力する必要があります。</small> <input type="text"/>
	アルゴリズム	AES(128 bits) / SHA1	暗号 <input type="text" value="AES(128 bits)"/> / 認証 <input type="text" value="SHA1"/>

[VPN接続の設定に戻る](#)

ステップ3：設定する

ステップ4：クリック

番号	項目	内容
	現在の状態・設定	現在設定されている設定内容と状態が表示されています。
	設定の変更	設定内容を変更することができます。 各設定項目の設定方法は、「4.個別設定」の「4.6.1.IPSec による VPN 接続の設定」を参照してください。

【ステップ5】 「設定を反映しました」のメッセージと、設定内容が反映されたことを確認します。

トップページ > VPN接続の設定 > VPN接続#1の設定 (設定完了)

### VPN接続#1の設定

**設定を反映しました**

!!注意!! 設定が変更されています。  
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。  
設定完了後は必ず保存を行ってください。

設定内容

		現在の状態・設定
接続名		PPPoE_IPSec
接続種別		IPSec
接続状態		接続
接続元 (自装置)	WAN側 IPアドレス	固定IPアドレス 10.10.10.10
	LAN側 ネットワーク	192.168.1.0/24
接続先 (相手装置)	WAN側 IPアドレス	固定IPアドレス 10.10.10.20
	LAN側 ネットワーク	192.168.2.0/24
ルーティング		-
IKE	事前共有鍵	(表示しません)
	アルゴリズム	AES(128 bits) / SHA1
	モード	メインモード
	ID	-
IPSec	アルゴリズム	AES(128 bits) / SHA1

• [VPN接続#1の設定編集](#)  
• [VPN接続#1の設定削除](#)

• [VPN接続の設定に戻る](#)  
• [トップページに戻る](#)

ステップ5: 確認する

### 4.6.3. IPSec による VPN 接続の設定削除

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[VPN 接続の設定]をクリックします。

【ステップ2】 設定変更する # 番号の[VPN 接続 # の設定削除]をクリックします。

The image shows a two-step process in a web interface. On the left, the 'VPN 接続' (VPN Connections) table has a red box around the '+ VPN接続の設定' (VPN Connection Settings) link. A yellow callout bubble labeled 'ステップ1: クリック' (Step 1: Click) points to this link. An arrow points to the right, where the 'VPN接続の設定' (VPN Connection Settings) page is shown. In this page, the 'VPN 接続' table has a red box around the '+ VPN接続#1の設定削除' (Delete VPN Connection #1) link. A yellow callout bubble labeled 'ステップ2: クリック' (Step 2: Click) points to this link. Below this, the detailed settings for 'VPN 接続#1 - PPPoE\_IPSec(IPSec接続)' are visible, with a red box around the '+ VPN接続#1の設定削除' link at the bottom right.

接続番号	接続名	接続種別	状態
#1	PPPoE_IPSec	IPSec	接続
#2	PPPoE_IPSec02	IPSec	接続

現在の状態・設定		
接続名	PPPoE_IPSec	
接続種別	IPSec	
接続状態	接続	
接続元 (自装置)	WAN側 IPアドレス	固定IPアドレス 10.10.10.10
	LAN側 ネットワーク	192.168.1.0/24
接続先 (相手装置)	WAN側 IPアドレス	固定IPアドレス 10.10.10.20
	LAN側 ネットワーク	192.168.2.0/24
ルーティング	-	
IKE	事前共有鍵	(表示しません)
	アルゴリズム	AES(128 bits) / SHA1
	モード	メインモード
	ID	-
アルゴリズム	AES(128 bits) / SHA1	

**注意** 表示例はプロバイダ接続を PPPoE で接続した画面です。



【ステップ3】 [削除する]ボタンをクリックします。

設定を削除しないときは、[VPN接続の設定に戻る]をクリックします。

トップページ > VPN接続の設定 > VPN接続#2の削除 (削除確認)

### VPN接続#2の削除

**VPN接続#2を削除します。** [VPN接続の設定に戻る](#)

以下の削除内容を確認した後、削除ボタンを押して設定を反映してください。

削除内容

		現在の状態・設定
接続名		PPPoE_IPSec02
接続種別		IPSec
接続状態		接続
接続元 (自装置)	WAN側 IPアドレス	固定IPアドレス 10.10.10.10
	LAN側 ネットワーク	192.168.1.0/24
接続先 (相手装置)	WAN側 IPアドレス	固定IPアドレス 20.20.20.200
	LAN側 ネットワーク	192.168.3.0/24
ルーティング		-
IKE	事前共有鍵	(表示しません)
	アルゴリズム	AES(128 bits) / SHA1
	モード	メインモード
	ID	-
IPSec	アルゴリズム	AES(128 bits) / SHA1

[VPN接続の設定に戻る](#)

ステップ3: クリック

【ステップ4】 選択した#番号【VPN接続# を削除しました】のメッセージを確認します。

トップページ > VPN接続の設定 > VPN接続#2の削除 (削除完了)

### VPN接続#2の削除

**VPN接続#2を削除しました。** [VPN接続の設定に戻る](#)  
[トップページに戻る](#)

**!!注意!! 設定が変更されています。**  
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。  
設定完了後は必ず保存を行ってください。

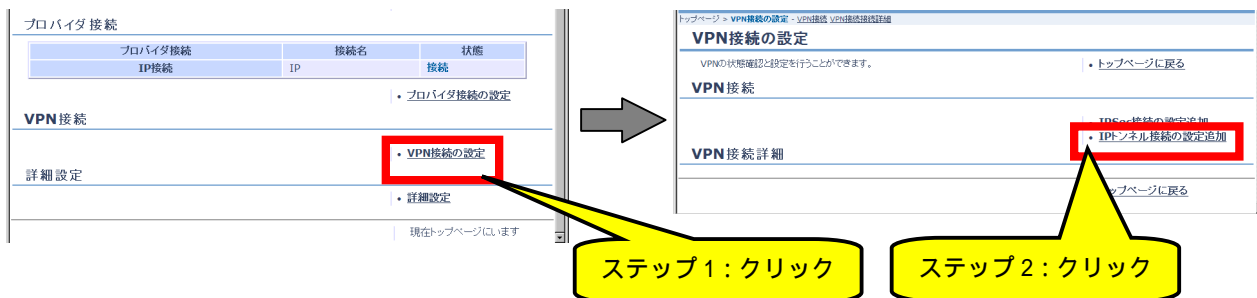
ステップ4: 確認する

## 4.7. VPN 接続 < IP トンネル >

### 4.7.1. IP トンネルによる VPN 接続の設定

【ステップ 1】 ログインし、【トップページ】画面の[VPN 接続の設定]をクリックします。

【ステップ 2】 [IP トンネル接続の設定追加]をクリックします。

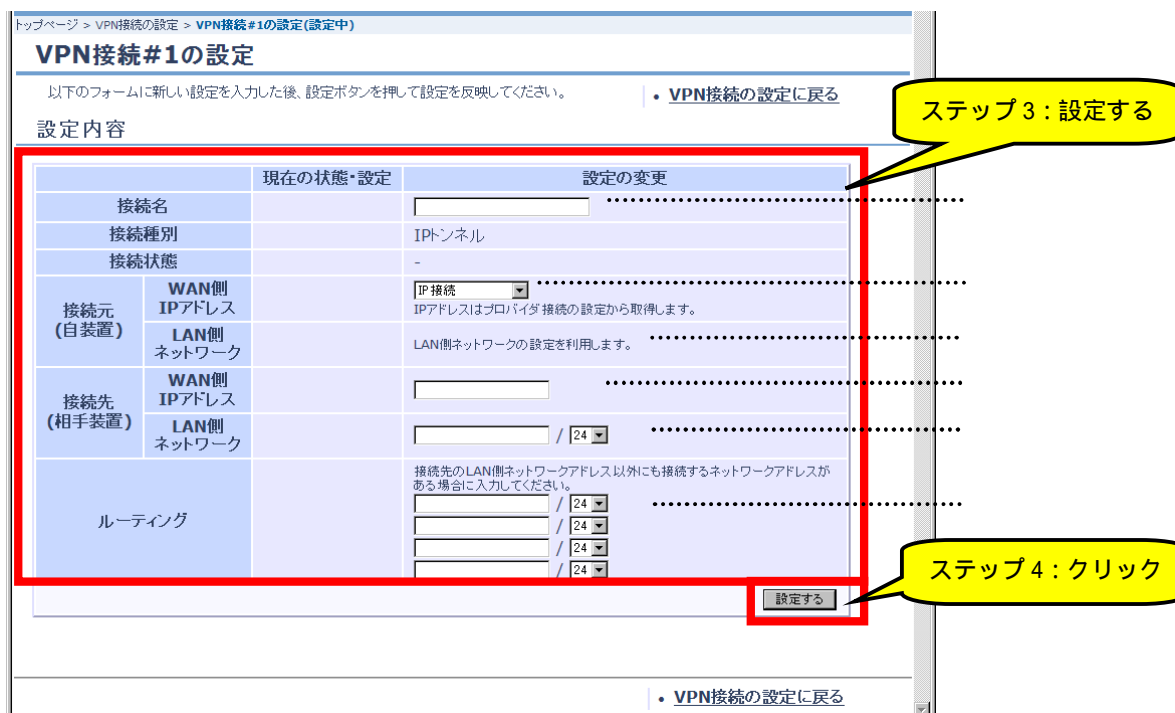


**注意** 表示例はプロバイダ接続を PPPoE で接続した画面です。

【ステップ 3】 【VPN 接続 # 1 の設定】画面の各項目を設定します。

【ステップ 4】 [設定する]ボタンをクリックします。

設定しないときは、[VPN 接続の設定に戻る]をクリックします。



番号	項目	内容
	接続名	<p>接続先が分かるような IP トンネルによる VPN 接続の接続名称を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・任意の接続名を付けることができます。</li> <li>・半角文字で 1～79 文字まで入力できます。</li> </ul>
	接続元 WAN 側 IP アドレス	<p>本装置の WAN 側 IP アドレスの割り当て方式をプルダウンメニューから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ PPPoE 基本接続、PPPoE 追加接続、IP 接続から選択します。</li> </ul>
	接続元 LAN 側ネットワーク	<p>「LAN 側ネットワークの設定」で設定した IP アドレスが、本装置の LAN 側 IP アドレスとして自動的に設定されます。</p>
	接続先 WAN 側 IP アドレス	<p>接続先(相手装置)の「WAN 側 IP アドレス」を設定します。</p>
	接続先 LAN 側ネットワーク	<p>接続先(IP トンネル相手装置)の LAN 側ネットワークのネットワークアドレス、サブネットマスクを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットワークアドレス(プレフィックス)を入力し、サブネットマスクをプルダウンメニューから選択します。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>プレフィックスとは、サブネットマスクで指定されるプレフィックス長のネットワークアドレスです。接続ポートの IP アドレスではありません。たとえばサブネットマスクが 24(255. 255. 255. 0)のときのプレフィックスは、「xxx. xxx. xxx. 0」の「x」の部分で、最後のアドレス表記は「0」となります。</p> </div>
	ルーティング	<p>ルーティングを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・接続先(IP トンネル相手装置)の LAN 側のネットワークが 1 つだけでなく複数あるときは、そのネットワークアドレス(プレフィックス)を入力し、サブネットマスクを設定します。</li> </ul>

【ステップ5】 「設定を反映しました」のメッセージと、設定内容が反映されたことを確認します。

【ステップ6】 [VPN 接続の設定に戻る]をクリックします。

トップページ > VPN接続の設定 > VPN接続#1の設定 (設定完了)

### VPN接続#1の設定

**設定を反映しました**

!!注意!! 設定が変更されています。  
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。  
設定完了後は必ず保存を行ってください。

現在の状態・設定

		現在の状態・設定
接続名		IP_IP
接続種別		IPトンネル
接続状態		接続されていません
接続元 (自装置)	WAN側 IPアドレス	IP接続 10.10.10.29
	LAN側 ネットワーク	192.168.1.0/24
接続先 (相手装置)	WAN側 IPアドレス	10.10.10.10
	LAN側 ネットワーク	192.168.2.0/24
ルーティング		-

• VPN接続の設定に戻る  
• トップページに戻る

• VPN接続#1の設定編集  
• VPN接続#1の設定削除  
• VPN接続の設定に戻る  
• トップページに戻る

ステップ5: 確認する

ステップ6: クリック

注意

表示例はプロバイダ接続を IP で接続した画面です。

【ステップ7】 VPN 接続のが「接続」になっていることを確認します。

トップページ > VPN接続の設定 - VPN接続 VPN接続#1

### VPN接続の設定

VPNの状態確認と設定を行うことができます。

!!注意!! 設定が変更されています。  
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。  
設定完了後は必ず保存を行ってください。

• トップページに戻る

#### VPN接続

接続番号	接続名	接続種別	状態
#1	IP_IP	IPトンネル	接続

• IPSec接続の設定追加  
• IPトンネル接続の追加

#### VPN接続詳細

##### VPN接続#1 - IP\_IP(IPトンネル 接続)

現在の状態・設定

		現在の状態・設定
接続名		IP_IP
接続種別		IPトンネル
接続状態		接続
接続元 (自装置)	WAN側 IPアドレス	IP接続 10.10.10.29
	LAN側 ネットワーク	192.168.1.0/24
接続先 (相手装置)	WAN側 IPアドレス	10.10.10.10
	LAN側 ネットワーク	192.168.2.0/24
ルーティング		-

• VPN接続#1の設定編集  
• VPN接続#1の設定削除  
• トップページに戻る

ステップ7: 確認する

## 4.7.2. IP トンネルによる VPN 接続の設定編集

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[VPN 接続の設定]をクリックします。

【ステップ2】 設定変更する # 番号の[VPN 接続 # の設定編集]をクリックします。

プロバイダ接続

プロバイダ接続	接続名	接続	状態
IP接続	IP	接続	

VPN接続

接続番号	接続名	接続種別	接続	状態
#1	IP_IP	IPトンネル	接続	
#2	IP_IP02	IPトンネル	接続	

VPN接続詳細

VPN接続#1 - IP\_IP (IPトンネル接続)

現在の状態・設定		
接続名	IP_IP	
接続種別	IPトンネル	
接続状態	接続	
接続元 (自装置)	WAN側 IPアドレス	10.10.10.29
	LAN側 ネットワーク	192.168.1.0/24
接続先 (相手装置)	WAN側 IPアドレス	10.10.10.10
	LAN側 ネットワーク	192.168.2.0/24
ルーティング	-	

ステップ1: クリック

ステップ2: クリック

注意

表示例はプロバイダ接続を IP で接続した画面です。

【ステップ3】 選択した # 番号【VPN 接続 # の設定】画面の各項目を設定します。

【ステップ4】 [設定する]ボタンをクリックします。

設定を変更しないときは、[VPN 接続の設定に戻る]をクリックします。

VPN接続#1の設定

以下のフォームに新しい設定を入力した後、設定ボタンを押して設定を反映してください。

設定内容

	現在の状態・設定	設定の変更
接続名	IP_IP	IP_IPnew
接続種別	IPトンネル	-
接続状態	接続	-
接続元 (自装置)	WAN側 IPアドレス	10.10.10.29
	LAN側 ネットワーク	192.168.1.0/24
接続先 (相手装置)	WAN側 IPアドレス	10.10.10.10
	LAN側 ネットワーク	192.168.2.0 / 24
ルーティング	-	

設定する

ステップ3: 設定する

ステップ4: クリック

注意

表示例はプロバイダ接続を IP で接続した画面です。

番号	項目	内容
	現在の状態・設定	現在設定されている設定内容と状態が表示されています。
	設定の変更	設定内容を変更することができます。 各設定項目の設定方法は、「4.個別設定」の「4.7.1.IPトンネルによるVPN接続の設定」を参照してください。

【ステップ5】 「設定を反映しました」のメッセージと、設定内容が反映されたことを確認します。

トップページ > VPN接続の設定 > VPN接続#1の設定 (設定完了)

### VPN接続#1の設定

**設定を反映しました** [VPN接続の設定に戻る](#)

**!!注意!! 設定が変更されています。**  
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。  
設定完了後は必ず保存を行ってください。

設定内容

		現在の状態・設定
接続名		IP_IPnew
接続種別		IPトンネル
接続状態		接続
接続元 (自装置)	WAN側 IPアドレス	IP接続 10.10.10.29
	LAN側 ネットワーク	192.168.1.0/24
接続先 (相手装置)	WAN側 IPアドレス	10.10.10.10
	LAN側 ネットワーク	192.168.2.0/24
ルーティング		-

[VPN接続#1の設定編集](#)  
[VPN接続#1の設定削除](#)

[VPN接続の設定に戻る](#)  
[トップページに戻る](#)

ステップ5：確認する

**注意**

表示例はプロバイダ接続をIPで接続した画面です。

### 4.7.3. IP トンネルによる VPN 接続の設定削除

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[VPN 接続の設定]をクリックします。

【ステップ2】 設定変更する # 番号の[VPN 接続 # の設定削除]をクリックします。

**注意** 表示例はプロバイダ接続を IP で接続した画面です。

【ステップ3】 [削除する]ボタンをクリックします。

設定を削除しないときは、[VPN 接続の設定に戻る]をクリックします。

【ステップ4】 削除した # 番号の「VPN 接続 # を削除しました。」メッセージを確認します。

## 4.8. VPN 接続 < IPv4 スタティックフィルタ >

### 4.8.1. IPv4 スタティックフィルタの設定

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[VPN 接続の設定]をクリックします。

【ステップ2】 [IPv4 スタティックフィルタの設定]をクリックします。



【ステップ3】 WAN または LAN インタフェースの[IPv4 スタティックフィルタの設定追加]を選択します。

WAN 側、LAN 側それぞれで設定することができます。



**注意** 表示例はプロバイダ接続を PPPoE で接続した画面です。

【ステップ4】 【IPv4 スタティックフィルタの設定】画面の各項目を設定します。

【ステップ5】 [設定する]ボタンをクリックします。



トップページ > 詳細設定 > IPv4スタティックフィルタの設定 > PPPoE基本接続 IPv4スタティックフィルタの設定(設定中)

### PPPoE基本接続 IPv4スタティックフィルタの設定

以下のフォームに新しい設定を入力した後、設定ボタンを押して設定を反映してください。

- IPv4スタティックフィルタの設定に戻る

設定内容

現在の状態・設定		設定の変更
シーケンス番号		1
方向/動作		in/透過
プロトコル		TCP
送信元	IPアドレス	<input type="radio"/> すべて / <input type="radio"/> アドレス指定 [ ] / 24
	ポート番号	<input type="radio"/> すべて / <input type="radio"/> ポート指定 [ ] ~ [ ]
送信先	IPアドレス	<input type="radio"/> すべて / <input type="radio"/> アドレス指定 [ ] / 24
	ポート番号	<input type="radio"/> すべて / <input type="radio"/> ポート指定 [ ] ~ [ ]
ログ		記録する

設定する

設定一覧

- IPv4スタティックフィルタの設定に戻る

ステップ 4 : 設定する

ステップ 5 : クリック

**注意** 表示例は PPPoE 基本接続での IPv4 スタティックフィルタの設定画面です。

番号	項目	内容
	シーケンス番号	<p>フィルタのシーケンス番号を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シーケンス番号 1~32 の 32 種類のフィルタを設定することができます。</li> <li>複数のフィルタを設定したときは、若いシーケンス番号順にパケットのフィルタリングを行います。</li> </ul>
	方向 / 動作	<p>フィルタリング対象とするパケットの通過方向と、パケットに対する処理動作を以下の 4 パターンから選択します。</p> <p>[in/透過] : インタフェースで受信するパケットを透過させます。  [in/廃棄] : インタフェースで受信するパケットを廃棄します。  [out/透過] : インタフェースから送信するパケットを透過させます。  [out/廃棄] : インタフェースから送信するパケットを廃棄します。</p>
	プロトコル	<p>フィルタリング対象とするプロトコルをプルダウンメニューから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プロトコルは、[TCP]、[UDP]、[IP]、[ICMP]、[その他]から選択します。</li> <li>IPv4 のすべてのプロトコルを対象とするときは、[IP]を選択します。</li> <li>プルダウンメニューで[その他]を選択したときは、プロトコル番号(0 ~ 255)を入力します。</li> </ul> <p><b>注意</b> 以下のプロトコル番号を入力したときは、カッコ内のプロトコル名が確認画面に表示されます。それ以外のプロトコル番号を入力したときは、プロトコル番号がそのまま表示されます。  0(IP)、1(ICMP)、2(IGMP)、4(IPv4)、6(TCP)、17(UDP)、41(IPv6)、43(ROUTING)、44(FRAGMENT)、46(RSVP)、47(GRE)、50(ESP)、51(AH)、58(ICMPv6)、59(NONE)、60(DSTOPS)、89(OSPF)、97(ETHIP)</p> <p><b>注意</b> 0(IP)、1(ICMP)、6(TCP)、17(UDP)以外のプロトコル番号は、フィルタリング動作が行われなことがあるあります。</p>
	接続元 IP アドレス	<p>フィルタリング対象とする送信元の IP アドレスを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すべての IP アドレスからのパケットに対してフィルタリングを行うときは、「すべて」のラジオボタンをチェックします。</li> <li>特定の IP アドレスからのパケットに対してフィルタリングを行うときは、「アドレス指定」のラジオボタンをチェックし、IP アドレスを入力します。</li> </ul>

送信元 ポート番号	<p>フィルタリング対象とする送信元のポート番号を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すべてのポート番号の packets に対してフィルタリングを行うときは、「すべて」のラジオボタンをチェックします。</li> <li>特定のポート番号の packets に対してフィルタリングを行うときは、「ポート指定」のラジオボタンをチェックし、ポート番号を入力します。</li> </ul> <p><b>注意</b> プロトコルで[TCP]または[UDP]を選択した場合のみ、ポート番号の設定が有効です。</p>
送信先 IP アドレス	<p>フィルタリング対象とする送信先の IP アドレスを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すべての IP アドレスへの packets に対してフィルタリングを行うときは、「すべて」のラジオボタンをチェックします。</li> <li>特定の IP アドレスへの packets に対してフィルタリングを行うときは、「アドレス指定」のラジオボタンをチェックし、IP アドレスを入力します。</li> </ul>
送信先 ポート番号	<p>フィルタリング対象とする送信先のポート番号を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>すべてのポート番号の packets に対してフィルタリングを行うときは、「すべて」のラジオボタンをチェックします。</li> <li>特定のポート番号の packets に対してフィルタリングを行うときは、「ポート指定」のラジオボタンをチェックし、ポート番号を入力します。</li> </ul> <p><b>注意</b> プロトコルで[TCP]または[UDP]を選択した場合のみ、ポート番号の設定が有効です。</p>
ログ	<p>設定したフィルタで廃棄した packets の廃棄ログを記録する / 記録しないを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>プルダウンメニューから [記録する] / [記録しない] を選択します。</li> </ul> <p><b>+</b> 記録した廃棄ログは、「5. メンテナンス」の「5.2. ログの表示と保存」で確認、保存することができます。</p>

【ステップ6】 「設定を反映しました」のメッセージと、設定内容が反映されたことを確認します。

【ステップ7】 [IPv4 スタティックフィルタの設定に戻る] をクリックします。

トップページ > 詳細設定 > IPv4スタティックフィルタの設定 > PPPoE基本接続 IPv4スタティックフィルタの設定 (設定完了)

### PPPoE基本接続 IPv4スタティックフィルタの設定

**設定を反映しました**

!!注意!! 設定が変更されています。  
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。  
設定完了後は必ず保存を行ってください。

設定内容

		現在の状態・設定
シーケンス番号		#1
方向/動作		in/廃棄
プロトコル		ICMP
送信元	IPアドレス	すべて
	ポート番号	-
送信先	IPアドレス	すべて
	ポート番号	-
ログ		記録する

[IPv4スタティックフィルタの設定に戻る](#)  
[IPv4スタティックフィルタの設定を追加](#)

[IPv4スタティックフィルタの設定に戻る](#)

**注意**

表示例は PPPoE 基本接続での IPv4 スタティックフィルタの設定画面です。

【ステップ 8】 IPv4 スタティックフィルタの設定が追加されていることを確認します。

トップページ > 詳細設定 > IPv4スタティックフィルタの設定 - PPPoE基本接続 PPPoE追加接続 LAN

### IPv4スタティックフィルタの設定

IPv4スタティックフィルタ設定の状態確認と設定を行うことができます。

- 詳細設定に戻る
- トップページに戻る

**!!注意!! 設定が変更されています。**  
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。  
設定完了後は必ず保存を行ってください。

#### WAN

##### PPPoE 基本接続

番号	方向/動作	プロトコル	送信元		送信先		ログ	
			IPアドレス	ポート番号	IPアドレス	ポート番号		
#1	in/廃棄	ICMP	すべて	-	すべて	-	記録する	編集 削除

- PPPoE基本接続 IPv4スタティックフィルタの設定追加

##### PPPoE 追加接続

- PPPoE追加接続 IPv4スタティックフィルタの設定追加

#### LAN

- LAN IPv4スタティックフィルタの設定追加
- 詳細設定に戻る
- トップページに戻る

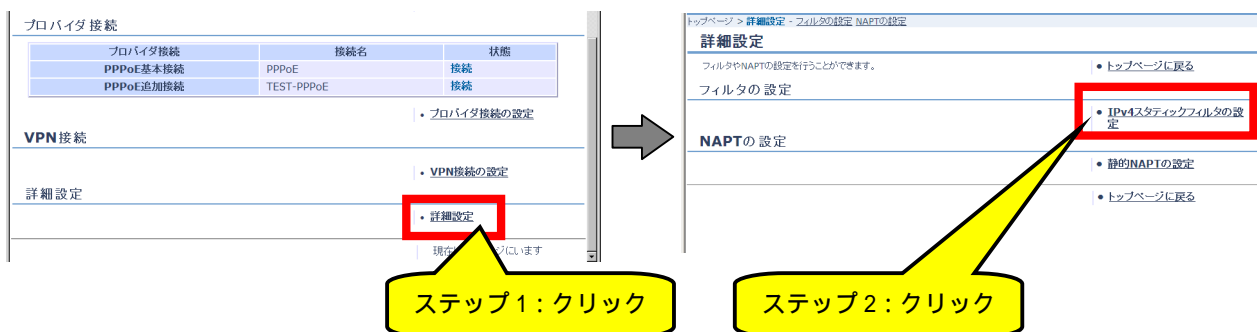
ステップ 8：確認する

**注意** 表示例は PPPoE 基本接続での IPv4 スタティックフィルタの設定画面です。

## 4.8.2. IPv4 スタティックフィルタの設定編集

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[詳細設定]をクリックします。

【ステップ2】 [IPv4 スタティックフィルタの設定]をクリックします。



【ステップ3】 設定変更するシーケンス番号(#番号)の[編集]をクリックします。



**注意**

表示例は PPPoE 基本接続での IPv4 スタティックフィルタの設定画面です。

【ステップ4】 【IPv4 スタティックフィルタの設定】画面の各項目を設定します。

【ステップ5】 [設定する]ボタンをクリックします。

設定を変更しないときは、[IPv4 スタティックフィルタの設定に戻る]をクリックします。

トップページ > 詳細設定 > IPv4スタティックフィルタの設定 > PPPoE基本接続 IPv4スタティックフィルタの設定(設定中)

### PPPoE基本接続 IPv4スタティックフィルタの設定

以下のフォームに新しい設定を入力した後、設定ボタンを押して設定を反映してください。

• IPv4スタティックフィルタの設定  
に戻る

設定内容

現在の状態・設定		設定の変更
シーケンス番号	#2	?
方向/動作	in/廃棄	in/廃棄
プロトコル	TCP	TCP <small>その他を選択した場合、プロトコル番号を入力してください。</small>
送信元	IPアドレス	30.30.30.0/24
	ポート番号	20 ~ 21
送信先	IPアドレス	すべて
	ポート番号	すべて
ログ	記録する	記録する

設定する

設定一覧

番号	方向/動作	プロトコル	送信元		送信先		ログ
			IPアドレス	ポート番号	IPアドレス	ポート番号	
#1	in/廃棄	ICMP	すべて	-	すべて	-	記録する
#2	in/廃棄	TCP	30.30.30.0/24	20 ~ 21	すべて	すべて	記録する

• IPv4スタティックフィルタの設定  
に戻る

ステップ4：設定する

ステップ5：クリック

**注意** 表示例は PPPoE 基本接続での IPv4 スタティックフィルタの設定画面です。

番号	項目	内容
	設定の変更	設定内容を変更することができます。 ・各設定項目の設定方法は、「4.個別設定」の「4.8.1.IPv4 スタティックフィルタの設定」を参照してください。
	現在の設定内容	現在設定されている設定内容が表示されています。
	設定の一覧	現在設定されているフィルタの一覧が表示されています。

【ステップ6】 「設定を反映しました」のメッセージと、設定内容が反映されたことを確認します。

【ステップ7】 [IPv4 スタティックフィルタの設定に戻る]をクリックします。

トップページ > 詳細設定 > IPv4スタティックフィルタの設定 > PPPoE基本接続 IPv4スタティックフィルタの設定 (設定完了)

### IPv4スタティックフィルタの設定

設定を反映しました

!!注意!! 設定が変更されています。  
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。  
設定完了後は必ず保存を行ってください。

現在の状態・設定

		現在の状態・設定
シーケンス番号		#2
方向/動作		in/廃棄
プロトコル		TCP
送信元	IPアドレス	30.30.30.0/24
	ポート番号	20 ~ 21
送信先	IPアドレス	192.168.1.0/24
	ポート番号	20 ~ 21
ログ		記録する

IPv4スタティックフィルタの設定に戻る

注意

表示例は PPPoE 基本接続での IPv4 スタティックフィルタの設定画面です。

【ステップ8】 設定内容が変更されていることを確認します。

トップページ > 詳細設定 > IPv4スタティックフィルタの設定 - PPPoE基本接続 PPPoE追加接続 LAN

### IPv4スタティックフィルタの設定

IPv4スタティックフィルタ設定の状態確認と設定を行うことができます。

!!注意!! 設定が変更されています。  
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。  
設定完了後は必ず保存を行ってください。

WAN

#### PPPoE基本接続

番号	方向/動作	プロトコル	送信元		送信先		ログ	
			IPアドレス	ポート番号	IPアドレス	ポート番号		
#1	in/廃棄	ICMP	すべて	-	すべて	-	記録する	編集 削除
#2	in/廃棄	TCP	30.30.30.0/24	20 ~ 21	192.168.1.0/24	20 ~ 21	記録する	編集 削除

PPPoE追加接続 IPv4スタティックフィルタの設定追加

注意

表示例は PPPoE 基本接続での IPv4 スタティックフィルタの設定画面です。

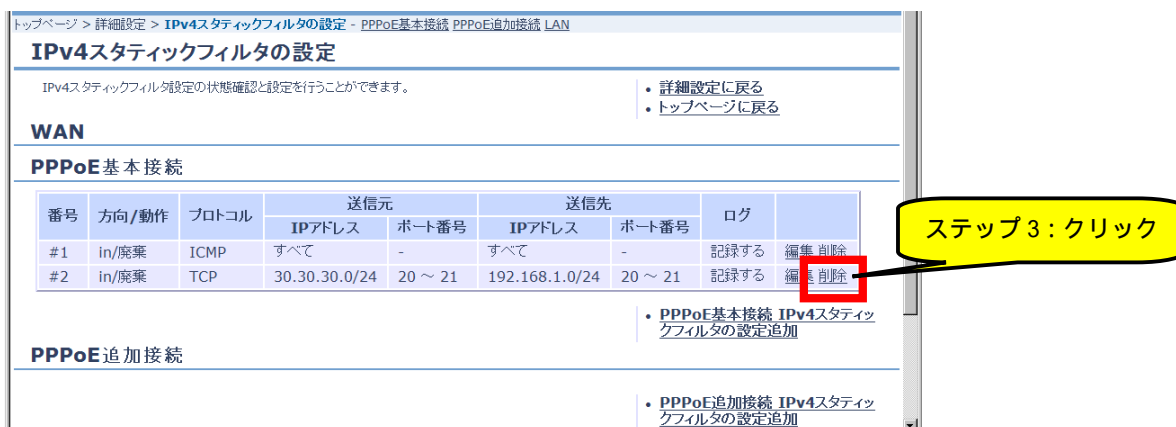
### 4.8.3. IPv4 スタティックフィルタの設定削除

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[詳細設定]をクリックします。

【ステップ2】 [IPv4 スタティックフィルタの設定]をクリックします。



【ステップ3】 削除する#番号(シーケンス番号)の[削除]をクリックします。



**注意** 表示例は PPPoE 基本接続での IPv4 スタティックフィルタの設定画面です。

【ステップ4】 [削除する]ボタンをクリックします。

削除するシーケンス番号(#番号)と設定内容を確認してから[削除する]ボタンをクリックします。削除しないときは、[IPv4 スタティックフィルタの設定に戻る]をクリックします。

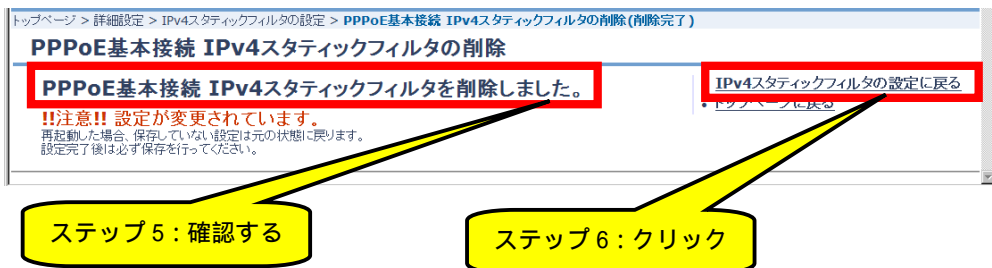


注意

表示例は PPPoE 基本接続での IPv4 スタティックフィルタの設定画面です。

【ステップ5】 「IPv4 スタティックフィルタを削除しました。」のメッセージを確認します。

【ステップ6】 [IPv4 スタティックフィルタの設定に戻る]をクリックします。



注意

表示例は PPPoE 基本接続での IPv4 スタティックフィルタの設定画面です。

【ステップ7】 項目が削除されたことを確認します。





## 4.9. VPN 接続 < 静的 NAPT >

### 4.9.1. 静的 NAPT の設定

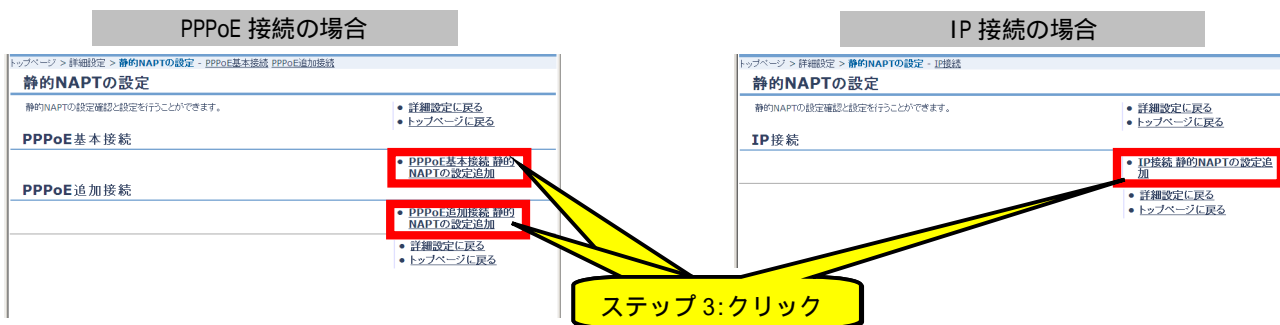
【ステップ 1】 ログインし、【トップページ】画面の[詳細設定]をクリックします。

【ステップ 2】 [静的 NAPT の設定]をクリックします。



【ステップ 3】 プロバイダ接続方法に対応した[静的 NAPT の設定追加]をクリックします。

プロバイダ接続の設定により、[PPPoE 基本接続 静的 NAPT の設定追加]、[PPPoE 追加接続 静的 NAPT の設定追加]または[IP 接続 静的 NAPT の設定追加]をクリックします。



【ステップ 4】 【静的 NAPT の設定】画面の各項目を設定します。

【ステップ 5】 [設定する]をクリックします。

#### 解説

設定内容は、PPPoE 接続と IP 接続での違いはありません。

トップページ > 詳細設定 > 静的NAPTの設定 > PPPoE基本接続 静的NAPTの設定 (設定中)

### PPPoE基本接続 静的NAPTの設定

以下のフォームに新しい設定を入力した後、設定ボタンを押して設定を反映してください。 [静的NAPTの設定に戻る](#)

設定内容

	現在の状態・設定	設定の変更
..... プロトコル		[TCP/ポート指定] ▼ ポート指定を選択した場合、ポート番号を入力してください。
..... ポート番号		..... ~ .....
..... IPアドレス		.....
..... プライベート側		<input checked="" type="radio"/> 変換なし
..... ポート番号		<input type="radio"/> ポート指定
		.....

設定一覧

[静的NAPTの設定に戻る](#)

ステップ4:設定する

ステップ5:クリック

**注意** 表示例は、PPPoE 基本接続での静的 NAPT の画面です。

番号	項目	内容
	プロトコル	<p>静的 NAPT の対象にするプロトコルをプルダウンメニューから選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プロトコルは[TCP/ポート指定]、[UDP/ポート指定]、[UDP/53(DNS)]、[TCP/20~21(FTP)]、[TCP/80(HTTP)]、[ICMP/すべて(Ping)]、[UDP/161(SNMP)]、[TCP/23(Telnet)]から選択します。</li> <li>・「プロトコル」で[TCP/ポート指定]または[UDP/ポート指定]を選択したときは、と でポート番号を設定します。</li> <li>・設定できる静的 NAPT 数は1インタフェースで32までです。</li> </ul>
	ポート番号	<p>外部に公開するポート番号を入力します。WAN 側からこのポート番号に一致するパケットを受信したときに、次に設定する「プライベート側 IP アドレス」へ転送を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・単一ポート番号で設定するときは片方の入力ボックスのみに入力し、複数のポート番号のときは対象範囲の上限と下限をそれぞれの入力ボックスに入力します。</li> <li>・入力できるポート番号は1~65535です。</li> </ul>
	プライベート側 IP アドレス	<p>静的 NAPT により公開する LAN 側(プライベートアドレス側)の端末やサーバの IP アドレスを入力します。</p>
	プライベート側 ポート番号	<p>内部サーバ、端末が使用しているポート番号を入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・WAN 側と同じポート番号を使用するときは、「変換なし」のラジオボタンをチェックします。</li> <li>・WAN 側と異なるポート番号に変換するときは、「ポート指定」のラジオボタンをチェックし、ポート番号を1~65535で入力します。</li> </ul>

【ステップ6】 「設定を反映しました」のメッセージと、設定内容が反映されたことを確認します。

【ステップ7】 [静的 NAPT の設定に戻る]をクリックします。

このスクリーンショットは、静的NAPTの設定が完了した後の画面を示しています。画面上部には「設定を反映しました」というメッセージがあり、その下に「!!注意!! 設定が変更されています。」という警告があります。設定内容の表は以下の通りです。

現在の状態・設定	
プロトコル	TCP(HTTP)
ポート番号	80
プライベート側	IPアドレス: 192.168.1.10
	ポート番号: 変換なし

右側のナビゲーションメニューには「静的NAPTの設定に戻る」が強調されています。黄色い吹き出しで「ステップ6:確認する」と「ステップ7:クリック」と注釈されています。

**注意** 表示例は、PPPoE 基本接続での静的 NAPT の画面です。

【ステップ8】 静的 NAPT の設定が追加されたことを確認します。

このスクリーンショットは、静的NAPTの設定が追加された後の画面を示しています。画面上部には「静的NAPTの設定」という見出しがあり、その下に「静的NAPTの設定確認と設定を行うことができます。」というメッセージがあります。設定内容の表は以下の通りです。

プロトコル	ポート番号	プライベート側		編集 削除
		IPアドレス	ポート番号	
TCP(HTTP)	80	192.168.1.10	変換なし	

右側のナビゲーションメニューには「静的NAPTの設定を追加」が強調されています。黄色い吹き出しで「ステップ8:確認する」と注釈されています。

**注意** 表示例は、PPPoE 基本接続での静的 NAPT の画面です。

## 4.9.2. 静的 NAPT の設定編集

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[詳細設定]をクリックします。

【ステップ2】 [静的 NAPT の設定]をクリックします。



【ステップ3】 設定変更する項目の[編集]をクリックします。



**注意** 表示例は、PPPoE 基本接続での静的 NAPT の画面です。

【ステップ4】 【静的 NAPT の設定】画面の各項目を設定します。

設定を変更しないときは、[VPN 接続の設定に戻る]をクリックします。

【ステップ5】 [設定する]をクリックします。

トップページ > 詳細設定 > 静的NAPTの設定 > PPPoE基本接続 静的NAPTの設定(設定中)

### PPPoE基本接続 静的NAPTの設定

以下のフォームに新しい設定を入力した後、設定ボタンを押して設定を反映してください。 [静的NAPTの設定に戻る](#)

設定内容

現在の状態・設定		設定の変更	
プロトコル	TCP(HTTP)	TCP/80(HTTP)	
ポート番号	80	ポート指定を選択した場合、ポート番号を入力してください。	
プライベート側	IPアドレス	192.168.1.10	
	ポート番号	変換なし	
		<input checked="" type="radio"/> 変換なし <input type="radio"/> ポート指定	
			<input type="button" value="設定する"/>

設定一覧

プロトコル	ポート番号	プライベート側	
		IPアドレス	ポート番号
TCP(HTTP)	80	192.168.1.10	変換なし

[静的NAPTの設定に戻る](#)

ステップ4:設定する

ステップ5:クリック

注意

表示例は、PPPoE 基本接続での静的 NAPT の画面です。

番号	項目	内容
	設定の変更	設定内容を変更することができます。 ・各設定項目の設定方法は、「4.個別設定」の「4.9.1.静的 NAPT の設定」を参照してください。
	現在の設定内容	現在設定されている設定内容が表示されています。
	設定の一覧	現在設定されているフィルタの一覧が表示されています。

【ステップ6】 「設定を反映しました」のメッセージと、設定内容が反映されたことを確認します。

【ステップ7】 [静的 NAPT の設定に戻る]をクリックします。

トップページ > 詳細設定 > 静的NAPTの設定 > PPPoE基本接続 静的NAPTの設定(設定完了)

### PPPoE基本接続 静的NAPTの設定

**設定を反映しました** [静的NAPTの設定に戻る](#)

**!!注意!! 設定が変更されています。**  
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。  
設定完了後は必ず保存を行ってください。

設定内容

		現在の状態・設定	
プロトコル		TCP(HTTP)	
ポート番号		80	
プライベート側	IPアドレス	192.168.1.10	
	ポート番号	8080	

[PPPoE基本接続 静的NAPTの設定追加](#)  
[静的NAPTの設定に戻る](#)

ステップ6:確認する

ステップ7:クリック

注意

表示例は、PPPoE 基本接続での静的 NAPT の画面です。

【ステップ 8】 静的 NAPT の設定が変更されたことを確認します。

トップページ > 詳細設定 > 静的NAPTの設定 - PPPoE基本接続 PPPoE追加接続

### 静的NAPTの設定

静的NAPTの設定確認と設定を行うことができます。

**!!注意!! 設定が変更されています。**  
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。  
設定完了後は必ず保存を行ってください。

- 詳細設定に戻る
- トップページに戻る

#### PPPoE基本接続

プロトコル	ポート番号	プライベート側		編集 削除
		IDアドレス	ポート番号	
TCP(HTTP)	80	192.168.1.10	8080	

- PPPoE基本接続 静的NAPTの設定追加

#### PPPoE追加接続

- PPPoE追加接続 静的NAPTの設定追加
- 詳細設定に戻る
- トップページに戻る

ステップ 8:確認する

**注意** 表示例は、PPPoE 基本接続での静的 NAPT の画面です。

### 4.9.3. 静的NAPTの設定削除

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[詳細設定]をクリックします。

【ステップ2】 [静的NAPTの設定]をクリックします。



【ステップ3】 削除する項目の[削除]をクリックします。



**注意** 表示例は、PPPoE基本接続での静的NAPTの画面です。

【ステップ4】 [削除する]ボタンをクリックします。

削除する設定内容を確認してから[削除する]ボタンをクリックします。

削除しないときは、[静的NAPTの設定に戻る]をクリックします。



注意

表示例は、PPPoE 基本接続での静的 NAPT の画面です。

【ステップ 5】 「静的 NAPT を削除しました。」のメッセージを確認します。

【ステップ 6】 [静的 NAPT の設定に戻る]をクリックします。

静的NAPTを削除しました。

!!注意!! 設定が変更されています。  
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。  
設定完了後は必ず保存を行ってください。

静的NAPTの設定に戻る

トップページに戻る

ステップ 5:確認する

ステップ 6:クリック

注意

表示例は、PPPoE 基本接続での静的 NAPT の画面です。

【ステップ 7】 項目が削除されたことを確認します。

静的NAPTの設定

静的NAPTの設定確認と設定を行うことができます。

!!注意!! 設定が変更されています。  
再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。  
設定完了後は必ず保存を行ってください。

詳細設定に戻る

トップページに戻る

PPPoE 基本接続

プロトコル	ポート番号	プライベート側		編集 削除
		IPアドレス	ポート番号	
TCP(HTTP)	80	192.168.1.10	8080	

PPPoE基本接続 静的NAPTの設定追加

PPPoE追加接続 静的NAPTの設定追加

詳細設定に戻る

トップページに戻る

ステップ 7:確認する

注意

表示例は、PPPoE 基本接続での静的 NAPT の画面です。



## 5. メンテナンス

### 5.1. 装置稼動状態の表示

#### 5.1.1. トップページを表示内容

**メッセージエリア**  
操作の状態が表示されます。

**管理エリア**  
[ログイン]、[ログアウト]、[かんたん設定]、[保存実行]などのリンクや管理のためのボタンが表示されます。

トップページ

ログイン中です。  
各種状態の確認や設定など必要な作業が完了しましたらログアウトを行ってください。

- かんたん設定
- 詳細設定
- ログアウト
- ログアウト実行
- 設定の保存
- 保存実行

保存実行時は終了メッセージが表示されるまで他の操作を行わないでください。

装置

装置	バージョン	稼働時間	稼働率	メモリ	内部温度	内部電圧	NTP
Router	8.5.21	5分	15%	23%	+41.0℃	+3.250V	未設定

- 装置の設定
- 装置のメンテナンス

ネットワーク

デバイス	接続状態	送信量	受信量
WAN側(GE0)	全二重 1Gbpsで接続	0%	0%
LAN側(GE1)	Port1: 接続されていません Port2: 接続されていません Port3: 接続されていません Port4: 全二重 1Gbpsで接続	0%	0%

- ネットワークの設定

プロバイダ接続

プロバイダ接続	接続名	状態
PPPoE基本接続	PPPoE	接続

- プロバイダ接続の設定

VPN接続

- VPN接続の設定

詳細設定

- 詳細設定

現在トップページにいます

**本装置情報エリア**  
本装置および接続の状態が表示されます。

番号	項目	内容
	装置	<p>本装置の名称と稼働状態を表示しています。</p> <p>装置：本装置の名称です。初期設定は「Router」です。            名称は任意に付けることができ、変更するときは、「4.個別設定」の「4.1.装置名/ログインパスワード/Telnet サーバ機能の設定」を参照してください。</p> <p>バージョン：現在稼働中のソフトウェアのバージョンを表示しています。            ソフトウェアの更新は、「5.メンテナンス」の「5.3ソフトウェアのアップデート」を参照してください。</p> <p>稼働時間：本装置の電源スイッチを ON にしたときや、本装置の再起動を実行してからの経過時間を表示しています。</p> <p>稼働率：CPU の使用率を表示しています。</p> <p>メモリ：内部メモリの使用率を表示しています。</p> <p>内部温度：本装置内部の温度を表示しています。</p> <p>内部電圧：内部装置への入力電圧を表示しています。</p> <p>NTP：NTP(ネットワーク・タイム・プロトコル)サーバとの同期の状態を表示しています。            同期の設定は、「4.個別設定」の「4.2.時刻の設定」を参照してください。</p>
	ネットワーク	<p>ネットワークの状態を表示しています。</p> <p>デバイス：物理デバイスの接続種類を表示しています。</p> <p>接続状態：デバイスの接続状態を表示しています。</p> <p>送信量：物理ポート(デバイス)における送信方向の回線使用率を表示しています。</p> <p>受信量：物理ポート(デバイス)における受信方向の回線使用率を表示しています。</p>
	プロバイダ接続	<p>プロバイダ接続の状態を表示しています。</p> <p>プロバイダ接続：プロバイダとの接続方式を表示しています。</p> <p>接続名：「プロバイダ接続の設定(PPPoE 接続または IP 接続)」で設定した接続名が表示されます。</p> <p>状態：プロバイダとの接続状態を表示しています。</p>
	VPN 接続	<p>VPN 接続の状態を表示しています。</p> <p>接続番号：VPN 接続の番号を表示しています。</p> <p>接続名：「VPN 接続の設定(IPSec 接続または IP トンネル接続)」で設定した接続名が表示されます。</p> <p>接続種別：VPN 接続方式(IPSec または IP トンネル)を表示しています。</p> <p>状態：VPN 接続の接続状態を表示しています。</p>
	詳細設定	<p>IPv4 スタティックフィルタの設定や静的 NAT の設定などの詳細設定へのリンクです。</p> <p>詳細設定の内容はトップページには表示されません。</p>

## 5.1.2. 装置稼働状態表示

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[[装置のメンテナンス]をクリックします。

装置

装置	バージョン	稼働時間	稼働率	メモリ	内部温度	内部電圧	NTP
Router	8.5.21	8 時間 33 分	47%	23%	+38.0°C	+3.250V	未設定

• 装置の設定

- **装置のメンテナンス**

ネットワーク

デバイス	接続状態	送信量	受信量
WAN側(GE0)	全二重 100Mbpsで接続	0%	0%
LAN側(GE1)	Port1: 接続されていません Port2: 接続されていません Port3: 接続されていません Port4: 全二重 1Gbpsで接続	0%	0%

• ネットワークの設定

ステップ1:クリック

【ステップ2】 「装置の稼働状態」を確認します。

装置の稼働状態

	現在の状態+設定
起動日時	2011/5/24 19:37:00
稼働時間	10 分
稼働率	15%
メモリ使用量	23%
内部温度	+41.0°C
内部電圧(3.3V)	+3.250V

• 装置のログ

ソフトウェアバージョン

番号	項目	内容
	起動日時	本装置の電源スイッチを ON にした日時を表示しています。
	稼働時間	本装置の電源スイッチを ON にしたときや、本装置の再起動を実行してからの経過時間を表示しています。
	稼働率	CPU の使用率を表示しています。
	メモリ使用量	内部メモリの使用率を表示しています。
	内部温度	本装置内部の温度を表示しています。
	内部電圧	内部装置への入力電圧を表示しています。

## 5.2. ログの表示と保存

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[[装置のメンテナンス]をクリックします。

【ステップ2】 「装置のログ」を確認します。

The screenshot shows the '装置のメンテナンス' (Device Maintenance) page. On the left, under the '装置' (Device) section, the '装置のメンテナンス' link is highlighted with a red box and a yellow callout bubble labeled 'ステップ1:クリック' (Step 1: Click). On the right, the '装置の稼働状態' (Device Operation Status) section is shown, with the '装置のログ' (Device Log) link highlighted by a red box and a yellow callout bubble labeled 'ステップ2:クリック' (Step 2: Click). An arrow points from the Step 1 callout to the Step 2 callout.

【ステップ3】 表示された本装置のログを確認します。

【ステップ4】 [テキストファイルでダウンロード]を右クリックし、メニューから[対象をファイルに保存]をクリックします。

### 注意

[テキストファイルでダウンロード]を左クリックすると、ログがブラウザにフルスペースで表示されます。このときは、ブラウザの[戻る]ボタンで【装置のログ】画面に戻ってください。

The screenshot shows the '装置のログ' (Device Log) page. The log content is displayed in a text area. A red box highlights the 'テキストファイルでダウンロード' (Download as text file) link. A yellow callout bubble labeled 'ステップ3:確認する' (Step 3: Check) points to the log content. Another yellow callout bubble labeled 'ステップ4:右クリック' (Step 4: Right-click) points to the download link. A third yellow callout bubble labeled 'ステップ4:クリック' (Step 4: Click) points to the '対象をファイルに保存(A)...' (Save as...) option in the context menu that appears after right-clicking the link.

### 5.3. ソフトウェアのアップデート

- 【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[装置のメンテナンス]をクリックします。
- 【ステップ2】 ソフトウェアバージョン、ブートストラップバージョンを確認します。
- 【ステップ3】 [ソフトウェアのアップデート]をクリックします。

**解説** ブートストラップとは、電源スイッチが ON になったときに最初に動作するプログラムです。本装置の自己診断、ルータソフトウェアのロードなどを行います。

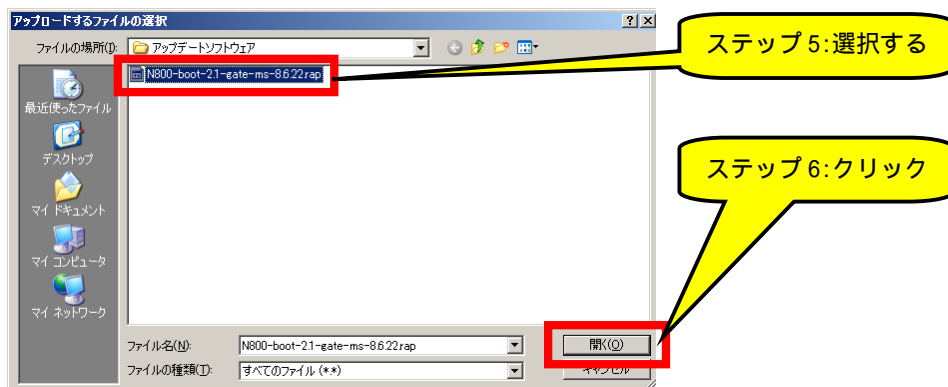
The screenshot shows the '装置のメンテナンス' (Device Maintenance) page. It is divided into two main sections: '装置' (Device) and 'ネットワーク' (Network). The '装置' section contains a table with columns for '装置', 'バージョン', '稼働時間', '稼働率', 'メモリ', '内部温度', '内部電圧', and 'NTP'. The 'ネットワーク' section contains a table with columns for 'デバイス', '接続状態', '送信量', and '受信量'. A red box highlights the '装置のメンテナンス' link in the top right corner. A yellow callout bubble points to this link with the text 'ステップ1: クリック'. Another red box highlights the 'ソフトウェアバージョン' and 'ブートストラップバージョン' rows in the '現在の状態・設定' table. A yellow callout bubble points to these rows with the text 'ステップ2: 確認する'. A third red box highlights the 'ソフトウェアのアップデート' link in the top right corner. A yellow callout bubble points to this link with the text 'ステップ3: クリック'.

- 【ステップ4】 [参照]ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'ソフトウェアのアップデート' (Software Update) page. It contains a form with two rows: '現在のソフトウェアバージョン' (Current Software Version) and '新しいソフトウェア' (New Software). The '新しいソフトウェア' row has a '参照...' (Reference...) button highlighted with a red box. A yellow callout bubble points to this button with the text 'ステップ4: クリック'. Below the form is an 'アップデート実行' (Execute Update) button. The page also includes a '装置のメンテナンスに戻る' (Return to Device Maintenance) link.

- 【ステップ5】 保存しておいたソフトウェアプログラムファイル(拡張子が「.rap」のファイル)を選択します。
- 【ステップ6】 [開く]ボタンをクリックします。

**注意** ソフトウェアのアップデートには rap ファイルを使用してください。



【ステップ7】 [アップデート実行]ボタンをクリックします。

<b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ [アップデート実行]ボタンをクリックしたあとは、「アップデートが完了しました。」のメッセージが表示されるまで、他の操作を行わないでください。アップデートには数分(3~4分)かかります。</li> <li>・ アップデートの実行中は、電源スイッチを絶対にOFFにしないでください。故障の原因になります。</li> </ul>
-----------	--

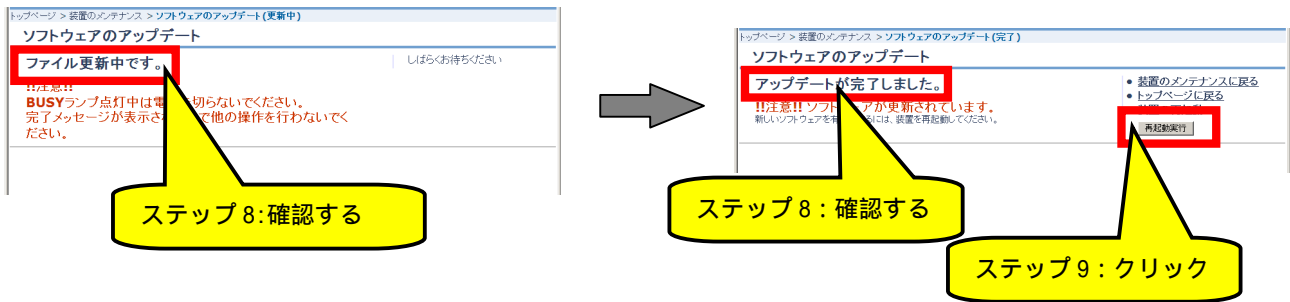
<b>解説</b>	<p>アップデートは、初めにソフトウェアのファイルがパソコンから本装置に転送(LINKランプが点滅)され、その後ソフトウェアの書き換えが実行(BSYランプ(BUSY)が点灯)されます。</p>
-----------	--



【ステップ8】 メッセージが「ファイル更新中です。」から「アップデートが完了しました。」に変わったことを確認します。

【ステップ9】 [再起動実行]をクリックして、本装置の再起動を行います。

<b>解説</b>	<p>実行中のソフトウェアは、再起動により新バージョンになります。詳しくは「5.メンテナンス」の「5.10.装置の再起動」を参照してください。</p>
-----------	---



【ステップ 10】 「装置を再起動しています。」のメッセージを確認し、数分待ちます。

**注意** 再起動の完了のメッセージは表示されません。数分お待ちください。

【ステップ 11】 [トップページに戻る]をクリックします。



【ステップ 12】 トップページから再度ログインし、Step1 と Step2 により、【装置のメンテナンス】画面を表示してソフトウェアバージョンが更新されていることを確認します。

装置の稼働状態

現在の状態・設定	
起動日時	2011/6/2 11:47:57
稼働時間	1 分
稼働率	23%
メモリ使用量	24%
内部温度	+28.0°C
内部電圧(3.3V)	+3.268V

• 装置のログ

ソフトウェアバージョン

現在の状態・設定	
ソフトウェアバージョン	8.6.22 (magellan-sec)
ブートストラップバージョン	2.1

• ソフトウェアのアップデート

設定データの取得・更新

保存されている設定をテキストファイルとして取得できます。取得したテキスト ファイルを装置にアップロードすれば設定を復元できます。設定の初期化(装置の設定を初期状態(工場出荷状態)に戻します。

• 設定データの取得  
• 設定ファイルのアップロード  
• 設定の初期化

コマンドの実行

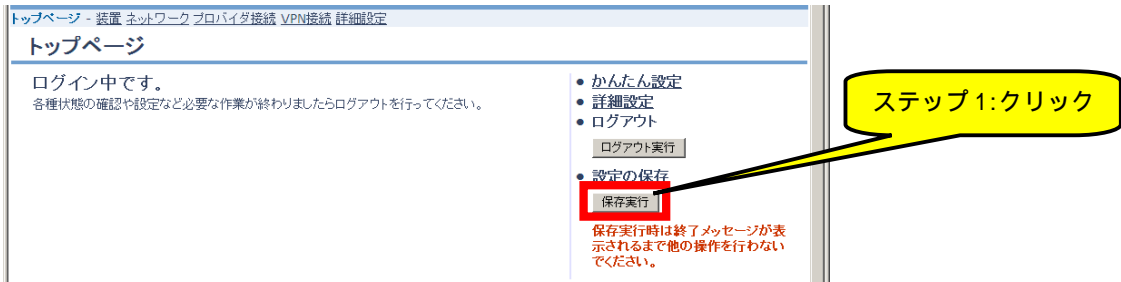
Pingの実行で他のアドレスへの到達性を確認できます。コマンドの実行では任意のCLIコマンドを実行できます。

• Pingの実行  
• コマンドの実行

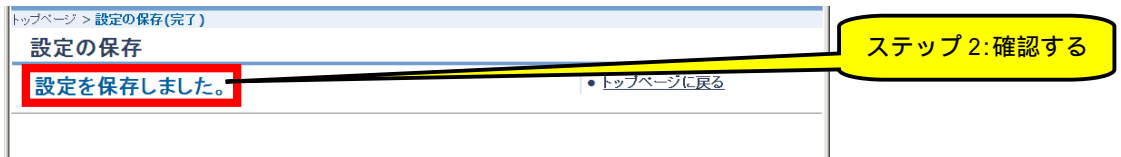
ステップ 12: 確認する

## 5.4. 設定データの不揮発メモリへの保存

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[保存実行]をクリックします。



【ステップ2】 「設定を保存しました。」のメッセージを確認します。





## 5.5. 設定データの確認とバックアップ

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[装置のメンテナンス]をクリックします。

【ステップ2】 [設定データの取得]をクリックします。

The screenshot shows the 'Maintenance' page with two tables. The first table, 'Device', lists various metrics for a Router. The second table, 'Network', shows connection status for WAN and LAN ports. A yellow callout points to the 'Maintenance' link in the top right. A second screenshot shows the 'Software Version' and 'Get Configuration Data' page, with a yellow callout pointing to the 'Get Configuration Data' button.

装置	バージョン	稼働時間	稼働率	メモリ	内部温度	内部電圧	NTP
Router	8.5.21	8 時間 33 分	47%	23%	+38.0°C	+3.250V	未設定

デバイス	接続状態	送信量	受信量
WAN側(GE0)	全二重 100Mbpsで接続	0%	0%
LAN側(GE1)	Port1: 接続されていません Port2: 接続されていません Port3: 接続されていません Port4: 全二重 1Gbpsで接続	0%	0%

ソフトウェアバージョン

ソフトウェアバージョン	現在の状態・設定
ソフトウェアバージョン	8.5.21 (magellan-sec)
ブートストラップバージョン	1.7

設定データの取得・更新

保存されている設定をテキストファイルとして取得できます。取得したテキスト ファイルを  
装置にアップロードすれば設定を復元できます。  
設定の初期化は装置の初期状態(工場出荷状態)に戻します。

コマンドの実行

Pingの実行で他のアドレスへの到達性を確認できます。  
コマンドの実行では任意のCLIコマンドを実行できます。

【ステップ3】 表示された設定データを確認します。

【ステップ4】 [テキストファイルでダウンロード]を右クリックし、メニューから[対象をファイルに保存]をクリックします。

### 注意

[テキストファイルでダウンロード]を左クリックすると、設定データがブラウザにフルスペースで表示されます。このときは、ブラウザの[戻る]ボタンで【設定データの取得】画面に戻ってください。

The screenshot shows the 'Get Configuration Data' page with a red box around the configuration text. A context menu is open over the 'Download as text file' link, with the 'Save target as...' option highlighted. Yellow callouts indicate the steps: 'Step 3: Confirm', 'Step 4: Right-click', and 'Step 4: Click'.

```
NTT Portable Internetwork Core Operating System Software
Biz Box N300 (magellan-sec) Software, Version 8.6.23, RELEASE SOFTWARE
Compiled May 12-Thu-2011 11:11:35 JST #1
Last updated Jun 24-Fri-2011 17:53:27 JST

hostname Router
timezone +09 00

logging buffered 131072
logging subsystem all warn
logging timestamp datetime

ip ufs-cache enable
ip dhcp enable
ip access-list web_console permit ip src any dest 192.168.1.254/32
```

【ステップ5】 フォルダ、ファイル名を指定し[保存]ボタンをクリックします。

【ファイルのダウンロード】ダイアログが表示されたあと、【名前を付けて保存】ダイアログが表示されるので、フォルダ、ファイル名を指定し[保存]ボタンをクリックします。テキストファイルが保存されます。

## 5.6. 設定データの本装置へのアップロード

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[装置のメンテナンス]をクリックします。

【ステップ2】 [設定ファイルのアップロード]をクリックします。

The screenshot shows the 'Maintenance of the Device' page. On the left, there are sections for 'Device' and 'Network'. The 'Device' section includes a table with columns: 装置 (Device), バージョン (Version), 稼働時間 (Operating Time), 稼働率 (Operating Rate), メモリ (Memory), 内部温度 (Internal Temperature), 内部電圧 (Internal Voltage), and NTP. The 'Network' section includes a table with columns: デバイス (Device), WAN側(GE0), LAN側(GE1), 接続状態 (Connection Status), 送信量 (Transmitted Amount), and 受信量 (Received Amount). A red box highlights the '装置のメンテナンス' (Maintenance of the Device) button. A yellow callout bubble points to this button with the text 'ステップ1:クリック' (Step 1: Click). On the right, there is a 'ソフトウェアバージョン' (Software Version) section and a '設定データの取得・更新' (Get/Update Configuration Data) section. A red box highlights the '設定ファイルのアップロード' (Upload Configuration File) button. A yellow callout bubble points to this button with the text 'ステップ2:クリック' (Step 2: Click).

【ステップ3】 [参照]ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Upload Configuration File' page. The title is '設定ファイルのアップロード' (Upload Configuration File). Below the title, there is a text block explaining that configuration files can be uploaded and that the upload button should be pressed. A red box highlights the '参照...' (Reference) button. A yellow callout bubble points to this button with the text 'ステップ3:クリック' (Step 3: Click). Below the text block, there is an 'アップロード' (Upload) section with a table for '新しい設定ファイル' (New Configuration File). A red box highlights the '参照...' (Reference) button. A yellow callout bubble points to this button with the text 'ステップ3:クリック' (Step 3: Click). Below the table, there is an 'アップロード実行' (Upload) button. At the bottom, there are two links: '装置のメンテナンスに戻る' (Return to Device Maintenance) and 'トップページに戻る' (Return to Top Page).

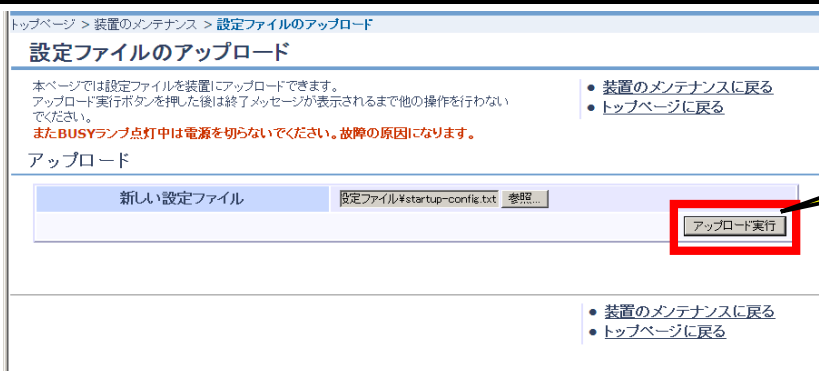
【ステップ4】 保存しておいた設定ファイル(拡張子が「.txt」のファイル)を選択します。

【ステップ5】 [開く]ボタンをクリックします。

The screenshot shows a file selection dialog box titled 'アップロードするファイルの選択' (Select File to Upload). The file list shows 'startup-config.txt' selected. A red box highlights the 'startup-config.txt' file. A yellow callout bubble points to this file with the text 'ステップ4:選択する' (Step 4: Select). At the bottom right, there is a red box highlighting the '開く(O)' (Open) button. A yellow callout bubble points to this button with the text 'ステップ5:クリック' (Step 5: Click). The dialog box also shows the file name 'startup-config.txt' and the file type 'すべてのファイル (\*.\*)' (All files (\*.\*)).

【ステップ6】 [アップロード実行]ボタンをクリックします。

<b>注意</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・ [アップロード実行]ボタンをクリックしたあとは、「設定ファイルのアップロードが完了しました。」のメッセージが表示されるまで、他の操作を行わないでください。</li><li>・ アップロードの実行中は、電源スイッチを絶対に OFF にしないでください。故障の原因になります。</li><li>・ Web ブラウザにてアップロード可能なファイルは、拡張子が「.txt」のテキストファイルです。「.txt」以外のファイルをアップロードした場合、Web 画面を表示することができなくなる可能性がありますので、アップロードする際には、拡張子を再度ご確認ください。</li></ul>
-----------	--

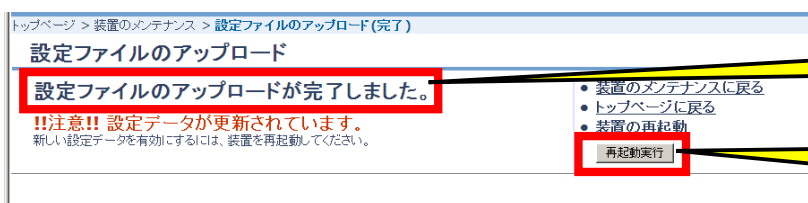


【ステップ 7】 「設定ファイルのアップロードが完了しました。」に変わったことを確認します。

【ステップ 8】 [再起動実行]ボタンをクリックして、本装置の再起動を行います。

**解説**

「設定ファイルのアップロードが完了しました。」表示のときは、スタートアップコンフィグはアップロードした設定データになりますが、ランニングコンフィグはアップロード前の状態です。アップロードした設定データは、本装置を再起動することで有効になります。

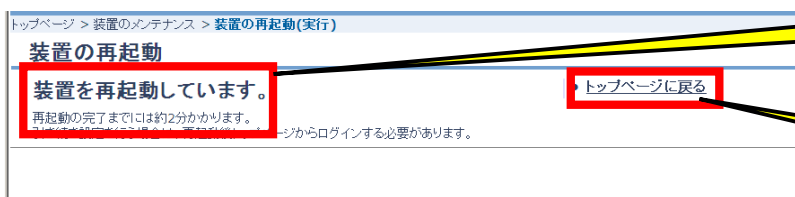


【ステップ 9】 「装置を再起動しています。」のメッセージを確認し、数分待ちます。

**注意**

再起動の完了のメッセージは表示されません。数分お待ちください。

【ステップ 10】 [トップページに戻る]をクリックします。



【ステップ 11】 設定データを確認します。

設定データの確認は「5. メンテナンス」の「5.5. 設定データの確認とバックアップ」を参照してください。

## 5.7. 設定データの初期化

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[装置のメンテナンス]をクリックします。

【ステップ2】 [設定の初期化]をクリックします。

The screenshot shows two parts of the web interface. On the left, the 'Maintenance' menu is highlighted with a red box and a yellow callout. On the right, the 'Initial Settings' page is shown, with the 'Initial Settings' option highlighted by a red box and a yellow callout.

【ステップ3】 [初期化実行]ボタンをクリックします。

The screenshot shows the 'Initial Settings' page. The 'Execute Initialization' button is highlighted with a red box and a yellow callout labeled 'ステップ3: クリック'.

【ステップ4】 「保存されていた設定を初期状態に戻しました。」のメッセージを確認します。

【ステップ5】 [再起動実行]ボタンをクリックして、本装置の再起動を行います。

The screenshot shows the 'Initial Settings' page with a completion message highlighted by a red box and a yellow callout labeled 'ステップ4: 確認する'. The 'Execute Restart' button is also highlighted with a red box and a yellow callout labeled 'ステップ5: クリック'.

【ステップ6】 「装置を再起動しています。」のメッセージを確認し、数分待ちます。

**注意** 再起動の完了のメッセージは表示されません。数分お待ちください。

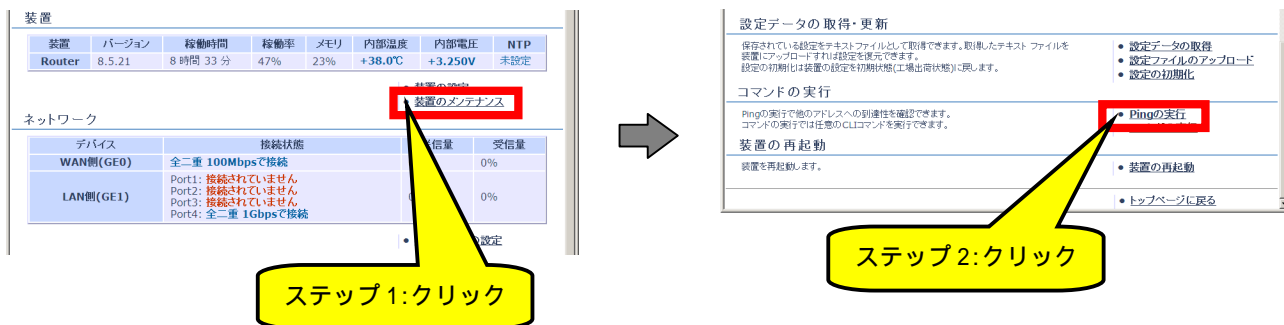
【ステップ7】 [トップページに戻る]をクリックします。

The screenshot shows the 'Restart' page. The 'Return to Top Page' button is highlighted with a red box and a yellow callout labeled 'ステップ6: 確認する'. The 'Return to Top Page' button is also highlighted with a red box and a yellow callout labeled 'ステップ7: クリック'.

## 5.8. Web ブラウザでの Ping コマンドによる接続確認

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[装置のメンテナンス]をクリックします。

【ステップ2】 [Ping の実行]をクリックします。



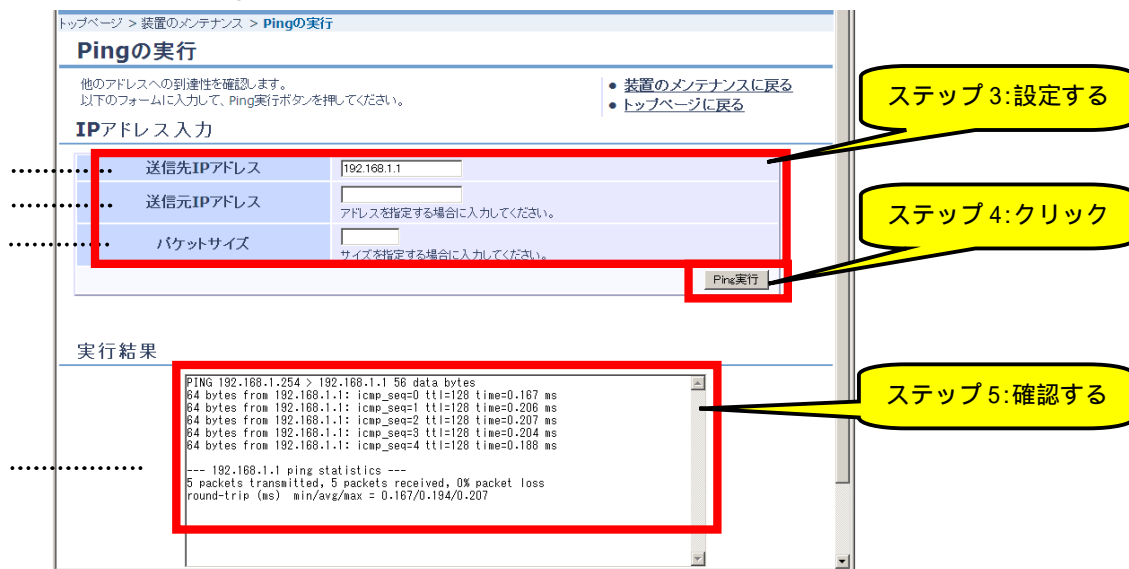
【ステップ3】 【Ping の実行】画面の各項目を設定します。

「送信先 IP アドレス」には、到達性を確認したい宛先の IP アドレスを入力します。

「送信元 IP アドレス」、「パケットサイズ」の項目は省略できます。

【ステップ4】 [Ping 実行]ボタンをクリックします。

【ステップ5】 Ping コマンドの実行結果を確認します。

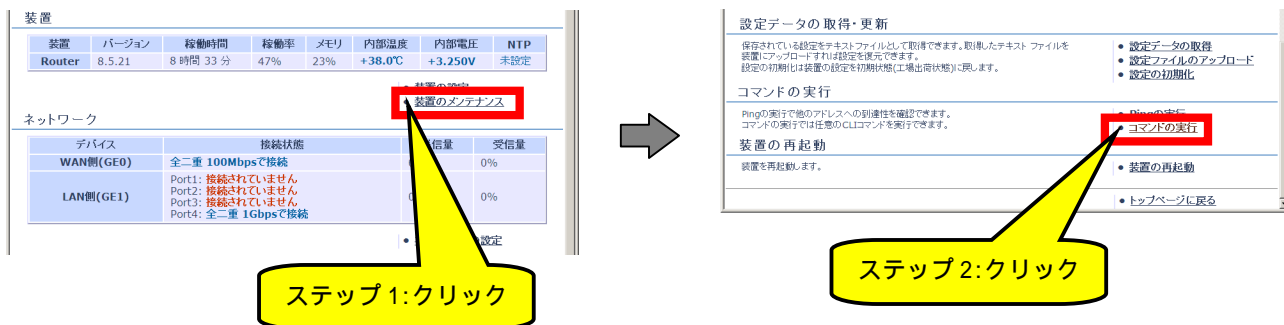


番号	項目	内容
	送信先 IP アドレス	送信先(到達性を確認したい宛先)の IP アドレスを入力します。
	送信元 IP アドレス	送信元となる本装置の IP アドレスを入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>入力を省略することができます。</li> <li>1つのインタフェースに複数の IP アドレスが設定されているときは入力しません。</li> <li>本装置に設定されている IP アドレス以外を設定したときは、エラーとなります。</li> </ul>
	パケットサイズ	Ping コマンドで送信するパケットサイズ(byte)を入力します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>入力を省略することができます。省略したときは、56byte のパケットが送信されます。</li> <li>4～65507byte の範囲で指定することができます。</li> </ul>
	実行結果	Ping コマンドの実行結果が表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>実行結果は、[Ping 実行]ボタンをクリックするごとに書き替えられます。</li> </ul>

## 5.9. Web ブラウザでのコマンド入力

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[装置のメンテナンス]をクリックします。

【ステップ2】 [コマンドの実行]をクリックします。



【ステップ3】 「コマンド入力」ボックスを空欄のまま、[コマンド実行]ボタンをクリックします。

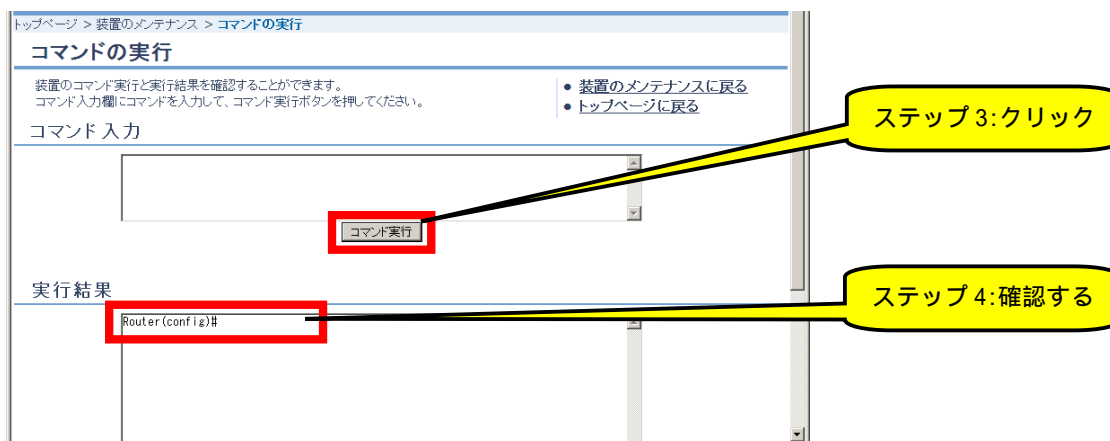
【ステップ4】 現在のモードを確認します。

「\*\*\*\*\* (config)#」と表示されることを確認します。

本装置の起動後、はじめて【コマンドの入力】画面を表示したときはグローバルコンフィグモードに設定されています。

### 解説

「\*\*\*\*\* (config)#」の「\*\*\*\*\*」部分は「4.個別設定」の「4.1.装置名/ログインパスワード/Telnetサーバ機能の設定」で設定されている装置名が表示されます。



【ステップ5】 「コマンド入力」ボックスにコマンドを入力します。

複数行のコマンドを入力することができます。

一度に入力できるのは合計8,184文字までです。改行は6文字分として扱われます。

【ステップ6】 [コマンド実行]ボタンをクリックします。

ステップ5: 入力する

ステップ6: クリック

【ステップ7】 コマンドの実行結果を確認します。

ステップ7: 確認する

## 5.10. 装置の再起動

【ステップ1】 ログインし、【トップページ】画面の[装置のメンテナンス]をクリックします。

【ステップ2】 [装置の再起動]をクリックします。

The screenshot shows the '装置のメンテナンス' (Device Maintenance) page. On the left, there are two tables: '装置' (Device) and 'ネットワーク' (Network). The '装置' table has columns for device name, version, uptime, load, memory, temperature, voltage, and NTP. The 'ネットワーク' table has columns for device, connection status, speed, and signal strength. A red box highlights the '装置のメンテナンス' link in the top right, with a yellow callout 'ステップ1:クリック' (Step 1: Click). An arrow points to the right, where a 'コマンドの実行' (Execute Command) page is shown. A red box highlights the '装置の再起動' (Restart Device) button, with a yellow callout 'ステップ2:クリック' (Step 2: Click).

【ステップ3】 [装置の再起動]ボタンをクリックします。

The screenshot shows the '装置の再起動' (Device Restart) confirmation page. The main text says '装置を再起動します。' (Restart device). Below it, there are two links: '装置のメンテナンスに戻る' (Return to Device Maintenance) and '装置の再起動' (Restart Device). A red box highlights the '再起動実行' (Execute Restart) button, with a yellow callout 'ステップ3:クリック' (Step 3: Click).

【ステップ4】 「装置を再起動しています。」のメッセージを確認し、数分待ちます。

注意

再起動の完了のメッセージは表示されません。数分お待ちください。

【ステップ5】 [トップページに戻る]をクリックします。

The screenshot shows the '装置の再起動' (Device Restart) page. The main text says '装置を再起動しています。' (Restarting device). Below it, there are two links: '装置のメンテナンスに戻る' (Return to Device Maintenance) and 'トップページに戻る' (Return to Top Page). A red box highlights the 'トップページに戻る' link, with a yellow callout 'ステップ5:クリック' (Step 5: Click). Another yellow callout 'ステップ4:確認する' (Step 4: Confirm) points to the main message area.

【ステップ6】 Ping コマンドの実行結果を確認します。

引き続き設定を行うときは、再度ログインを行ってください。



## 6.トラブルシューティング

### 6.1. メッセージエリアの警告メッセージ

画面表示	表示理由
<b>!!注意!! 初期パスワードでログインしています。</b> 装置の設定にてパスワードを変更して下さい。	ログインパスワードが設定されていません。
<b>!!注意!! 保存されていた設定を削除しました。</b> 装置を初期状態(工場出荷状態)に戻すには、設定を保存せずに装置を再起動してください。	本装置の初期化が実行されました。
<b>!!注意!! 設定が変更されています。</b> 再起動した場合、保存していない設定は元の状態に戻ります。設定完了後は必ず保存を行ってください。	各設定ページで設定情報が変更されています。
<b>!!注意!! 設定データが更新されています。</b> 新しい設定データを有効にするには、装置を再起動してください。	設定ファイルが本装置へアップロードされましたが、有効になっていません。
<b>!!注意!! 設定を反映するためには設定を保存したうえで再起動してください。</b> 再起動を行わない場合や設定を保存せずに再起動した場合には設定が反映されません。	再起動が必要な設定変更が行われました。
<b>!!注意!! ソフトウェアが更新されています。</b> 新しいソフトウェアを有効にするには、装置を再起動してください。	ソフトウェアのアップデートが正常に終了しました。
<b>!!注意!! ソフトウェアが削除されました。</b> ソフトウェアをアップデートせずに再起動すると、正しく起動しません。	ソフトウェアのアップデートで、古いアップデートファイル削除後に何らかの理由で書き込みに失敗しました。
<b>!!注意!!</b> <b>BUSY ランプ点灯中は電源を切らないで下さい。</b> <b>完了メッセージが表示されるまで他の操作を行わないで下さい。</b>	ソフトウェアのアップデート中です。メッセージ表示中に電源を切ると、本装置を起動できなくなるなど、故障の原因となります。
<b>コンソールのロックに失敗しました。</b>	現在本装置をコンソール経由で操作中のユーザが存在することを示しています。
<b>不正な要求です。(Body サイズ異常)</b> ブラウザを確認し、トップページからアクセスしなおしてください。	コマンドの実行でフォームに入力している文字数が設定可能な範囲を越えています。
<b>アクセス権限があることを確認できませんでした。</b> ユーザ ID、パスワードを確認し、トップページからアクセスしなおしてください。	ログイン時に入力するユーザ ID/パスワードに誤りがあります。
<b>Web コンソールのユーザが設定されていません</b>	Web コンソールにログインできるユーザアカウントが設定されていません。
<b>管理者権限のユーザが設定されていません</b>	Web コンソールにログインできるユーザアカウントが、管理者レベルに設定されていません。

## 6.2. 入力エラーメッセージ

画面表示	表示理由
"入力されていません"	設定必須項目がフォームにデータが入力されていません。
"使用できない文字があります"	使用不可能な文字がフォームに入力されました。
"文字列長が長すぎます"	フォームに入力している文字数が設定可能な範囲を越えています。
"アドレス形式が不正です"	IP アドレスの入力形式が間違っています。
"入力されたアドレスは既に使われています"	重複したアドレスが設定されようとしてしました。
"プライマリアドレスと同じです"	セカンダリアドレスに入力したアドレスが、プライマリアドレスと同じです。
"アドレスとプレフィックスの組み合わせが不正です"	ネットワーク指定時の IP アドレス(プレフィックス)とサブネットマスクが不一致です。
"範囲が異常です"	DHCP の割り当て範囲に入力したアドレスの範囲が間違っています。
"接続元 WAN 側 IP アドレスと接続先 WAN 側 IP アドレスが共に動的 IP アドレスです"	接続元と接続先の WAN 側 IP アドレスが共に「動的 IP アドレス」を選択しています。
"LAN 側ネットワークが未設定です"	IPSec 設定時、LAN 側アドレスの設定がされていません。
"入力されたアドレスは既に他の IPSec 接続に使われています"	IPSec で同一の接続先 WAN 側 IP アドレスを検出しました。
"半角英数字で入力してください"	半角英数字以外を入力を検出しました。
"パスワードが一致していません"	パスワード入力で不一致を検出しました。
"使用できないファイル名です"	アップロードファイル名に誤りがあります。
"ファイル形式が異常です"	アップロードファイルが正しくありません。
"ファイル名を指定してください"	アップロードフォームにファイル名を指定せずに「アップロード実行」ボタンをクリックしました。
"ファイル容量が制限を越えています"	ファイルサイズの異常を検出しました。
"ソフトウェアが破損しています(CRC エラー)"	ファイルの破損を検出しました。
"時刻設定が誤っています"	時刻設定に誤りがあります。
"フィルタが設定されています"	フィルタの設定で、既に使われているシーケンス番号を登録しようとしてしました。
"プロトコル番号が不正です"	プロトコル番号に入力範囲外の値を入力しました。
"パケットサイズが不正です"	パケットサイズに入力範囲外の値を入力しました。
"送信元 IP アドレスはルータに設定されたアドレスを指定してください"	本装置に設定されていない IP アドレスを入力しました。
"ポート番号が不正です"	ポート番号に入力範囲外の値を入力しました。
"入力された IP アドレス宛に送信できません"	Ping の送信先 IP アドレスが特定できませんでした。
"設定ファイルのアップロードに失敗しました"	設定ファイルの書き込みに失敗しました。
"ID の形式(FQDN)が不正です"	ID(FQDN)の入力値が正しくありません。

### 6.3. 状態表示メッセージ

項目	状態表示	表示理由/対処方法
NTP サーバ	未設定	NTP サーバの設定がされていません。
	同期済み	NTP サーバと同期が取れています。
	非同期	NTP サーバの設定がされているが、同期が取れていません。 対処方法:NTP サーバの IP アドレスが正しく設定されているか確認してください。
WAN、LAN 側ネットワーク	接続されていません	対向装置との通信が確立していません。 対処方法:対向装置の電源が ON になっているか、また、イーサネットケーブルが本装置および対向装置の LAN ポートに正しく接続されているか確認してください。 特に、各 LAN ポートの速度と方向を固定設定にしたときは、MDI/MDIX 自動認識機能は無効になりますので、適切なケーブルの選択(ストレートケーブル/クロスケーブル)が必要です。 詳しくは取扱説明書を参照してください。
	全二重 10Mbps で接続	通信方向が「全二重」、通信速度が「10Mbps」で動作しています。
	全二重 100Mbps で接続	通信方向が「全二重」、通信速度が「100Mbps」で動作しています。
	全二重 1Gbps で接続	通信方向が「全二重」、通信速度が「1Gbps」で動作しています。
	半二重 10Mbps で接続	通信方向が「半二重」、通信速度が「10Mbps」で動作しています。
	半二重 100Mbps で接続	通信方向が「半二重」、通信速度が「100Mbps」で動作しています。
	シャットダウンに設定されています	コマンドラインでポートがシャットダウンされています。 シャットダウンを解除するためには、コマンドラインからの設定が必要です。「no shutdown」コマンドを実行します。
プロバイダ接続 (PPPoE 接続)	接続されていません	プロバイダとの接続が確立していません。 対処方法:対向装置の電源が ON になっているか、また、イーサネットケーブルが本装置および対向装置の LAN ポートに正しく接続されているか確認してください。 特に、各 LAN ポートの速度と方向を固定設定にしたときは、MDI/MDIX 自動認識機能は無効になりますので、適切なケーブルの選択(ストレートケーブル/クロスケーブル)が必要です。 詳しくは取扱説明書を参照してください。
	認証中	プロバイダとの認証がネゴシエーション中です。 状態が「認証中」のまま変わらないときは、PPoE の「ユーザ ID」と「パスワード」が正しく設定されているか確認してください。
	IPCP 確立中	認証のネゴシエーションが完了し IP アドレスを取得中です。 「IPCP 確立中」のメッセージは、WAN 側の IP アドレスを自動取得にしたときのみ表示されます。
	接続	プロバイダと正常に接続できています。

項目	状態表示	表示理由/対処方法
プロバイダ接続 (IP 接続)	接続されていません	<p>プロバイダとの接続が確立していません。</p> <p>対処方法：対向装置の電源が ON になっているか、また、イーサネットケーブルが本装置および対向装置の LAN ポートに正しく接続されているか確認してください。</p> <p>特に、各 LAN ポートの速度と方向を固定設定にしたときは、MDI/MDIX 自動認識機能は無効になりますので、適切なケーブルの選択(ストレートケーブル/クロスケーブル)が必要です。</p> <p>詳しくは取扱説明書を参照してください。</p>
	接続	プロバイダと正常に接続できています。
	アドレス取得中	<p>プロバイダから払い出される、IP アドレスの取得中に表示されます。</p> <p>「アドレス取得中」のメッセージは、DHCP クライアント機能を有効にしたときのみ表示されます。</p>
VPN 接続 (IPSec 接続)	接続されていません	<p>VPN 接続が確立していません。</p> <p>対処方法 1：</p> <p>対向装置の電源が ON になっているか、また、イーサネットケーブルが本装置および対向装置の LAN ポートに正しく接続されているか確認してください。</p> <p>特に、各 LAN ポートの速度と方向を固定設定にしたときは、MDI/MDIX 自動認識機能は無効になりますので、適切なケーブルの選択(ストレートケーブル/クロスケーブル)が必要です。</p> <p>詳しくは取扱説明書をご参照ください。</p> <p>対処方法 2：</p> <p>接続元、接続先のネットワークアドレス、IP アドレス設定が正しいか確認してください。</p> <p>対処方法 3：</p> <p>事前共有鍵が接続元と接続先で同じ設定がされているか確認してください。</p> <p>対処方法 4：</p> <p>IKE と IPSec で使用するアルゴリズム(暗号・認証)が接続元と接続先で同じ設定がされているか確認してください。</p>
	接続	VPN 接続が確立されています。
	VPN 接続 (IP トンネル接続)	接続されていません
	接続	VPN 接続が確立されています。
内部温度	温度が異常です	内部温度が異常です。数値が赤字で表示されます。
内部電圧	温度が異常です	内部電圧が異常です。数値が赤字で表示されます。

---

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報などを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：<http://www.web116.jp/ced/>  
<http://www.ntt-west.co.jp/kiki/>

